

# 水道事業年報

—平成29年(2017)版—



新向山第2配水池(手前)

出雲市上下水道局



# 目 次

## I 水道事業の概要

### 概要表

1. 水道事業の沿革	1
2. 平成 28 年度（2016）の事業概要	5
3. 平成 29 年度（2017）の事業計画	7
4. 出雲市水道事業の推移	8
5. 出雲市水道事業基本計画について	12
6. 給水区域	15

## II 施設の概要

1. 水道施設フロー図	18
2. 現有施設一覧表	24
3. 管路の布設状況	48
4. 消火栓設置数	49
5. 簡易専用水道施設件数	49
6. 主要施設所在地	50

## III 業務の概要

1. 薬品使用状況	51
2. 主要施設電力使用状況	51
3. 業務量の推移	52
4. 出雲市上水道給水戸数及び給水人口	54
5. 水質試験結果	56
6. 検針・収納状況	60
7. 料金の変遷	62
8. 加入金の変遷	69
9. 口径別有収水量と給水収益	70
10. 給水装置工事申請件数	71
11. 水道施設修繕工事件数	71
12. 指定給水装置工事事業者数	71

#### IV 財務の状況

1. 平成 28 年度 (2016) 出雲市水道事業会計 決算書	72
2. 出雲市水道事業会計 損益計算書	73
3. 出雲市水道事業会計 貸借対照表	74
4. 財務比率・経営比率	75
5. 給水原価及び供給単価算出図 (平成 28 年度決算)	81

#### V 簡易水道事業

1. 平成 28 年度 (2016) 簡易水道事業 業務量	82
-------------------------------	----

#### VI 組 織

1. 機構図	84
2. 事務分掌	85
3. 職員配置表	89
4. 年齢別職員構成	89
5. 勤続年数別職員構成	89

# I 水道事業の概要

あたりまえ そんなみずこそ たからもの

平成二十九年 第五十九回水道週間スローガン

概要表

平成29年(2017)3月31日現在

水道名		給水開始年月	計画給水人口(人)	現在給水人口(人)	計画一日最大給水量(m <sup>3</sup> )	平成28年度 給水実績	
						一日最大(m <sup>3</sup> )	年間総量(m <sup>3</sup> )
出雲水道事業	出雲地域 平田地域 湖陵地域 大社地域	S33. 4 S28. 2 S35. 7 S43. 5	*	131,673	*	47,909	15,671,746
乙立簡易水道	出雲地域	H14. 11	900	602	366	233	59,163
河下広域簡易水道	平田地域	S58. 4	3,550	2,116	1,201	850	223,262
塩津簡易水道	〃	S36. 2	300	147	100	44	11,215
美保簡易水道	〃	S35. 2	177	91	56	64	7,644
島村簡易水道	〃	S42. 10	406	345	134	142	32,618
東部統合簡易水道	〃	S36. 9 (旧一畑簡水開始)	1,870	1,480	825	578	158,742
須佐簡易水道	佐田地域	S34. 3	2,050	1,672	995	763	214,130
窪田簡易水道	〃	S48. 5	2,400	1,696	920	670	198,550
多伎簡易水道	多伎地域	S30. 1	4,460	3,589	2,719	1,847	532,249
日御碕簡易水道	大社地域	S29. 4	840	583	582	315	70,059
鷺浦猪目簡易水道	大社・平田地域	S30. 4 (旧猪目簡水開始)	297	288	148	168	31,438
阿宮簡易水道	斐川地域	S57. 4	474	472	174	187	49,156
簡易水道事業合計			17,724	13,081	8,220		1,588,226
多久谷畑飲料水供給施設	平田地域	H15. 3	26	20	7	7	1,356
水道事業合計			156,350	144,774	63,927		17,261,328

\* 出雲水道事業の計画給水人口及び計画一日最大給水量は、一部の簡易水道事業の統合に伴う給水区域拡張後のものである。



## 1. 水道事業の沿革

※出雲地域（平成18年度まで）

上水道事業の発足	昭和33年4月に今市水道(株)から買収
第1次拡張事業	昭和33年4月～（総事業費161,863千円） 計画給水人口31,500人・計画一日最大給水量11,500 m <sup>3</sup> 七面山配水池（2,000 m <sup>3</sup> ）を新設 神門・長浜・川跡・高浜を統合（S40）
第2次拡張事業	昭和40年4月～（総事業費217,641千円） 計画給水人口50,000人・計画一日最大給水量18,250 m <sup>3</sup> 高松・古志・神西・外園・鳶巣・朝山の一部を給水区域に加える 七面山配水池2基（1,000 m <sup>3</sup> ×2）を増設（S42） 妙見山配水池（974 m <sup>3</sup> ）を新設（S43） 大社町へ分水開始（S42）
第3次拡張事業	昭和45年4月～（総事業費1,523,322千円） 計画給水人口68,000人・計画一日最大給水量40,000 m <sup>3</sup> 向山配水池（10,000 m <sup>3</sup> ）を新設（S48）し、配水系統を七面山系統と向山系統に二分 湖陵町へ分水開始（S47）
第4次拡張事業	昭和54年3月～（総事業費6,015,465千円） 計画給水人口90,200人・計画一日最大給水量60,000 m <sup>3</sup> 上島水源地の建設（日量30,000 m <sup>3</sup> を取水） 上津・稗原を統合（S63） 所原・見々久・上新宮地区を給水区域に加える
第5次拡張事業	平成9年4月～（総事業費9,020,400千円） 計画給水人口99,200人・計画一日最大給水量55,500 m <sup>3</sup> 新向山配水池（7,000 m <sup>3</sup> ）を新設、送配水管整備（H17） 北山配水池（400 m <sup>3</sup> ）を新設、ポンプ場、上津・稗原給水区域の整備 給水水質の向上（赤水、クリプトスポリジウム対策） 来原浄水施設の築造（H13～18） 石綿セメント管の布設替え

※平田地域（平成18年度まで）

水道事業の発足	昭和28年2月～（総事業費54,500千円） 計画給水人口10,000人・計画一日最大給水量1,400 m <sup>3</sup> 平田町の市街地・灘分町の一部を給水地域に加える
第1次拡張事業	昭和31年11月～（総事業費85,600千円） 計画給水人口16,000人・計画一日最大給水量2,400 m <sup>3</sup> 平田地域の平坦部全域東西10kmにわたる配水管の拡張、愛宕山配水池、布崎配水池、国富配水池の新設、緩速ろ過池2池新設、水源地の整備
第2次拡張事業	昭和37年12月～（総事業費22,051千円） 計画給水人口20,000人・計画一日最大給水量3,600 m <sup>3</sup> 第2水源新設、緩速ろ過池2池及び浄水池1池増設、送配水管拡張
第3次拡張事業	昭和48年2月～（総事業費434,841千円） 計画給水人口20,000人・計画一日最大給水量6,800 m <sup>3</sup> 第3水源新設、第4水源（美談）新設、浄水施設の改良（急速ろ過機等）、送配水管拡張、愛宕山配水池（2,500 m <sup>3</sup> ）新設
第4次拡張事業	昭和52年11月～（総事業費218,900千円） 計画給水人口24,000人・計画一日最大給水量8,400 m <sup>3</sup> 美野を統合、既設水源井の改良による取水量増設
第5次拡張事業	平成2年12月～（総事業費758,000千円） 計画給水人口24,700人・計画一日最大給水量10,000 m <sup>3</sup> 金山水源新設（1,000 m <sup>3</sup> ）、灘分水源改良（7,900 m <sup>3</sup> ）、第4水源（美談）改良（600 m <sup>3</sup> ）
灘分浄水場改良	平成12年度～16年度（老朽施設の改修・水源別浄水方法の変更） 総事業費 1,654,000千円

※大社地域（平成18年度まで）

水道事業の発足	昭和42年3月31日事業創設認可 昭和43年5月1日 出雲市から分水し、遙堪簡易水道事業により給水開始 その後、荒木簡易水道事業により給水開始
上水道事業の発足	昭和55年度 大社町上水道事業基本計画を策定 昭和56年4月～ 上水道事業発足 計画給水人口16,690人・計画一日最大給水量7,425 m <sup>3</sup> 杵築・遙堪・荒木を給水区域に加える
事業概要・経緯	昭和56年度・昭和57年度 浜受水場、浜山配水池（3,300 m <sup>3</sup> ）等の主要施設を整備 昭和59年度 湊原、大梶、四軒屋、川方西・南の一部に配水管布設 昭和63年度 菱根の一部に配水管布設 平成元年度 遙堪地区山手の4箇所を増圧ポンプ施設を設置 平成6年度～ 年次計画により上水道未普及地域の解消を図る

※上水道事業全域（平成19年度以降）

第6次拡張事業 平成19年度

来原浄水場（自家発電設備設置）、平田地域石綿管更新（～H20）、  
県受水関連管路整備（～H22）

平成20年度

山廻制御弁室築造

平成21年度

新向山系配水本管整備（～国道9号バイパス）（～H23）

鷹の沢制御弁室築造

灘分浄水場自家発電設備設置

上津浄水場整備（紫外線）（～H23）

平成22年度

来原調整池耐震化

県受水関連施設整備（本郷配水池・伊野配水池）

水道未普及地域解消事業着手 大社中山地区（～H25）、平田鹿園寺地区（～H23）

平成23年度

島根県水道用水供給事業からの受水開始（H23.4.1）

地合簡易水道の上水統合（H23.4.1）

金山水源地硬度処理設備設置

水道未普及地域解消事業着手 平田苧藻谷地区（～H25）

平成24年度

湖陵・差海簡易水道の上水統合（H24.4.1）

上島水源地 第7取水井増設

水道未普及地域解消事業給水開始 平田鹿園寺地区

平成25年度

妙見山配水池に緊急遮断弁設置

平成26年度

大社中山地区、平田苧藻谷地区給水開始

簡易水道統合に向けた水道事業変更認可申請の提出と管路更新計画の策定

平成27年度

向山配水池等再構築事業の着手（～H30）

平成28年度

新向山第2配水池（3,300 m<sup>3</sup>）築造

新向山系配水本管整備（国道9号 中野美保交差点～大津朝倉交差点）

## 2. 平成28年度(2016)の事業概要

(はじめに)

平成28年度は平均気温が1年を通じて高かったことや前年度に引き続き給水区域内戸数及び人口の微増に伴い、給水戸数・人口も若干増加し、0.75%程度の総有収水量の増加が見られました。これにより水道料金収入(消費税抜)は、18,910千円、併せて宅地分譲や集合住宅の申請も多く、口径20ミリ以下の水栓件数増加を主要因として加入金が10,860千円増加しました。

施設面では、4か年の継続事業で実施している向山配水池等再構築事業のうち新向山配水池敷地内に新向山第2配水池(3,300 $\text{m}^3$ )が完成し、給水開始前の水質検査を行った後、平成29年度早期に供用を開始することにしています。今後は向山配水池を解体し同所に新たな配水池(9,000 $\text{m}^3$ )を築造する計画としております。また、同じく継続事業で行っていた新向山配水系配水本管整備事業は、予定していた大津朝倉北交差点までの整備を終えたところ です。

(業務の状況)

給水戸数は49,190戸(前年48,620戸)、給水人口は131,673人(前年131,566人)となり、給水区域内人口133,096人(前年133,088人)に対する普及率は98.9%(前年98.9%)となりました。

年間総配水量は15,671,746 $\text{m}^3$ (前年15,865,911 $\text{m}^3$ )、年間総有収水量は14,543,392 $\text{m}^3$ (前年14,435,437 $\text{m}^3$ )となり、有収率は92.8%(前年90.98%)となりました。有収率については、前年度は寒波による影響により低かったため、1.82%増加しました。

(経営の状況)

収益的収入及び支出(消費税抜)については、事業収益は2,879,955千円、事業費用は2,299,949千円となり、収入支出差引で580,006千円の純利益が生じました。

純利益については、収入面では公共工事関連移設補償費が減額となりましたが、水道料金・加入金及び退職給付引当金戻入益の増により増額となり、支出面では減価償却費、その他の営業費用(開閉栓の増による委託料の増等)及び控除対象外消費税は増加となりましたが、拡張工事関連修繕工事の減少による修繕費の減、除却資産が少なかったための資産減耗費の減、企業債繰上償還補償金の減などにより減額となり、前年度より増額となりました。ただし、純利益には、会計制度の改正により新たに収入となった長期前受金戻入(336,410千円)を含んだものとなっています。

資本的収入及び支出(消費税込)については、収入は445,702千円、支出は1,774,512千円となりました。この資本的収入及び支出の差引不足額1,328,810千円については、消費税及び地方消費税資本的収支調整額、損益勘定留保資金及び建設改良積立金で補填しました。

(第6次拡張・改良事業)

主な事業は、平成27年度から4か年の継続事業として向山配水池等再構築事業に伴う新

向山第2配水池(3,300 m<sup>3</sup>)の築造とこれに合わせて行った大津町向山系送水管更生及び配水管布設替工事、中野美保地内外配水本管布設工事のうち国道9号バイパス中野美保交差点～大津朝倉北交差点配水本管布設工事を2か年の継続事業で行いました。その他、向山配水池等再構築事業に係る機械装置の整備や湖陵町R9差海交差点付近配水管布設替工事などの老朽管更新工事など、総額工事費902,637千円で実施しました。

また、翌年度への繰越しとして、大津町向山系送水管更生及び配水管布設替工事1件42,744千円を事故繰越としました。

#### (一般拡張・改良事業)

主な事業は、配水管の拡張・改良事業であり、道路や下水道事業など公共事業に関連する配水管等の布設替のほか、ポンプ井取替などの構築物工事及び水源地・ポンプ所の機械及び装置の更新等を総額工事費289,010千円で実施しました。

また、公共工事関連の繰越しに連動して、建設改良繰越4件116,003千円、事故繰越2件59,088千円を翌年度に繰り越しました。

#### (保存工事)

前記の第6次拡張・改良事業及び一般拡張・改良事業に関連して行った給水管切替、消火栓設置替工事等を工事費43,438千円、日常の小規模配水施設修繕等に工事費91,717千円及び水源施設修繕を工事費45,544千円で実施しました。

また、一般拡張・改良事業と同様に公共工事関連の繰越しに連動して、事故繰越3件27,715千円を翌年度に繰り越しました。

#### (むすび)

水道事業は、給水人口の減少や節水機器の普及による水需要の減少に伴う料金収入の減少が見込まれます。一方で、老朽化した施設の大量更新や耐震化の推進、簡易水道事業の統合による支出の増加も見込まれる状況です。

将来にわたって安定した経営状態のもと、事業の実施を図るため、中長期的な経営の基本計画である経営戦略を今年度策定したところです。

また、今年度から概ね2年をかけて策定する水道事業ビジョンや施設整備計画を踏まえ、老朽施設の更新や基幹管路の整備などを計画的に実施していくこととしています。

こうした財政計画と投資計画の平準化を図りながら、適正な料金のあり方を模索していくこととしています。

今後とも、安定的な事業経営を行っていくため、更に維持管理経費の縮減に努め、市民の皆様へ、安全、安心な水道水を安定かつ可能な限り安価に供給することを使命とし、中長期的視点に立った経営基盤の強化に努めます。

### 3. 平成 29 年度(2017)の事業計画

#### (1) 業務予定量 (当初予算書 第2条)

・総配水量	17,439,000 m <sup>3</sup>
・一日平均配水量	47,778 m <sup>3</sup>
・一日最大配水量	53,511 m <sup>3</sup>
・給水戸数	53,500 戸
・給水人口	143,700 人
・建設改良 総事業費	2,228,230 千円
事業内容	第6次拡張・改良事業並びに一般拡張・改良事業

#### (2) 建設改良事業の主な内容

第6次拡張改良事業	向山配水池等再構築事業 新向山配水系配水本管整備事業 老朽管更新事業 水道管緊急改善事業 金山地区配水系切替整備事業
-----------	--

#### (3) 水道事業ビジョン及び経営戦略等策定の主な内容

水道事業ビジョンの策定、経営戦略の策定
水道事業基本計画・実施計画の策定
施設耐震化基本計画の策定、アセットマネジメントの策定
施設更新計画（簡易水道区域）の策定、区域拡張に係る届出書の作成

#### (4) 予算（当初）概要

収益的収入及び支出	事業収益	3,480,544 千円
	事業費用	3,405,659 千円
資本的収入及び支出	資本的収入	931,761 千円
	資本的支出	2,981,005 千円
	不足	2,049,244 千円
資本的収支不足額の補填財源	当年度分損益勘定留保資金	1,117,024 千円
	過年度分損益勘定留保資金	450,958 千円
	当年度分消費税資本的収支調整額	111,262 千円
	建設改良積立金	370,000 千円

#### (5) 職員体制 49名 (平成 29 年 (2017) 4 月 1 日現在)

#### 4. 出雲市水道事業の推移

##### 拡張事業の概要(事業認可)

認可項目 \ 事業名		第1次拡張事業 (買収)	第2次拡張事業	第3次拡張事業
年 月 日		昭和32年12月12日	昭和39年12月28日	昭和45年1月10日
計画	給水人口	31,500人	50,000人	68,000人
	1日最大給水量	11,500m <sup>3</sup>	18,250m <sup>3</sup>	40,000m <sup>3</sup>
	1人1日最大給水量	365ℓ	365ℓ	590ℓ
着工年月日		昭和33年4月1日	昭和40年4月1日	昭和45年4月1日
竣工年月日		昭和37年3月31日	昭和43年3月31日	昭和56年3月31日
事業費		161,863千円	217,641千円	1,523,322千円
主要施設 ※第5次拡張事業(3回目変更)までは実績、第6次拡張事業及び第7次拡張事業は計画を記載		※今市水道(株)から買収 ※取水施設 取水井φ5,000×2井 導水管φ300 488m ※送水施設 ポンプ 5台 送水管φ350 1,406m ※配水施設 配水池1,000m <sup>3</sup> ×2池 配水管φ100~φ400 25,248m	※取水施設 取水井φ5,000×2井 導水管φ300~φ500 592m ※送水施設 ポンプ 5台 送水管φ350 1,409m ※配水施設 配水池1,000m <sup>3</sup> ×2池 (PC) 487m <sup>3</sup> ×1池 配水管φ100~φ350 43,909m	※取水施設 取水井(満州井戸) φ5,000×3井 ポンプ井φ5,000×1井 導水管φ300~φ800 621m 深井戸φ750×2井 取水ポンプ 2台 ※浄水施設 急速ろ過装置 1式 接触槽 1式 沈でん池 1池 ※送水施設 ポンプ 3台 自動制御装置 1式 電気設備 1式 送水管φ500 1,525m ※配水施設 配水池10,000m <sup>3</sup> ×1池 (PC) 486m <sup>3</sup> ×1池 配水管φ100~φ700 85,434m 減圧調整弁 1式 テレメーターテレコン 装置 1式

第4次拡張事業	第4次拡張事業 (1回目変更)	第4次拡張事業 (2回目変更)	
昭和53年12月15日	昭和63年(1988)3月31日	平成元年(1989)3月31日	
90,200人	88,500人	89,900人	
60,000m <sup>3</sup>	54,000m <sup>3</sup>	54,500m <sup>3</sup>	
6650	6100	6060	
昭和54年3月31日	平成元年(1989)4月	平成元年(1989)4月	
平成2年3月31日	平成13年(2001)3月	平成13年(2001)3月	
4,709,249千円	351,688千円	954,528千円	
※取水施設 取水井φ750×5井 取水ポンプ 5台 ポンプ井 1井 導水管φ600 6,914m 水管橋工事 1式 トンネル工事 1式 ※浄水施設 塩素滅菌設備 1式 ※送水施設 ポンプ 2台 送水管φ500 54m 電気計装設備 1式 自家発電設備 1式 ※配水施設 集中管理制御装置 1式 管理棟 1棟 水源地構内設備 1式 配水管φ100～φ600 49,454m ※用地取得 44,742m <sup>2</sup>	※配水施設 下新宮増圧ポンプ場 1式 上新宮増圧ポンプ場 1式 麻床増圧ポンプ場 1式 上組増圧ポンプ場 1式 麻床調整池 1池 配水管 5,269.6m ※石綿管改良 11,182m	※送水施設 送水ポンプ 上津 2台 宇那手 2台 岩倉 2台 ※配水施設 岩倉配水池 1池 奥井谷配水池 1池 大平配水池 1池 ※配水管φ100～φ300 19,226m ※旧簡易水道地区配水管布設 φ100、150、200 7,647m	※送水施設 朝山ポンプ所 1式 堂原ポンプ所 1式 御方ポンプ所 1式 電気計装 1式 送水管φ75～φ100 1,917.8m ※配水施設 朝山配水池 2池 堂原配水池 2池 御方配水池 2池 大月、須原、畑ポンプ所 配水管φ25～φ150 31,058.3m



第5次拡張事業 (3回目変更)	第6次拡張事業	第7次拡張事業
平成17年(2005)3月14日	平成21年(2009)4月1日	平成27年(2015)4月7日
140,590人	133,300人	138,600人
68,365 m <sup>3</sup>	60,800 m <sup>3</sup>	55,700 m <sup>3</sup>
4860	4560	4020
平成17年(2005)3月22日	平成21年(2009)4月1日	平成27年(2015)4月7日
平成19年(2007)3月31日	平成31年(2019)3月31日	平成36年(2019)3月31日
—	7,850,000千円	11,485,000千円
水道事業の統合 (平田市水道事業、大社町 水道事業)	1. 上津浄水場の浄水方法 の 変更 紫外線処理施設の新設 2. 島根県水道用水供給事業 からの受水に伴う水源種別 の変更等 平田地域 檜山・東・伊野地区 久多見町、野石谷町 上岡田町、多久町 多久谷町 3. 未普及地域の解消 平田地域 鹿園寺地区、苅藻谷地区 大社地域 中山地区 4. 簡易水道事業の統合に 伴う給水区域の拡張 湖陵簡易水道、差海簡 易水道、地合簡易水道、 河下広域簡易水道	1. 簡易水道事業の統合に 伴う給水区域の拡張 乙立簡易水道 塩津簡易水道 美保簡易水道 東部統合簡易水道 須佐簡易水道 窪田簡易水道 多伎簡易水道 鷺浦猪目簡易水道 日御碕簡易水道 の9簡易水道事業と 多久谷畑飲料水供給施設 を廃止し上水道事業に統合

※第5次拡張事業(2回目変更)までは旧出雲市の拡張事業

## 5. 出雲市水道事業基本計画について

平成 17 年 3 月 22 日に出雲地区 2 市 4 町（出雲市、平田市、佐田町、多伎町、湖陵町、大社町）の新市合併に伴い、出雲市水道事業も旧平田市、旧大社町が経営していた上水道事業を統合し、事業計画の一元化を図り、一つの水道事業としてスタートした。

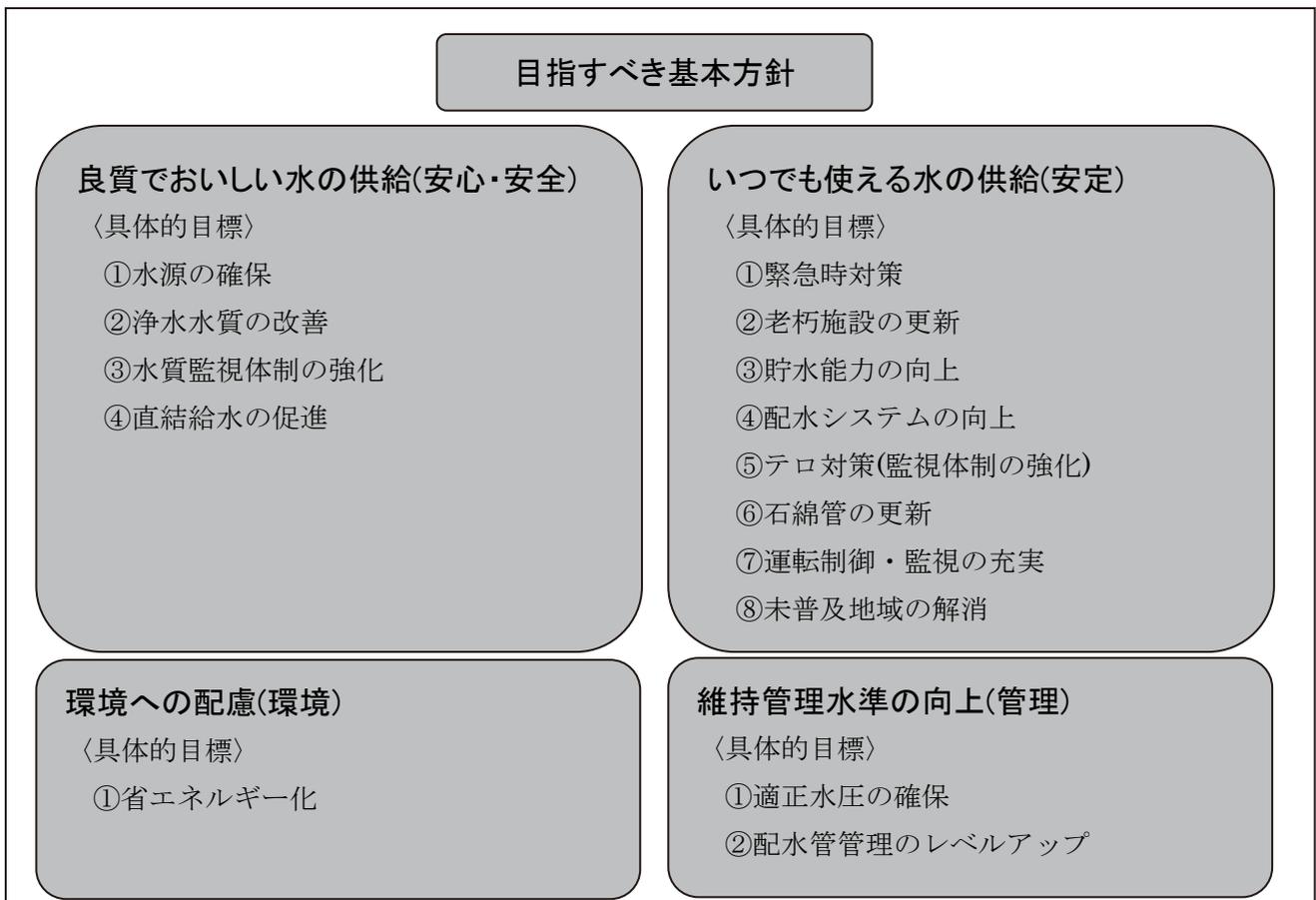
これに伴い、平成 18 年度に本市水道事業が抱える問題点等を整理し、将来の施設整備の目標となる「出雲市水道事業基本計画」を策定した。しかしながら、その後水道事業においては、水質面では、化学物質の多様化や病原性微生物への対応、安全面では、地震・濁水・水害・テロ・新型インフルエンザ等の多様な災害への対応、経営面では、広域的管理による効率化、環境面では、省エネルギー化の促進などの施策の強化が求められてきた。

本市水道事業においても、「簡易水道事業の上水道事業への統合」、「少子高齢化等の影響による人口動態及び水需要の変化（減少傾向への変化）」、「クリプトスポリジウム対策としての紫外線照射処理の活用」、「未普及地区解消の促進」などの対策が必要となった。

これらへの取組を実現するため、出雲市水道事業ビジョンの策定に併せて、平成 20 年度に出雲市水道事業基本計画の見直しを行った。

現在の出雲市水道事業基本計画の概要は、次のとおりである。

### 出雲市水道事業基本計画の概要



**【基本的事項】**

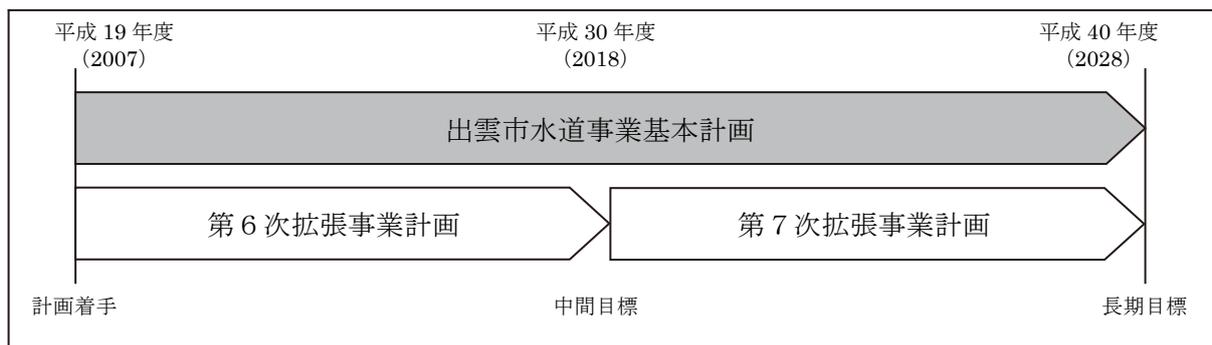
**(1) 計画年度**

長期的視野にたつて事業計画を策定する。

水道事業基本計画の計画期間は、平成 19 年度（2007）から平成 40 年度（2028）までとする。

長期目標年度……平成 40 年度（2028）  
 中期目標年度……平成 30 年度（2018）

**【基本計画フロー】**



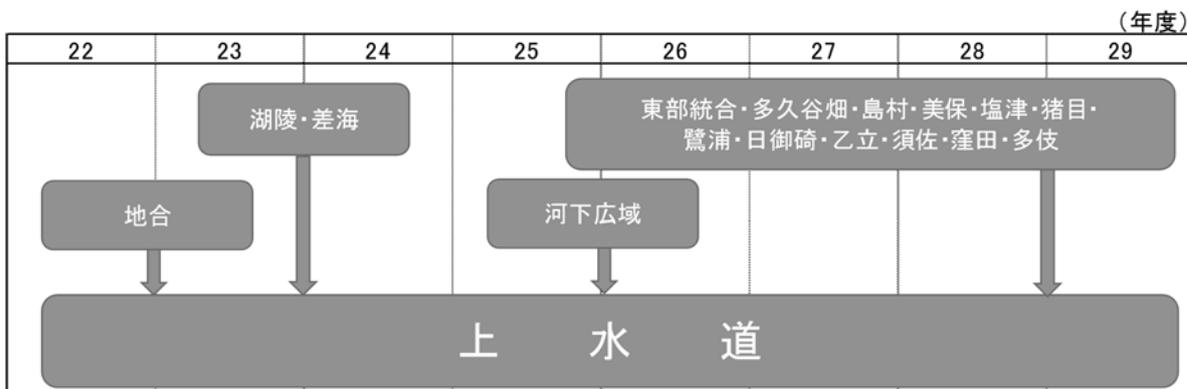
**(2) 計画給水人口、計画給水量**

- ・人口は「コーホート要因法」で推計した。
- ・給水量は生活原単位※と給水人口を基に算出し、工場、業務用の推定水量を加算して決定した。  
 (※生活原単位とは生活(家事)用に使用される、1人1日当たりの使用水量)

**第6次拡張事業(基本計画) (目標年度：平成 30 年度)**

- ①計画給水人口 143,700 人
- ②計画給水量 65,600 m<sup>3</sup>/日

(3) 平成 28 年度末までには、出雲市内の簡易水道事業を上水道事業に統合し、経営を一元化する。



(4) 旧平田市が計画していた県水道用水の受水は、平成 23 年度から順次開始

(5) 事業内容について

第6次拡張事業の主な事業内容

政策目標		具体的目標	事業内容
1. 安心・安全	良質でおいしい水の供給	①水源の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県水道用水供給事業からの受水</li> <li>・ 上島取水井の築造</li> <li>・ 上津、来原取水井の更新</li> </ul>
		②浄水水質の改善	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 上津浄水処理施設の新設</li> </ul>
		③水質監視体制の強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 無人浄水場の原水水質の監視 (バイオアッセイ)</li> </ul>
		④直結給水の促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 水圧の確保 (幹線配水管整備による減圧解除)</li> </ul>
2. 安定	いつでも使える水の供給	①緊急時対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 施設の耐震化対策</li> <li>・ 停電時対策(灘分浄水場・パークタウン)</li> <li>・ 応急給水設備の設置(向山配水池、愛宕山配水池、浜山配水池)</li> <li>・ 緊急遮断弁の設置(七面山配水池、妙見山配水池、新向山配水池)</li> </ul>
		②老朽施設の更新	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 老朽管路の更新</li> <li>・ 老朽建造物の更新</li> </ul>
		③貯水能力の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 配水池の増設(新向山配水池)</li> </ul>
		④配水システムの向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 幹線管路の二条化及び配水区域のブロック化</li> <li>・ 県受水のための施設整備</li> <li>・ 低水圧地区の解消(向山高台地区)</li> </ul>
		⑤テロ対策 (監視体制の強化)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 監視機器の設置(灘分浄水場に人感センサー・監視カメラ設置)</li> <li>・ 基幹施設のフェンス改修</li> </ul>
		⑥石綿管の更新	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 平田地域の石綿管更新</li> </ul>
		⑦運転制御・監視の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ テレコン/テレメーターの整備</li> <li>・ 中央制御・監視設備の改造</li> </ul>
		⑧未普及地域の解消	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 鹿園寺地区、苅藻谷地区等の水道整備(平田地域)</li> <li>・ 中山地区の水道整備(大社地域)</li> </ul>
3. 環境	環境への配慮	①省エネルギー化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 小規模ポンプ所等の統廃合(平田地域・大社地域)</li> <li>・ 省エネルギー型設備の導入</li> </ul>
4. 管理	維持管理水準の向上	①適正水圧の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高水圧対策(朝山地区・稗原地区)</li> </ul>
		②配水管管理のレベルアップ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 配水管の再整備(稗原地区・大社地域)</li> </ul>

## 6. 給水区域(平成 29 年(2017)3 月 31 日現在)

### 出雲地域

今市町、今市町北本町 1～5 丁目、今市町南本町、駅北町、駅南町 1～3 丁目、大津町の一部、大津新崎町 1～7 丁目、大津朝倉 1～3 丁目、枝大津町、上塩冶町の一部、塩冶町、天神町、塩冶有原町 1～6 丁目、塩冶町南町 1～5 丁目、塩冶神前 1～6 丁目、医大南町 1～3 丁目、塩冶原町 1～3 丁目、塩冶善行町、築山新町、古志町の一部、高松町、白枝町、松寄下町、下横町、浜町、矢野町、姫原町、姫原 1～4 丁目、小山町、大塚町、渡橋町、矢尾町の一部、日下町の一部、里方町、平野町、常松町、八島町、江田町、武志町、中野町、中野美保南 1～3 丁目、中野美保北 1～3 丁目、荻杼町、稲岡町、高岡町、東林木町の一部、西林木町の一部、上島町の一部、船津町の一部、西谷町、稗原町の一部、野尻町の一部、宇那手町の一部、朝山町の一部、馬木町の一部、馬木北町、所原町の一部、見々久町の一部、下古志町、芦渡町の一部、神門町、知井宮町の一部、西新町 1～3 丁目、東神西町の一部、西神西町の一部、神西沖町、大島町、神西新町、荒茅町、東園町、西園町、外園町、長浜町、平成町

### 平田地域

平田町、西平田町、灘分町、美談町の一部、西代町、国富町の一部、口宇賀町の一部、西郷町、万田町の一部、奥宇賀町の一部、本庄町の一部、東郷町、東福町の一部、久多見町の一部、野石谷町の一部、上岡田町の一部、岡田町、多久谷町の一部、多久町の一部、園町の一部、鹿園寺町の一部、小境町の一部、地合町の一部、美野町、野郷町の一部

### 湖陵地域

湖陵町畑村の一部、湖陵町常楽寺の一部、湖陵町二部の一部、湖陵町三部の一部、湖陵町大池の一部、湖陵町板津、湖陵町差海

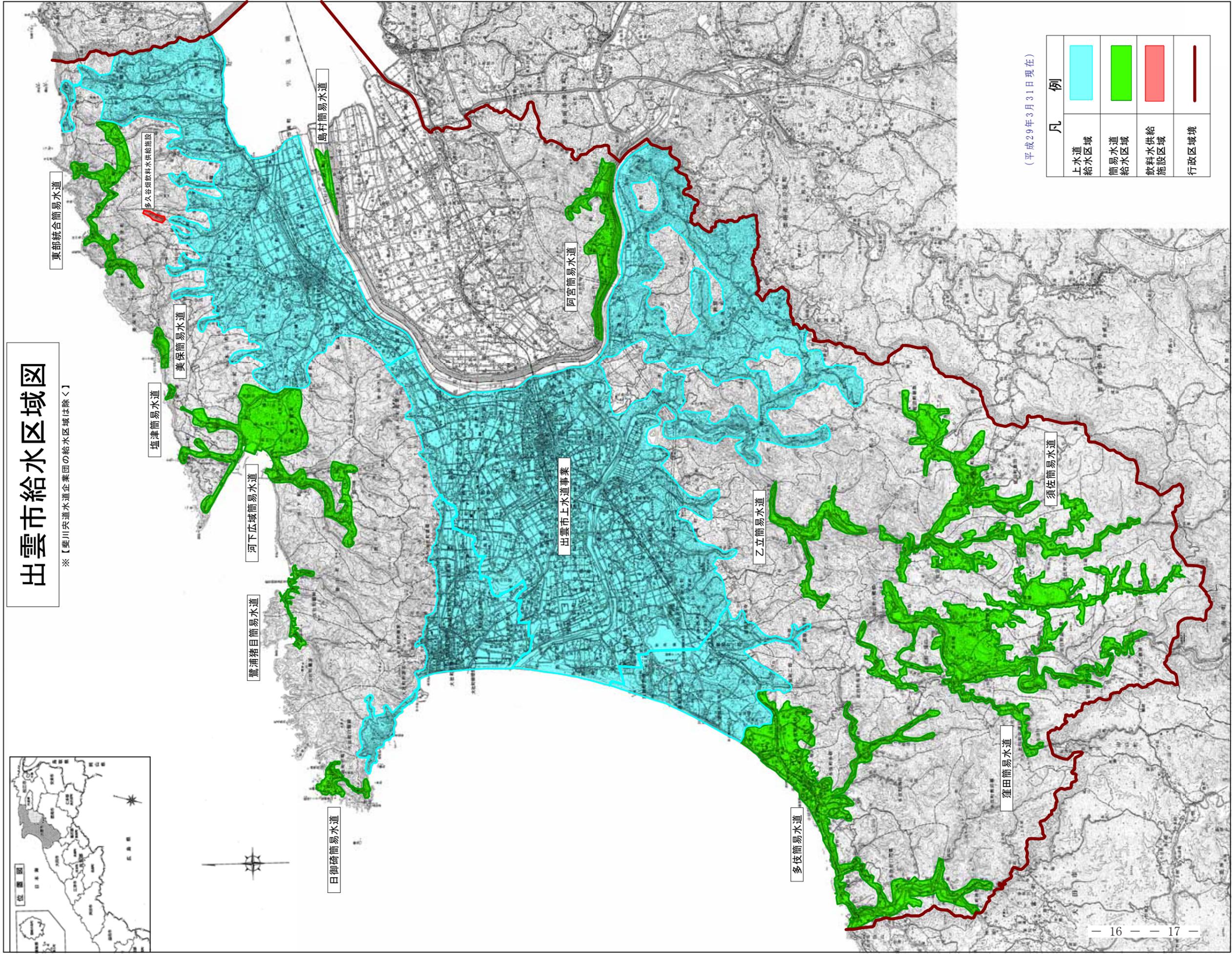
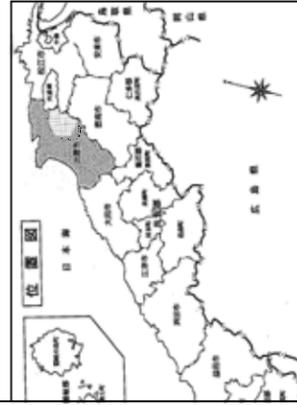
### 大社地域

大社町杵築東の一部、大社町杵築西、大社町杵築南、大社町杵築北の一部、大社町北荒木、大社町中荒木、大社町修理免の一部、大社町遙堪の一部、大社町入南、大社町菱根の一部、大社町日御碕の一部



# 出雲市給水区域図

※【斐川水道水道企業団の給水区域は除く】



東部統合簡易水道

塩津簡易水道

美保簡易水道

鷺浦猪目簡易水道

河下広域簡易水道

日御碕簡易水道

島村簡易水道

出雲市上水道事業

阿宮簡易水道

乙立簡易水道

多伎簡易水道

窪田簡易水道

須佐簡易水道

(平成29年3月31日現在)

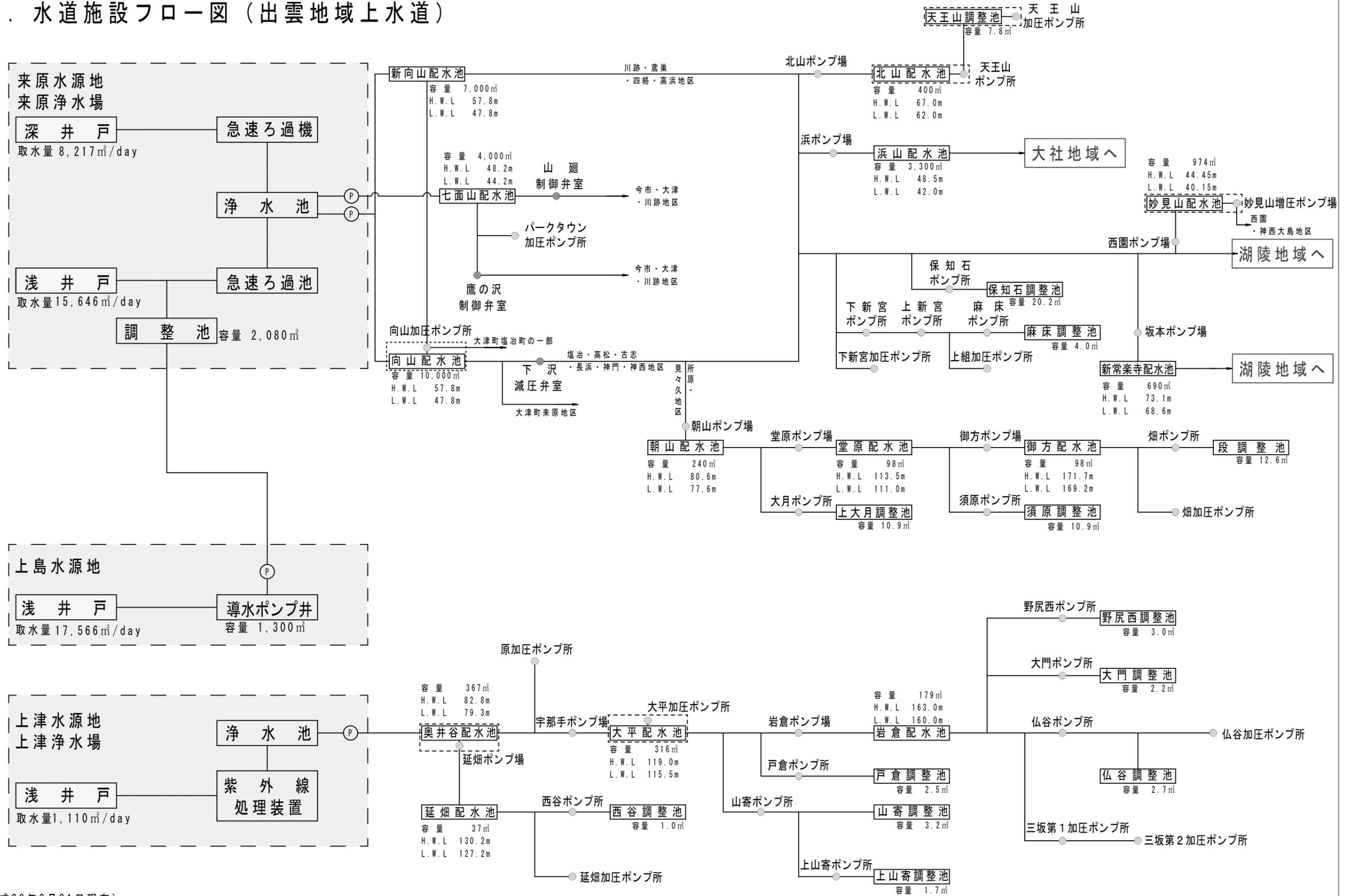
凡例	
上水道給水区域	
簡易水道給水区域	
飲料水供給施設区域	
行政区域境	

## II 施設の概要

じゃ口から  
安心とどけ  
未来まで

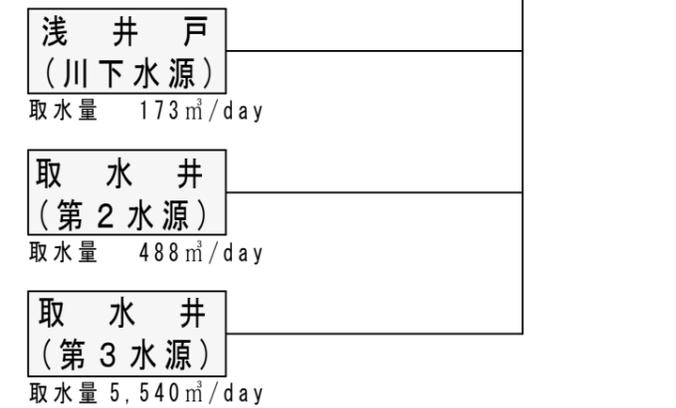
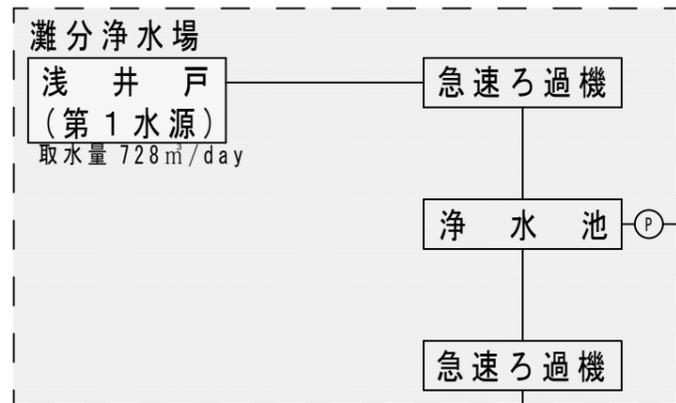
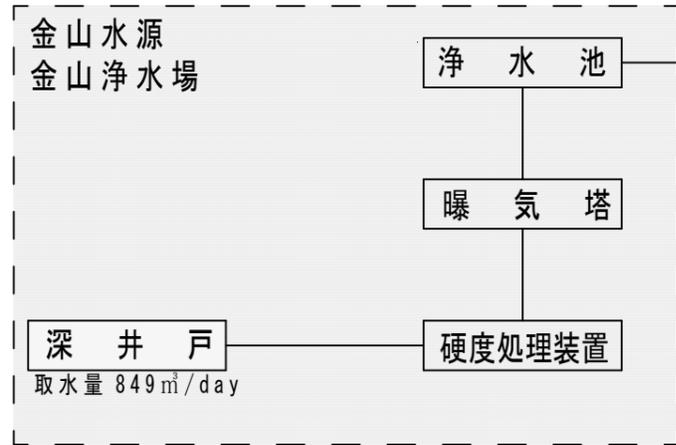
平成二十八年年度 第五十八回水道週間スローガン

# 1. 水道施設フロー図（出雲地域上水道）

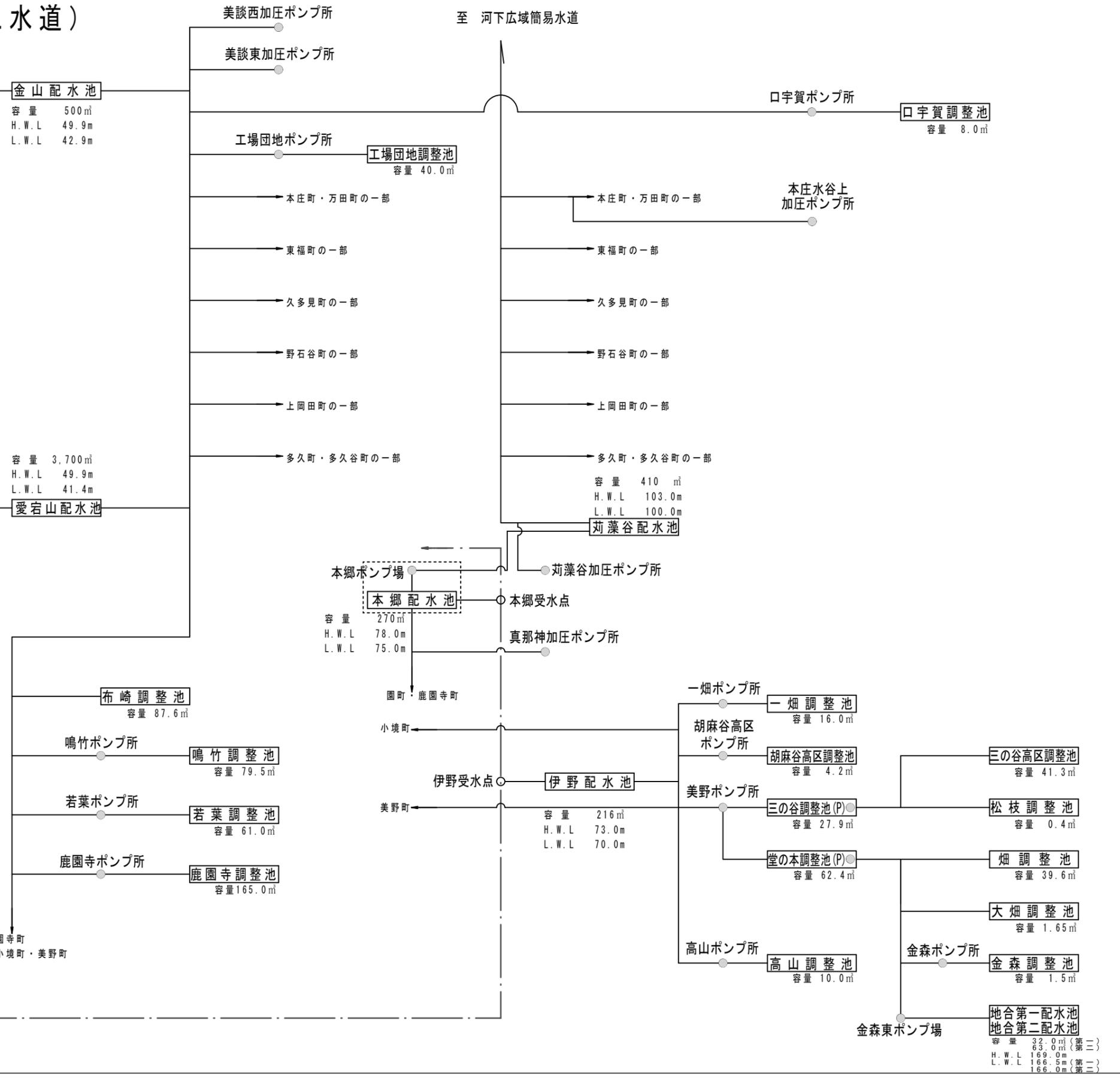


(平成29年3月31日現在)

# 1. 水道施設フロー図（平田地域上水道）

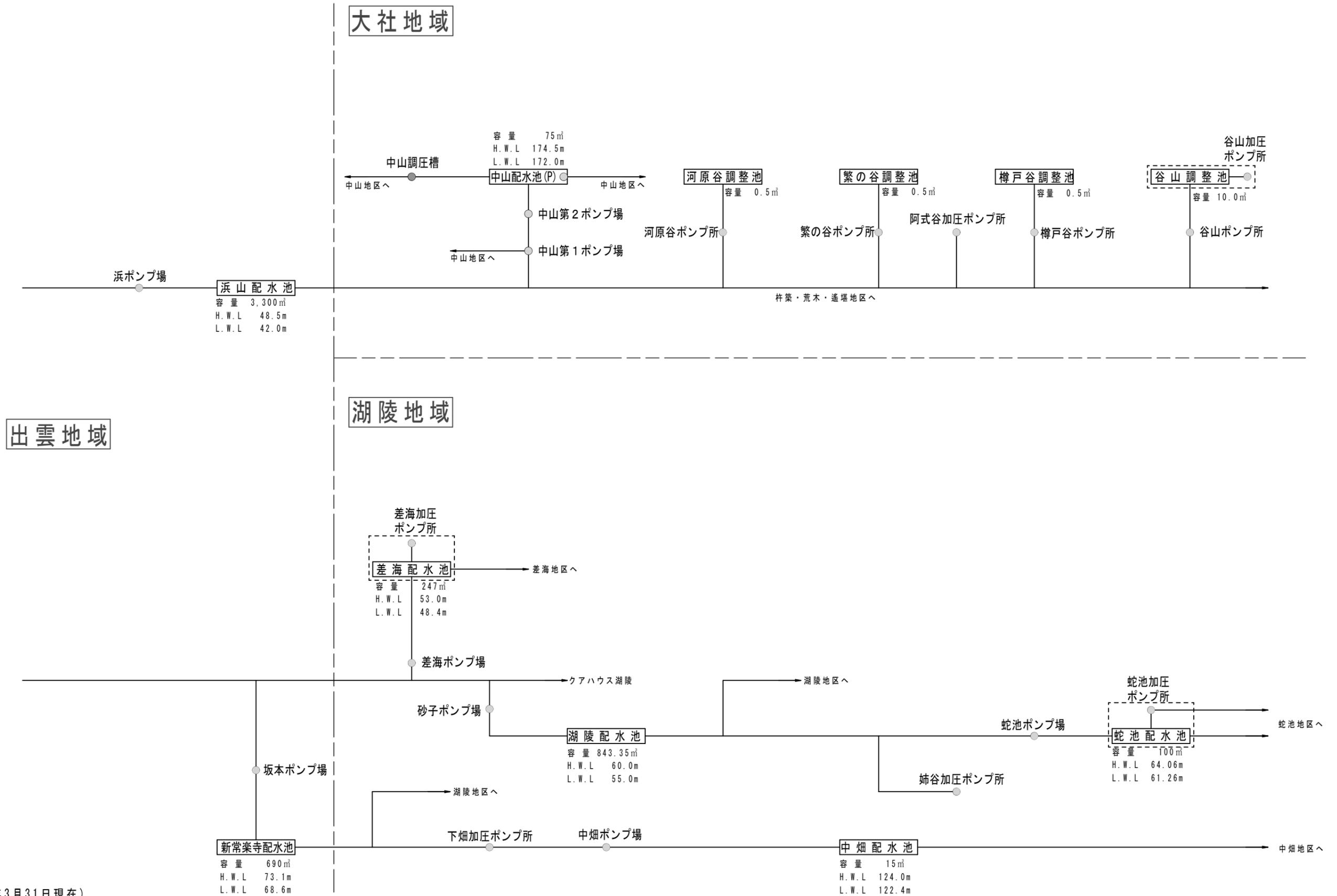


(県)  
斐伊川水道



(平成29年3月31日現在)

# 1. 水道施設フロー図（湖陵・大社地域上水道）



(平成29年3月31日現在)

## 2. 現有施設一覧表

出雲地域

施設	施設概要
上下水道局	(庁舎) RC造り2階建 延床面積 1,199m <sup>2</sup> (サービスセンター棟) S造り2階建 延床面積 243m <sup>2</sup> (車庫) S造り平屋 延床面積 165m <sup>2</sup> (自転車置場) S造り平屋 延床面積 60m <sup>2</sup> (駐車場) 敷地面積 454m <sup>2</sup> 総敷地面積 3,547m <sup>2</sup>
来原水源地 来原浄水場 (取水井)	浅井戸 6井 RC造り 内径5.0m×(深さ 8.1m ~10.8m) 3井 RC造り 内径5.0m×(深さ12.85m~14.13m) 3井 深井戸 2井 ジョンソンスクリーン 内径(0.75m~1.00m)×深さ50m 2井 水中ポンプ φ200 5.0m <sup>3</sup> /分(吐出し量)×27m(全揚程)×37kW(出力) 2台 ろ過機 鋼板製 内径3.48m×高さ3.95m 2台 処理水量 312.5m <sup>3</sup> /h ろ速 27m/h 着水井 RC造り 巾2.0m×長さ4.0m×水深4.3m V= 34.4m <sup>3</sup> 急速かく拌池 RC造り 巾2.0m×長さ2.0m×水深4.3m V= 17.2m <sup>3</sup> ブロック形成池 RC造り 巾0.8m×長さ8.0m×水深3.9m V= 225m <sup>3</sup> 沈でん池 RC造り 巾8.0m×長さ9.2m×水深4.0m V= 295m <sup>3</sup> 調整池 RC造り 巾(19.155m~24.15m)×長さ24.7m×水深3.9m V=2,080m <sup>3</sup>
(ポンプ井：導水用) (導水ポンプ)	RC造り 内径(4.0m~5.0m)×深さ(7.50m~9.35m) 3井 水中ポンプ 第2ポンプ井 φ150 3.3m <sup>3</sup> /分×16m×15kW 3台 第3ポンプ井 φ200 4.5m <sup>3</sup> /分×15m×18.5kW 3台
(急速ろ過施設：浅井戸用)	急速ろ過池(着水井、急速かく拌池、塩素混和池一体構造) RC造り 着水井 巾4.5m×長さ17.1m×水深5.0m V=385m <sup>3</sup> 急速かく拌池 巾4.5m×長さ 4.5m×水深5.0m V=101m <sup>3</sup> 急速ろ過池 巾5.0m×長さ11.3m ろ過面積 56.50m <sup>2</sup> /池 8池 塩素混和池 巾5.4(3.0)m×長さ10.0(18.1)m×水深2.6m V=282m <sup>3</sup>
(浄水池)	RC造り 巾16.5m×長さ24.0m×水深3.0m V=2,310m <sup>3</sup>
(送水ポンプ)	向山系 横軸両吸込渦巻きポンプ φ250(吸込管)×150(吐出管) 6.90m <sup>3</sup> /分×59m×110kW 6台 七面山系 横軸両吸込渦巻きポンプ φ200×150 4.69m <sup>3</sup> /分×46m×55kW 3台
(自家発電機設備)	自家発電機設備 1,500kVA
(送水ポンプ室)	RC造り平屋建て 巾18.80m×長さ25.32m 床面積 479m <sup>2</sup>
(次亜注入機室)	RC造り平屋建て 巾 6.92m×長さ15.42m 床面積 106.7m <sup>2</sup>
(管理棟)	RC造り2階建て 巾22.52m×長さ31.02m 延床面積 1,307.0m <sup>2</sup>

施 設	施 設 概 要
( 排 水 処 理 施 設 )	R C造り 排水池、上澄水槽、排泥池、濃縮槽等一体構造 排水池 巾12.0m×長さ12.0m×水深3.0m×2池 V=864m <sup>3</sup> 上澄水槽 巾4.0m×長さ24.5m×水深3.0m×1池 V=294m <sup>3</sup> 排泥池 巾7.0m×長さ7.0m×水深3.5m×2池 V=270m <sup>3</sup> 濃縮槽 巾7.0m×長さ7.0m×水深3.5m×1池 V=135m <sup>3</sup>
( 天 日 乾 燥 床 )	R C造り 巾7.0m×長さ18.0m 床面積 126m <sup>2</sup> /池 10池
上 島 水 源 地 ( 取 水 井 )	浅井戸7井 内径(1.00m)×深さ(22.7m~26.3m)×7井 スクリーン L=6.0m~9.0m
( 取 水 ポ ン プ ) ( ポ ン プ 井 : 導 水 用 )	水中ポンプ φ150 3.48m <sup>3</sup> /分×30m×18.5~30kW 7台 P C造り 有効容量 1,300m <sup>3</sup> 満水位標高 HWL+34m 有効水深 10m 低水位標高 LWL+24m
( 導 水 ポ ン プ ) ( ポ ン プ 室 ) ( 自 家 発 電 機 設 備 )	横軸両吸込渦巻きポンプ φ400×300 14m <sup>3</sup> /分×27m×90kW 2台 R C造り平屋建 巾15.0m×長さ16.0m 床面積 240m <sup>3</sup> 自家発電機設備 625kVA
上 津 水 源 地 上 津 浄 水 場 ( 取 水 井 ) ( 取 水 ポ ン プ ) ( 着 水 棟 )	浅井戸1井 内径0.3m×深さ20m 水中ポンプ φ100 1.5m <sup>3</sup> /分×15m×7.5kW 1台 R C造り 着水井 内空 巾1.0m×長さ4.6m×高さ3.6m 1池 曝気槽 内空 巾2.0m×長さ4.6m×高さ3.8m 1池 混和槽 内空 巾2.2m×長さ4.6m×高さ3.8m 1池 原水槽 内空 巾2.0m×長さ4.6m×高さ2.8m 2池 原水ポンプ SUS製水中渦巻きポンプ φ80 1.13m <sup>3</sup> /分×25m×7.5kW 2台
( 管 理 棟 )	R C造り 薬注室 内空 巾3.375m×長さ6.810m 電気室 内空 巾6.275m×長さ6.810m 紫外線室 内空 巾9.800m×長さ5.820m 紫外線処理設備 内照式流水型 UVランプ×2本 浄水処理能力 1,620m <sup>3</sup> /日 2台 ポンプ室 内空 巾9.800m×長さ6.810m 曝気プロワールーツ型プロワール φ100 5.65m <sup>3</sup> /分×50kPa×11kW 1台
( 浄 水 池 )	R C造り 巾3.0m×長さ3.55m×高さ2.95m=26.5m <sup>3</sup> 有効水深 2.50m
( 送 水 ポ ン プ )	送水ポンプ 多段渦巻きポンプ φ125 1.0m <sup>3</sup> /分×101.1m×37kW 2台(内1台D. E(ディーゼルエンジン)付)
( ポ ン プ 室 )	C B造り平屋建 巾4.55m×長さ8.25m 床面積 37.54m <sup>2</sup>

施 設	施 設 概 要
向 山 配 水 池	PC造り 内径35.7m 1池 有効容量 10,000m <sup>3</sup> 満水位標高 HWL +57.8m 有効水深 10m 低水位標高 LWL +47.8m
向 山 加 圧 ポ ン プ 所 (向 山 配 水 池 内 に 設 置)	ポンプ室 RC造り 22.84m <sup>2</sup> ポンプ井 向山配水池 加圧ポンプ SUS製 φ50 0.77m <sup>3</sup> /分×29.2m×3.7kW 1組(3台)
新 向 山 配 水 池	PC造り 内径29.9m 1池 有効容量 7,000m <sup>3</sup> 満水位標高 HWL +57.8m 有効水深 10m 低水位標高 LWL +47.8m
下 沢 減 圧 弁 室	電気室 RC造り 内空 巾4.2m×長さ3.2m 配管ピット RC造り 内空 巾4.0m×長さ3.0m×高さ2.3m 弁 多孔可変式オリフィス弁φ600
七 面 山 配 水 池	PC造り 内径18m 2池 有効容量 2,000m <sup>3</sup> 満水位標高 HWL +48.2m 有効水深 4.0m 低水位標高 LWL +44.2m  RC造り 内空 巾13.2m×長さ20m×有効水深4.0m 2池 有効容量 2,000m <sup>3</sup> 満水位標高 HWL +48.2m 低水位標高 LWL +44.2m
山 廻 制 御 弁 室	電気室 RC造り 内空 巾3.7m×長さ2.7m 配管ピット RC造り 内空 巾3.5m×長さ2.5m×高さ2.1m 弁 電動式立型バタフライ弁(くし歯弁体)φ300
鷹 の 沢 制 御 弁 室	配管ピット RC造り 内空 巾2.0m×長さ2.0m×高さ2.2m 弁 電動式立型バタフライ弁(くし歯弁体)φ300

施 設	施 設 概 要
奥井谷配水池	RC造り 巾4.0m×長さ6.10m×有効水深3.5m 2池 有効容量 171m <sup>3</sup> 満水位標高 HWL+82.8m 低水位標高 LWL+79.3m
	RC造り 巾5.3m×長さ10.6m×有効水深3.5m 1池 有効容量 196m <sup>3</sup>
西園ポンプ場	ポンプ室 CB造り 31.6m <sup>2</sup> 送水ポンプ φ125 1.4m <sup>3</sup> /分×50m×22kW 2台(内1台D.E付)
妙見山配水池	PC造り 内径12.0m 2池 有効容量 974m <sup>3</sup> 満水位標高 HWL+44.45m 有効水深 4.3m 低水位標高 LWL+40.15m
浜ポンプ場	ポンプ室 RC造り60m <sup>2</sup> 滅菌機 4台 自動塩素測定機 1基 ポンプ井 RC造り 巾13.8m×長さ12.0m×有効水深3.0m 有効容量 480m <sup>3</sup> 満水位標高 HWL+2.2m 低水位標高 LWL-0.8m 送水ポンプ 多段渦巻ポンプ φ125 1.7m <sup>3</sup> /分×55m×30kW 4台 電気室 RC造り 96m <sup>2</sup>
(自家発電機設備)	自家発電機設備 150kVA
浜山配水池	PC造り 内径 25.5m 1池 有効容量 3,300m <sup>3</sup> 満水位標高 HWL+48.5m 有効水深 6.5m 低水位標高 LWL+42.0m

施 設	施 設 概 要
坂 本 ポ ン プ 場	<p>ポンプ室 SUS製 ポンプ井・次亜室一体型 巾6.0m×長さ7.0m×高さ2.5m</p> <p>ポンプ井 巾3.0m×長さ4.0m×有効水深1.7m 2池</p> <p>有効容量 40.8m<sup>3</sup></p> <p>満水位標高 HWL+11.7m</p> <p>低水位標高 LWL+10.0m</p> <p>送水ポンプ 横軸片吸込多段渦巻ポンプ φ100 0.64m<sup>3</sup>/分×70.1m×15kW 2台</p> <p>次 亜 室 巾2.0m×長さ3.0m×高さ2.5m (ポンプ室内)</p> <p>次亜注入装置 液中バルブレス型 0.1~5.8m<sup>3</sup>/分×1.0MPa×200V 2台</p> <p>次亜貯槽 角型密閉槽 PVC製 100ℓ</p>
新 常 楽 寺 配 水 池	<p>本 体 SUS製 巾7.0m×長さ11.0m×有効水深4.5m 2池</p> <p>有効容量 690m<sup>3</sup></p> <p>満水位標高 HWL+73.1m</p> <p>低水位標高 LWL+68.6m</p> <p>緊急遮断弁 φ200 手動復帰形ウエイト閉鎖式、流量感知</p> <p>弁 室 RC造り 内空 巾2.0m×長さ1.9m×高さ1.46m</p>
北 山 ポ ン プ 場	<p>ポンプ室 RC造り 51.41m<sup>2</sup></p> <p>ポンプ井 RC造り 巾5.5m×長さ4.9m×有効水深2.5m 有効容量 67.4m<sup>3</sup></p> <p>送水ポンプ 多段渦巻ポンプ φ100 1.11m<sup>3</sup>/分×69m×22kW 2台(内1台D、E付)</p>
北 山 配 水 池	<p>PC造り 内径 10.3m</p> <p>有効容量 400m<sup>3</sup></p> <p>満水位標高 HWL+67.0m</p> <p>有効水深 5.0m</p> <p>低水位標高 LWL+62.0m</p>
朝 山 ポ ン プ 場	<p>ポンプ室 CB造り 25.5m<sup>2</sup></p> <p>ポンプ井 RC造り 巾4.0m×長さ4.0m×有効水深1.5m 有効容量 24.0m<sup>3</sup></p> <p>送水ポンプ 多段渦巻ポンプ φ65 0.36m<sup>3</sup>/分×72m×11kW 2台(内1台D、E付)</p>
朝 山 配 水 池	<p>RC造り 巾5.0m×長さ8.0m×有効水深3.0m 2池 有効容量 240.0m<sup>3</sup></p>
堂 原 ポ ン プ 場	<p>ポンプ室 CB造り 20.6m<sup>2</sup></p> <p>ポンプ井 RC造り 巾2.9m×長さ2.9m×有効水深1.0m 有効容量 8.4m<sup>3</sup></p> <p>送水ポンプ 多段渦巻ポンプ φ40 0.12m<sup>3</sup>/分×80m×5.5kW 2台(内1台D、E付)</p>
堂 原 配 水 池	<p>RC造り 巾3.5m×長さ5.6m×有効水深2.5m 2池 有効容量 98.0m<sup>3</sup></p>

施 設	施 設 概 要
御 方 ポ ン プ 場	<p>ポンプ室 CB造り 26.8m<sup>2</sup></p> <p>ポンプ井 RC造り 巾2.4m×長さ2.4m×有効水深1.05m 有効容量 5.7m<sup>3</sup></p> <p>送水ポンプ 多段渦巻ポンプ φ40 0.12m<sup>3</sup>/分×93m×5.5kW 2台(内1台D.E付)</p>
御 方 配 水 池	RC造り 巾3.5m×長さ5.6m×有効水深2.5m 2池 有効容量 98.0m <sup>3</sup>
宇 那 手 ポ ン プ 場	<p>ポンプ室 CB造り 巾4.15m×長さ6.25m 床面積 25.9m<sup>2</sup></p> <p>ポンプ井 SUS製 巾4.0m×長さ2.0m×有効水深2.0m 有効容量 16m<sup>3</sup></p> <p>送水ポンプ 多段渦巻ポンプ φ100 0.80m<sup>3</sup>/分×91.5m×22kW 2台(内1台D.E付)</p>
大 平 配 水 池	<p>RC造り 巾4.0m×長さ5.3m×有効水深3.5m 2池</p> <p>有効容量 148m<sup>3</sup></p> <p>満水位標高 HWL+119m</p> <p>低水位標高 LWL+115.5m</p> <p>RC造り 巾4.4m×長さ5.5m×有効水深3.5m 2池</p> <p>有効容量 169m<sup>3</sup></p> <p>満水位標高 HWL+119.0m</p> <p>低水位標高 LWL+115.5m</p>
岩 倉 ポ ン プ 場	<p>ポンプ室 CB造り 巾5.5m×長さ3.35m-1.20m×1.75m=16.325m<sup>2</sup></p> <p>ポンプ井 SUS造り 巾2.0m×長さ2.0m×有効水深1.5m 有効容量 6.0m<sup>3</sup></p> <p>送水ポンプ 多段渦巻ポンプφ65 0.315m<sup>3</sup>/分×98m×11kW 2台(内1台D.E付)</p>
岩 倉 配 水 池	<p>RC造り 巾4.0m×長さ6.75m×有効水深3.0m 1池</p> <p>有効容量 81m<sup>3</sup></p> <p>満水位標高 HWL+163m</p> <p>低水位標高 LWL+160m</p> <p>RC造り 巾4.9m×長さ6.7m×有効水深3.0m 1池</p> <p>有効容量 98m<sup>3</sup></p> <p>満水位標高 HWL+163m</p> <p>低水位標高 LWL+160m</p>
延 畑 ポ ン プ 場 (奥井谷配水池内に設置)	<p>送水ポンプ 水中モーターポンプ φ50 0.125m<sup>3</sup>/分×77m×5.5kW 2台</p>
延 畑 配 水 池	<p>RC造り 巾3.0m×長さ4.2m×有効水深3.0m</p> <p>有効容量 37m<sup>3</sup></p> <p>満水位標高 HWL+130.2m</p> <p>低水位標高 LWL+127.2m</p>

施 設	施 設 概 要
天王山ポンプ所 (北山配水池内に設置)	電気室 R C造り 7.7m <sup>2</sup> 送水ポンプ φ40 0.19m <sup>3</sup> /分×80m×5.5kW 2台
天王山調整池	R C造り 巾2.55m×長さ2.55m×有効水深1.2m 有効容量 7.8m <sup>3</sup> 満水位標高 HWL+131.27m 低水位標高 LWL+130.07m
保知石ポンプ所	ポンプ井 R C造り 巾3.0m×長さ3.0m×有効水深2.25m 有効容量 20.2m <sup>3</sup> 満水位標高 HWL+20.70m 低水位標高 LWL+18.45m 送水ポンプ φ40 0.10m <sup>3</sup> /分×87m×5.5kW 2台
保知石調整池	R C造り 巾3.0m×長さ3.0m×有効水深2.25m 有効容量 20.2m <sup>3</sup> 満水位標高 HWL+80.50m 低水位標高 LWL+78.25m
大月ポンプ所	電気室 C B造り 10.3m <sup>2</sup> ポンプ井 R C造り 巾2.4m×長さ2.4m×有効水深1.0m 有効容量 5.7m <sup>3</sup> 送水ポンプ 水中タービンポンプ φ40 0.09m <sup>3</sup> /分×135m×7.5kW 2台
上大月調整池	R C造り 巾2.9m×長さ2.9m×有効水深1.3m 有効容量 10.9m <sup>3</sup>
須原ポンプ所	電気室 C B造り 10.3m <sup>2</sup> ポンプ井 R C造り 巾2.4m×長さ2.4m×有効水深1.0m 有効容量 5.7m <sup>3</sup> 送水ポンプ 水中タービンポンプ φ40 0.10m <sup>3</sup> /分×105m×5.5kW 2台
須原調整池	R C造り 巾2.9m×長さ2.9m×有効水深1.3m 有効容量 10.9m <sup>3</sup>
畑ポンプ所	電気室 C B造り 10.3m <sup>2</sup> ポンプ井 R C造り 巾2.4m×長さ2.4m×有効水深1.0m 有効容量 5.7m <sup>3</sup> 送水ポンプ 水中タービンポンプ φ40 0.09m <sup>3</sup> /分×119m×5.5kW 2台
段調整池	R C造り 巾2.9m×長さ2.9m×有効水深1.5m 有効容量 12.6m <sup>3</sup>
山寄ポンプ所	ポンプ井 R C造り 巾1.0m×長さ1.1m×有効水深1.0m 有効容量 1.1m <sup>3</sup> 満水位標高 HWL+83.6m 低水位標高 LWL+82.6m 送水ポンプ 水中モーターポンプ φ50 0.125m <sup>3</sup> /分×105m×7.5kW 2台

施 設	施 設 概 要
山 寄 調 整 池	R C造り 巾1.5m×長さ1.8m×有効水深1.2m 有効容量 3.2m <sup>3</sup> 満水位標高 HWL +161.3m 低水位標高 L W L +160.1m
上 山 寄 ポ ン プ 所	ポンプ井 R C造り 巾1.0m×長さ1.0m×有効水深1.0m 有効容量 1.0m <sup>3</sup> 満水位標高 HWL +137.0m 低水位標高 L W L +136.0m 送水ポンプ 水中モーターポンプ φ50 0.125m <sup>3</sup> /分×77m×5.5kW 2台
上 山 寄 調 整 池	R C造り 巾1.0m×長さ1.7m×有効水深1.0m 有効容量 1.7m <sup>3</sup> 満水位標高 HWL +183.0m 低水位標高 L W L +182.0m
戸 倉 ポ ン プ 所	ポンプ井 R C造り 巾1.0m×長さ1.0m×有効水深1.0m 有効容量 1.0m <sup>3</sup> 満水位標高 HWL +82.0m 低水位標高 L W L +81.0m 送水ポンプ 水中モーターポンプ φ40 0.09m <sup>3</sup> /分×119m×5.5kW 2台
戸 倉 調 整 池	R C造り 巾1.4m×長さ1.5m×有効水深1.2m 有効容量 2.5m <sup>3</sup> 満水位標高 HWL +153.7m 低水位標高 L W L +152.5m
野 尻 西 ポ ン プ 所	ポンプ井 R C造り 巾1.0m×長さ1.0m×有効水深1.0m 有効容量 1.0m <sup>3</sup> 満水位標高 HWL +127.0m 低水位標高 L W L +126.0m 送水ポンプ 水中モーターポンプ φ50 0.125m <sup>3</sup> /分×77m×5.5kW 2台
野 尻 西 調 整 池	R C造り 巾1.5m×長さ1.7m×有効水深1.2m 有効容量 3.0m <sup>3</sup> 満水位標高 HWL +191.0m 低水位標高 L W L +189.8m

施 設	施 設 概 要		
大 門 ポ ン プ 所	ポンプ井	R C造り	巾1.0m×長さ1.0m×有効水深1.0m 有効容量 1.0m <sup>3</sup> 満水位標高 HWL +125.5m 低水位標高 LWL +124.5m
	送水ポンプ	水中モーターポンプ	φ40 0.117m <sup>3</sup> /分×75m×3.7kW 2台
大 門 調 整 池	R C造り	巾1.25m×長さ1.5m×有効水深1.2m	有効容量 2.2m <sup>3</sup> 満水位標高 HWL +174.5m 低水位標高 LWL +173.3m
仏 谷 ポ ン プ 所	ポンプ井	R C造り	巾1.0m×長さ1.0m×有効水深1.0m 有効容量 1.0m <sup>3</sup> 満水位標高 HWL +136.8m 低水位標高 LWL +135.8m
	送水ポンプ	多段渦巻ポンプ	φ40 0.11m <sup>3</sup> /分×132m×7.5kW 2台(内1台D. E付)
仏 谷 調 整 池	R C造り	巾1.5m×長さ1.55m×有効水深1.2m	有効容量 2.7m <sup>3</sup> 満水位標高 HWL +241.2m 低水位標高 LWL +240.0m
西 谷 ポ ン プ 所	ポンプ井	R C造り	巾1.0m×長さ1.0m×有効水深1.0m 有効容量 1.0m <sup>3</sup> 満水位標高 HWL +88.7m 低水位標高 LWL +87.7m
	送水ポンプ	水中モーターポンプ	φ50 0.125m <sup>3</sup> /分×77m×5.5kW 2台
西 谷 調 整 池	R C造り	巾1.0m×長さ1.0m×有効水深1.0m	有効容量 1.0m <sup>3</sup> 満水位標高 HWL +152.6m 低水位標高 LWL +151.4m
下 新 宮 ポ ン プ 所	滅菌電気室	C B造り	13.8m <sup>2</sup>
	ポンプ井	R C造り	巾2.3m×長さ2.3m×有効水深1.9m 有効容量 10.0m <sup>3</sup> 満水位標高 HWL +25.90m 低水位標高 LWL +24.00m
	送水ポンプ	水中モーターポンプ	φ40 0.165m <sup>3</sup> /分×76m×5.5kW 2台

施 設	施 設 概 要
上 新 宮 ポ ン プ 所	電 気 室 CB造り 5.4m <sup>2</sup> ポンプ井 RC造り 巾3.9m×長さ3.9m×有効水深1.4m 有効容量 21.2m <sup>3</sup> 満水位標高 HWL+77.25m 低水位標高 LWL+75.85m 送水ポンプ 水中モーターポンプ (麻床向) φ40 0.09m <sup>3</sup> /分×72m×3.7kW 2台 (上組系) φ40 0.09m <sup>3</sup> /分×119m×5.5kW 2台
麻 床 ポ ン プ 所	電 気 室 CB造り 8.7m <sup>2</sup> ポンプ井 RC造り 巾2.6m×長さ2.6m×有効水深1.6m 有効容量 10.8m <sup>3</sup> 満水位標高 HWL+128.15m 低水位標高 LWL+126.55m 送水ポンプ 水中ポンプ φ40 0.12m <sup>3</sup> /分×61m×3.7kW 2台
麻 床 調 整 池	RC造り 巾2.0m×長さ2.0m×有効水深1.0m 有効容量 4.0m <sup>3</sup> 満水位標高 HWL+182.60m 低水位標高 LWL+181.60m
妙 見 山 増 圧 ポ ン プ 場 (妙見山配水池内に設置)	ポンプ室 RC造り平屋建 巾5.34m×長さ3.84m 床面積 20.5m <sup>2</sup> 増圧ポンプ 給水ユニット インバータ制御 φ65 1.75m <sup>3</sup> /分×20m×3.7kW 5台並列運転(最大4台)
パ ー ク タ ウ ン 加 圧 ポ ン プ 所	電 気 室 16.3m <sup>2</sup> ポンプ井 RC造り 巾5.85m×長さ1.55m×有効水深2.1m 2池 有効容量 38.1m <sup>3</sup> 満水位標高 HWL+30.8m 低水位標高 LWL+28.7m 加圧ポンプ φ50 0.26m <sup>3</sup> /分×38m×3.7kW 2台
天 王 山 加 圧 ポ ン プ 所 (天王山調整池内に設置)	電 気 室 RC造り 7.7m <sup>2</sup> ポンプ井 天王山調整池 加圧ポンプ φ32 0.07m <sup>3</sup> /分×65m×1.9kW 2台

施 設	施 設 概 要
上組加圧ポンプ所	<p>電気室 CB造り 8.7m<sup>2</sup></p> <p>ポンプ井 RC造り 巾2.6m×長さ2.6m×有効水深1.1m</p> <p>有効容量 7.4m<sup>3</sup></p> <p>満水位標高 HWL+158.05m</p> <p>低水位標高 LWL+156.95m</p> <p>加圧ポンプ SUS製 インバータ制御 圧力タンク付</p> <p>φ32 0.034m<sup>3</sup>/分×36m×0.75kW 1台</p>
下新宮加圧ポンプ所	<p>電気室 3.3m<sup>2</sup></p> <p>ポンプ井 RC造り 巾1.8m×長さ2.0m×有効水深1.8m 有効容量 6.5m<sup>3</sup></p> <p>加圧ポンプ φ32 0.04m<sup>3</sup>/分×59.5m×1.1kW 2台</p>
畑加圧ポンプ所	<p>電気室 RC造り 7.7m<sup>2</sup></p> <p>ポンプ井 RC造り 巾2.55m×長さ2.55m×有効水深1.1m</p> <p>有効容量 7.15m<sup>3</sup></p> <p>満水位標高 HWL+136.70m</p> <p>低水位標高 LWL+135.60m</p> <p>加圧ポンプ φ40 0.09m<sup>3</sup>/分×90m×5.5kW 2台</p>
原加圧ポンプ所	<p>ポンプ室 RC造り 巾2.75m×長さ2.95m 床面積 8.1m<sup>2</sup></p> <p>ポンプ井 RC造り 1.8m×1.8m×有効水深0.9m</p> <p>有効容量 2.9m<sup>3</sup></p> <p>満水位標高 HWL+46.20</p> <p>低水位標高 LWL+45.30</p> <p>加圧ポンプ φ40 0.0952m<sup>3</sup>/分×55m×3.7kW 2台</p>
大平加圧ポンプ所 (大平配水池内に設置)	<p>ポンプ井 大平配水池</p> <p>加圧ポンプ φ32 0.06m<sup>3</sup>/分×63m×2.2kW 2台</p>
仏谷加圧ポンプ所	<p>ポンプ井 RC造り 巾1.2m×長さ1.2m×有効水深0.7m</p> <p>有効容量 1.0m<sup>3</sup></p> <p>満水位標高 HWL+212.0m</p> <p>低水位標高 LWL+211.3m</p> <p>加圧ポンプ 水中モーターポンプ</p> <p>φ32 0.06m<sup>3</sup>/分×65m×2.2kW 2台</p>
延畑加圧ポンプ所	<p>ポンプ井 RC造り 巾1.0m×長さ1.0m×有効水深1.0m</p> <p>有効容量 1.0m<sup>3</sup></p> <p>満水位標高 HWL+107.9m</p> <p>低水位標高 LWL+106.9m</p> <p>加圧ポンプ 水中モーターポンプ</p> <p>φ40 0.09m<sup>3</sup>/分×72m×3.7kW 2台</p>

施 設	施 設 概 要
三坂第1加圧ポンプ所	電 気 室 R C造り 7.7m <sup>2</sup> ポンプ井 R C造り 巾2.3m×長さ2.3m×有効水深0.9m 有効容量 4.8m <sup>3</sup> 満水位標高 HWL+128.95m 低水位標高 LWL+128.05m 加圧ポンプ φ25 0.03m <sup>3</sup> /分×69m×1.5kW 2台
三坂第2加圧ポンプ所	電 気 室 R C造り 13.9m <sup>2</sup> ポンプ井 R C造り 巾2.3m×長さ2.3m×有効水深1.2m 有効容量 6.3m <sup>3</sup> 満水位標高 HWL+160.30m 低水位標高 LWL+159.10m 加圧ポンプ φ40 0.096m <sup>3</sup> /分×97m×7.5kW 2台

施 設		施 設 概 要	
第 1 水 源	取水井	R C 造り 内径5.0m×深さ6.5m	1 井
	集水埋管	有孔H P φ 600 L = 24.3m	
	取水ろ過ポンプ	陸上渦巻ポンプ φ 80 1.15m <sup>3</sup> /分×25m×7.5kW	2 台
	取水ポンプ室	鉄骨造り	48.19m <sup>2</sup>
第 2 水 源	取水井	R C 造り 内径4.0m×深さ4.0m	1 井
	取水ポンプ	水中渦巻ポンプ φ 80 0.95m <sup>3</sup> /分×20m×5.5kW	1 台
第 3 水 源	取水井	R C 造り 内径3.0m×深さ5.0m	1 井
	集水埋管	有孔H P φ 600 L = 224m V スロットスクリーン φ 600 L = 72m	
	取水ポンプ	水中渦巻ポンプ φ 125 2.0m <sup>3</sup> /分×25m×11kW	1 台
		水中渦巻ポンプ φ 150 3.0m <sup>3</sup> /分×25m×22kW	2 台
	操作室	C B 造り	14.7m <sup>2</sup>
	調整池	C B 造り 有効容量	11,860m <sup>3</sup>
		満水位標高	HWL + 3.0m
		低水位標高	LWL - 0.5m
( 自 家 発 電 機 設 備 )	自家発電設備	90kVA	
川 下 水 源		外径 φ 940 内径 φ 300 L = 3.52m	
		陸用渦巻ポンプ φ 65 0.56m <sup>3</sup> /分×20m×3.7kW	1 台
灘 分 浄 水 場 ( 着 水 棟 )	R C 造り 2 階建 延床面積	126.18m <sup>2</sup>	
	1 階 着水井、流量計室	巾5.16m×長さ4.16m×有効水深3.05m	1 池
		容量 65.5m <sup>3</sup> 浄水量 7,384m <sup>3</sup> /日	
	2 階 ポンプ室、薬注室		
( 浄 水 池 棟 )	R C 造り 2 階建 延床面積	466.46m <sup>2</sup>	
	1 階 ポンプ室、浄水池、薬品混和槽、分配槽	巾6.30m×長さ18.25m×有効水深4.8m	2 池
		容量 1,075.5m <sup>3</sup> 浄水量 9,034m <sup>3</sup> /日	
	2 階 水質計器室、電気室、薬注室、事務室、点検口室		
( ろ 過 施 設 )	圧力式密閉型急速ろ過機	鋼板整	
	第 1 水源系	φ 3,300×2,500H×2 基 (除鉄・除マンガン)	
		処理水量 1,650m <sup>3</sup> /日	
	第 2、第 3、川下水源系	φ 3,300×2,500H×4 基 (多層ろ過)	
		処理水量 7,384m <sup>3</sup> /日	
	ろ過ポンプ	水中渦巻ポンプ φ 125 1.67m <sup>3</sup> /分×20m×11kW	4 台
	逆洗ポンプ	陸用片吸込渦巻ポンプ φ 200 5.99m <sup>3</sup> /分×12m×22kW	2 台
	表洗・排水ポンプ	陸用片吸込渦巻ポンプ φ 80 1.71m <sup>3</sup> /分×22m×11kW	2 台

施 設	施 設 概 要
( 薬 注 施 設 )	<p>第1水源系</p> <p>(前塩素注入機) 液中ピストンポンプ 吐出量 2.3~69.0cc/分 2台 (自動交互)</p> <p>(PAC注入機) 液中ピストンポンプ 吐出量 0.69~69.0cc/分 3台 (2台:自動交互、1台:共通予備機)</p> <p>(アルカリ剤注入機) 液中ピストンポンプ 吐出量 0.69~69.0cc/分 3台 (2台:自動交互、1台:共通予備機)</p> <p>第2、第3、川下水源系</p> <p>(前塩素注入機) 液中ピストンポンプ 吐出量 1.59~159.0cc/分 2台 (自動交互)</p> <p>(PAC注入機) 液中ピストンポンプ 吐出量 0.69~69.0cc/分 6台 (4台:自動交互、2台:共通予備機)</p> <p>(アルカリ剤注入機) 液中ピストンポンプ 吐出量 0.69~69.0cc/分 6台 (4台:自動交互、2台:共通予備機)</p> <p>浄水池棟 液中ピストンポンプ (後塩素注入機) 吐出量 1.59~159.0cc/分 2台 (自動交互)</p>
( 排 水 処 理 施 設 )	<p>排水池 RC造り 巾9.0m×長さ9.0m×有効水深1.1m 2池 有効容量 178.2m<sup>3</sup>/日</p> <p>送泥ポンプ ボルテックス水中ポンプ φ65 0.34m<sup>3</sup>/分×12m×2.2kW 2台</p> <p>濃縮槽 巾5.0m×長さ5.0m×有効水深3.0m 2槽 給泥量 493.2m<sup>3</sup>/日</p> <p>汚泥引抜ポンプ 有効容量 150m<sup>3</sup>/日 φ50 0.3m<sup>3</sup>/分×8m×1.5kW 2台</p> <p>汚泥掻き寄機 レーキ径φ4,800 電動機0.2kW、減速機付 周速度 0.185m/分 2台</p>
( 脱 水 機 棟 )	<p>鉄骨造り2階建 延床面積 101.82m<sup>2</sup></p> <p>脱水機 無薬注長時間加圧脱水方式 自動フィルタープレス 1台 ケーキ量 1480/日</p> <p>打込ポンプ φ40 0.026m<sup>3</sup>/分×12MPa×2.2kW 1台</p> <p>ベルトコンベアー 1基</p> <p>ケーキホッパー 有効 2.0m<sup>3</sup></p>
( 自 家 発 電 機 設 備 )	自家発電設備 400kVA
( 管 理 棟 )	RC造り 延床面積 171m <sup>2</sup>
( 事 務 所 ・ 倉 庫 棟 )	鉄骨造り 延床面積 128m <sup>2</sup>
( 送 水 施 設 )	送水ポンプ 陸用多段渦巻ポンプ φ150 2.775m <sup>3</sup> /分×60m×55kW 3台

施 設	施 設 概 要
金 山 水 源 金 山 浄 水 場 ( 取 水 井 ) ( 取 水 ポ ン プ ) ( 取 水 ポ ン プ 室 ) ( 曝 気 装 置 ) ( 滅 菌 室 ・ 電 気 室 ) ( 硬 度 処 理 装 置 ) ( 滅 菌 機 ) ( 浄 水 池 )	鋼管 内径0.225m×深さ60.1m 裸孔 内径0.165m×深さ191m 水中深井戸用ポンプ φ100 1.0m <sup>3</sup> /分×70m×18.5kW 1台 RC造り 3.8m <sup>2</sup> 脱炭酸塔 FRP製楕円筒型 φ1000×H3000 1基 CB造り 12.6m <sup>2</sup> 希硫酸注入機 電磁式ダイヤフラムポンプ 吐出量 0～25.0cc/分 2台 液中ピストンポンプ 吐出量 0.5～15.0cc/分 2台 RC造り 50m <sup>3</sup>
愛 岩 山 配 水 池	旧 PC造り 内径19.5m 1池 有効容量 2,500m <sup>3</sup> 満水位標高 HWL+49.9m 有効水深 8.5m 低水位標高 LWL+41.4m 新(楕円) PC造り 短円方向10.0m×長円方向16.5m 1池 有効容量 1,200m <sup>3</sup> 満水位標高 HWL+49.9m 有効水深 8.5m 低水位標高 LWL+41.4m
金 山 配 水 池	PC造り 内径9.6m 1池 有効容量 500m <sup>3</sup> 満水位標高 HWL+49.9m 有効水深 7.0m 低水位標高 LWL+42.9m
本 郷 配 水 池	配水池 SUS製 巾5.0m×長さ9.0m×有効水深3.0m 2池 有効容量 270m <sup>3</sup> 満水位標高 HWL+78.0m 低水位標高 LWL+75.0m 薬注室 RC造り 内空 巾1.82m×長さ2.82m 床面積 5.13m <sup>2</sup> 次亜注入装置 液中バルブレス型 0.08～8m <sup>3</sup> /分×1.0MPa×100V 2台 次亜貯槽 角型密閉槽 PVC製 50ℓ
本 郷 ポ ン プ 場	ポンプ室 RC造り 巾4.82m×長さ5.32m 床面積 25.64m <sup>2</sup> 電気室 RC造り 巾2.82m×長さ2.82m 床面積 7.95m <sup>2</sup> 送水ポンプ 陸用多段渦巻ポンプ φ100 0.142m <sup>3</sup> /分×44.0m×18.5kW 2台

施 設	施 設 概 要
苺 藻 谷 配 水 池	P C造り 内径13.6m 1池 有効容量 410m <sup>3</sup> 満水位標高 HWL + 103.0m 有効水深 3.0m 低水位標高 LWL + 100.0m
苺 藻 谷 加 圧 ポ ン プ 所	加圧ポンプ 直結給水ブースターポンプ φ32 0.11m <sup>3</sup> /分×43.3m×1.5kW 1組(2台)
伊 野 配 水 池	配水池 SUS製 巾4.0m×長さ9.0m×有効水深3.0m 2池 有効容量 216m <sup>3</sup> 満水位標高 HWL + 73.0m 低水位標高 LWL + 70.0m 電気薬注棟 RC造り 12.5m <sup>2</sup> 電気室 巾2.5m×長さ2.5m 床面積 6.25m <sup>2</sup> 薬注室 巾2.5m×長さ2.5m 床面積 6.25m <sup>2</sup> 次亜注入装置 液中バルブレス型 0.04~3.9ml/分×1.0MPa×100V 2台 次亜貯槽 角型密閉槽 PVC製 50ℓ
金 森 東 ポ ン プ 場	ポンプ室 SUS製 18m <sup>2</sup> ポンプ井 SUS製 巾3.0m×長さ1.5m×有効水深1.5m 有効容量 6.75m <sup>3</sup> 満水位標高 HWL + 80.1m 低水位標高 LWL + 78.6m 送水ポンプ 多段渦巻きポンプ φ40 0.08m <sup>3</sup> /分×110m×7.5kW 2台
地 合 第 1 配 水 池	RC造り 巾2.0m×長さ3.2m×有効水深2.5m 2池 有効容量 32m <sup>3</sup> 満水位標高 HWL + 169.0m 低水位標高 LWL + 166.5m
地 合 第 2 配 水 池	RC造り 巾2.1m×長さ5.0m×有効水深3.0m 2池 有効容量 63m <sup>3</sup> 満水位標高 HWL + 169.0m 低水位標高 LWL + 166.0m
布 崎 調 整 池	RC造り 内径6.0m 1池 有効容量 87.6m <sup>3</sup> 満水位標高 HWL + 33.5m 有効水深 3.1m 低水位標高 LWL + 30.4m

施 設	施 設 概 要
口 宇 賀 ポ ン プ 所	<p>ポンプ井 R C造り 巾2.0m×長さ1.5m×有効水深1.5m  有効容量 4.5m<sup>3</sup>  満水位標高 HWL+22.3m  低水位標高 LWL+20.8m</p> <p>送水ポンプ 水中渦巻ポンプ φ32 0.06m<sup>3</sup>/分×63m×2.2kW 2台</p>
口 宇 賀 調 整 池	<p>R C造り 巾2.0m×長さ2.0m×有効水深2.0m 1池  有効容量 8.0m<sup>3</sup>  満水位標高 HWL+55.7m  低水位標高 LWL+53.7m</p>
工 場 団 地 ポ ン プ 所	<p>ポンプ室 C B造り  ポンプ井 R C造り 巾2.7m×長さ3.8m×有効水深1.5m  有効容量 15m<sup>3</sup>  満水位標高 HWL+32.5m  低水位標高 LWL+31.0m</p> <p>送水ポンプ 水中渦巻ポンプ S U S 製 φ40 0.27m<sup>3</sup>/分×43.5m×3.7kW 2台</p>
工 場 団 地 調 整 池	<p>R C造り 巾4.0m×長さ5.0m×有効水深2.0m 1池  有効容量 40m<sup>3</sup>  満水位標高 HWL+58.5m  低水位標高 LWL+56.5m</p>
鳴 竹 ポ ン プ 所	<p>ポンプ室 C B造り  ポンプ井 R C造り 巾1.8m×長さ2.5m×有効水深1.5m  有効容量 6.75m<sup>3</sup>  満水位標高 HWL+26.7m  低水位標高 LWL+25.2m</p> <p>送水ポンプ 水中渦巻ポンプ S U S 製 φ32 0.1m<sup>3</sup>/分×50m×2.2kW 2台</p>
鳴 竹 調 整 池	<p>R C造り 巾3.75m×長さ5.3m×有効水深2.0m 2池  有効容量 79.5m<sup>3</sup>  満水位標高 HWL+60.6m  低水位標高 LWL+58.6m</p>
若 葉 ポ ン プ 所	<p>ポンプ室 C B造り  ポンプ井 R C造り 巾1.8m×長さ1.8m×有効水深1.5m  有効容量 5.0m<sup>3</sup>  満水位標高 HWL+19.5m  低水位標高 LWL+18.0m</p> <p>送水ポンプ 水中渦巻ポンプ S U S 製 φ32 0.125m<sup>3</sup>/分×51m×2.2kW 2台</p>

施 設	施 設 概 要
若 葉 調 整 池	R C造り 巾1.4m×長さ3.6m×有効水深2.0m 1池
	R C造り 巾3.5m×長さ4.5m×有効水深2.0m 1池
	R C造り 巾2.3m×長さ4.5m×有効水深2.0m 1池
	有効容量 $10\text{m}^3 + 31\text{m}^3 + 20\text{m}^3 = 61\text{m}^3$
	満水位標高 HWL + 52.0m
	低水位標高 LWL + 50.0m
鹿 園 寺 ポ ン プ 所	ポンプ室 CB造り
	ポンプ井 RC造り 巾4.0m×長さ5.0m×有効水深2.0m 有効容量 $40\text{m}^3$ 満水位標高 HWL + 13.5m 低水位標高 LWL + 11.5m
	送水ポンプ 水中渦巻ポンプ SUS製 $\phi 65$ $0.5\text{m}^3/\text{分} \times 55\text{m} \times 7.5\text{kW}$ 2台
鹿 園 寺 調 整 池	R C造り 巾10.0m×長さ4.35m×有効水深3.8m 1池
	有効容量 $165\text{m}^3$
	満水位標高 HWL + 60.3m
	低水位標高 LWL + 56.5m
一 畑 ポ ン プ 所	ポンプ室 CB造り
	ポンプ井 RC造り 巾2.8m×長さ4.0m×有効水深1.8m 有効容量 $20\text{m}^3$ 満水位標高 HWL + 52.0m 低水位標高 LWL + 50.2m
	送水ポンプ 水中渦巻ポンプ SUS製 $\phi 40$ $0.09\text{m}^3/\text{分} \times 72\text{m} \times 3.7\text{kW}$ 2台
一 畑 調 整 池	R C造り 巾2.8m×長さ3.8m×有効水深1.5m 1池
	有効容量 $16\text{m}^3$
	満水位標高 HWL + 110.0m
	低水位標高 LWL + 108.5m
胡 麻 谷 高 区 ポ ン プ 所	ポンプ室 CB造り
	ポンプ井 RC造り 巾1.8m×長さ3.0m×有効水深1.3m 有効容量 $7.0\text{m}^3$ 満水位標高 HWL + 57.0m 低水位標高 LWL + 55.7m
	送水ポンプ 水中渦巻ポンプ SUS製 $\phi 32$ $0.06\text{m}^3/\text{分} \times 65\text{m} \times 2.2\text{kW}$ 2台
胡 麻 谷 高 区 調 整 池	R C造り 巾1.8m×長さ1.8m×有効水深1.3m 1池
	有効容量 $4.2\text{m}^3$
	満水位標高 HWL + 101.0m
	低水位標高 LWL + 99.7m

施 設	施 設 概 要	
高 山 ポ ン プ 所	ポンプ室	C B 造り
	ポンプ井	R C 造り 巾2.0m×長さ3.0m×有効水深1.7m
		有効容量 10m <sup>3</sup>
		満水位標高 HWL + 45.0m
		低水位標高 LWL + 43.3m
	送水ポンプ	水中渦巻ポンプ SUS製 φ40 0.18m <sup>3</sup> /分×59.5m×3.7kW 2台
高 山 調 整 池	R C 造り	巾2.0m×長さ3.0m×有効水深1.7m 1池
		有効容量 10m <sup>3</sup>
		満水位標高 HWL + 99.5m
		低水位標高 LWL + 97.8m
美 野 ポ ン プ 所	ポンプ室	C B 造り 24.69m <sup>2</sup>
	ポンプ井	R C 造り 巾2.0m×長さ5.25m×有効水深2.1m
		有効容量 22.05m <sup>3</sup>
		満水位標高 HWL + 42.7m
		低水位標高 LWL + 40.6m
	送水ポンプ	(堂の本系) 陸用堅型多段渦巻ポンプ
		φ40 0.1m <sup>3</sup> /分×91.1m×3.7kW 2台
		(三の谷系) 陸用堅型多段渦巻ポンプ
		φ32 0.048m <sup>3</sup> /分×76m×2.2kW 2台
三 の 谷 調 整 池 ( ポ ン プ 所 )	調 整 池	R C 造り 巾5.0m×長さ3.6m×有効水深1.55m 1池
		有効容量 27.9m <sup>3</sup>
		満水位標高 HWL + 104.0m
		低水位標高 LWL + 102.45m
	ポンプ室	C B 造り 3.61m <sup>2</sup>
	送水ポンプ	陸用カスケートポンプ φ32 0.0225m <sup>3</sup> /分×45m×1.5kW 2台
堂 の 本 調 整 池 ( ポ ン プ 所 )	調 整 池	R C 造り 巾5.0m×長さ6.4m×有効水深1.95m 1池
		有効容量 62.4m <sup>3</sup>
		満水位標高 HWL + 104.5m
		低水位標高 LWL + 102.55m
	ポンプ室	C B 造り 3.61m <sup>2</sup>
	送水ポンプ	水中渦巻ポンプ SUS製 φ32 0.06m <sup>3</sup> /分×65m×2.2kW 2台
三 の 谷 高 区 調 整 池	R C 造り	巾5.1m×長さ4.5m×有効水深1.8m 1池
		有効容量 41.3m <sup>3</sup>
		満水位標高 HWL + 144.0m
		低水位標高 LWL + 142.2m

施 設	施 設 概 要
松 枝 調 整 池	耐震型円形FRP造り 内径0.84m 有効水深0.375m 1池 有効容量 0.4m <sup>3</sup> 満水位標高 HWL + 121.814m 低水位標高 LWL + 121.139m
畑 調 整 池	RC造り 巾5.5m×長さ4.0m×有効水深1.8m 1池 有効容量 39.6m <sup>3</sup> 満水位標高 HWL + 166.5m 低水位標高 LWL + 164.7m
大 畑 調 整 池	RC造り 巾1.5m×長さ1.0m×有効水深1.1m 1池 有効容量 1.65m <sup>3</sup> 満水位標高 HWL + 122.9m 低水位標高 LWL + 121.8m
金 森 ポ ン プ 所	ポンプ室 CB造り 1.95m <sup>2</sup> ポンプ井 RC造り 巾1.64m×長さ2.0m×有効水深0.68m 有効容量 2.23m <sup>3</sup> 満水位標高 HWL + 80.4m 低水位標高 LWL + 79.72m 送水ポンプ 陸用カスケードポンプ φ32 0.0153m <sup>3</sup> /分×65m×1.5kW 2台
金 森 調 整 池	耐震型円形FRP造り 内径1.4m 有効水深0.781m 1池 有効容量 1.5m <sup>3</sup> 満水位標高 HWL + 143.165m 低水位標高 LWL + 142.384m
美 談 西 加 圧 ポ ン プ 所	ポンプ井 FRP製 5.0m <sup>3</sup> 加圧ポンプ 受水槽一体形自動給水ユニット φ40 0.115m <sup>3</sup> /分×58.8m×3.7kW 1組(2台)
美 談 東 加 圧 ポ ン プ 所	ポンプ井 FRP製 4.0m <sup>3</sup> 加圧ポンプ 受水槽一体形自動給水ユニット φ40 0.09m <sup>3</sup> /分×55.23m×3.7kW 1組(2台)
本 庄 水 谷 上 加 圧 ポ ン プ 所	ポンプ井 FRP製 5.0m <sup>3</sup> 加圧ポンプ 受水槽一体形自動給水ユニット φ40 0.078m <sup>3</sup> /分×71.8m×5.5kW 1組(2台)
真 那 神 加 圧 ポ ン プ 所	加圧ポンプ 直結給水ブースターポンプ φ25 0.03m <sup>3</sup> /分×61.0m×0.75kW 1組(2台)

湖陵地域

施 設	施 設 概 要
差 海 ポ ン プ 場	ポンプ室 R C造り 30m <sup>2</sup> ポンプ井 R C造り 巾2.2m×長さ4.2m×有効水深1.5m 有効容量 13.8m <sup>3</sup> 満水位標高 HWL+4.00m 低水位標高 LWL+2.50m 送水ポンプ 水中渦巻ポンプ SUS製 φ50 0.28m <sup>3</sup> /分×63.0m×5.5kW 2台 次亜注入装置 34cc/分×200V×0.1kW 2台 (200L槽)
差 海 配 水 池	P C造り 内径8.6m 1池 有効容量 247m <sup>3</sup> 満水位標高 HWL+53.0m 有効水深 4.6m 低水位標高 LWL+48.4m
差 海 加 圧 ポ ン プ 所 (差海配水池下段に設置)	ポンプ井 差海配水池 加圧ポンプ 自動給水ポンプユニット φ40 0.22m <sup>3</sup> /分×33.0m×2.2kW 1組(2台)
砂 子 ポ ン プ 場  ( 自 家 発 電 機 設 備 )	ポンプ室 C B造り 29.6m <sup>2</sup> ポンプ井 R C造り 巾4.7m×長さ6.2m×有効水深1.7m 有効容量 49.5m <sup>3</sup> 満水位標高 HWL+3.85m 低水位標高 LWL+2.15m 送水ポンプ 水中渦巻ポンプ SUS製 φ80 0.82m <sup>3</sup> /分×63.0m×15.0kW 2台 次亜注入装置 38cc/分×200V×0.1kW 2台 (200L槽) 自家発電設備 45kVA
湖 陵 配 水 池	P C造り 内径14.7m 1池 有効容量 843.35m <sup>3</sup> 満水位標高 HWL+60.0m 有効水深 5.0m 低水位標高 LWL+55.0m
姉 谷 加 圧 ポ ン プ 所  ( 自 家 発 電 機 設 備 )	ポンプ室 C B造り 6.76m <sup>2</sup> ポンプ井 R C造り 巾2.2m×長さ2.3m×有効水深1.2m 有効容量 6.0m <sup>3</sup> 満水位標高 HWL+30.00m 低水位標高 LWL+28.80m 加圧ポンプ 自動給水ポンプユニット φ32 0.10m <sup>3</sup> /分×54.0m×2.2kW 1組(2台) 自家発電設備 13kVA(手動)

施 設	施 設 概 要
蛇池ポンプ場	<p>ポンプ室 SUS製 15m<sup>2</sup></p> <p>ポンプ井 SUS製 巾1.5m×長さ2.5m×有効水深1.0m</p> <p>有効容量 3.75m<sup>3</sup></p> <p>満水位標高 HWL+40.255m</p> <p>低水位標高 LWL+39.255m</p> <p>送水ポンプ 水中渦巻ポンプ SUS製</p> <p>φ32 0.06m<sup>3</sup>/分×35.0m×1.5kW 2台</p> <p>次亜注入装置 35cc/分×200V×0.03kW 2台 (50L槽)</p>
蛇池配水池	<p>SUS製 巾6.0m×長さ6.0m×有効水深2.8m 1池</p> <p>有効容量 100m<sup>3</sup></p> <p>満水位標高 HWL+64.055m</p> <p>低水位標高 LWL+61.255m</p>
蛇池加圧ポンプ所 (蛇池配水池内に設置)	<p>ポンプ室 RC造り 7.5m<sup>2</sup></p> <p>ポンプ井 蛇池配水池</p> <p>加圧ポンプ 自動給水ポンプユニット</p> <p>φ25 0.1m<sup>3</sup>/分×30.0m×1.5kW 1組(2台)</p>
下畑加圧ポンプ所	<p>ポンプ室 CB造り 17.39m<sup>2</sup></p> <p>ポンプ井 FRP製 巾2.5m×長さ1.5m×有効水深1.0m</p> <p>有効容量 3.8m<sup>3</sup></p> <p>満水位標高 HWL+30.70m</p> <p>低水位標高 LWL+29.70m</p> <p>加圧ポンプ 自動給水ポンプユニット</p> <p>φ40 0.09m<sup>3</sup>/分×52.0m×2.2kW 1組(2台)</p>
中畑ポンプ場	<p>ポンプ室 RC造り 25m<sup>2</sup></p> <p>ポンプ井 R造り 巾2.3m×長さ2.3m×有効水深1.0m</p> <p>有効容量 5.3m<sup>3</sup></p> <p>満水位標高 HWL+54.2m</p> <p>低水位標高 LWL+53.2m</p> <p>送水ポンプ 水中渦巻ポンプ SUS製</p> <p>φ40 0.08m<sup>3</sup>/分×80.0m×5.5kW 2台</p> <p>次亜注入装置 82cc/分×200V×0.1kW 1台 (100L槽)</p>
中畑配水池	<p>RC造り 巾3.2m×長さ3.2m×有効水深1.6m</p> <p>有効容量 16.4m<sup>3</sup></p> <p>満水位標高 HWL+124.0m</p> <p>低水位標高 LWL+122.4m</p>

大社地域

施 設	施 設 概 要			
中山第1ポンプ場	ポンプ井	SUS製	巾2.0m×長さ2.0m×有効水深3.0m	2池
		有効容量	24m <sup>3</sup>	
		満水位標高	HWL+23.95m	
		低水位標高	LWL+20.95m	
	ポンプ室	SUS製		
		送水ポンプ	立型ステンレス製多段ポンプ	
			φ40 0.15m <sup>3</sup> /分×110m×5.5kW	2台
		加圧ポンプ	直結給水ブースターポンプ	
			φ32 0.08m <sup>3</sup> /分×15m×0.4kW	1組(2台)
	次亜注入機室	SUS製	巾2.5m×長さ1.5m	床面積 3.75m <sup>2</sup>
次亜注入装置	液中バルブレス型			
		0.08~7.8m <sup>3</sup> /分×1.0MPa×200V	2台	
	次亜貯槽	角型密閉槽 PVC製	50ℓ	
中山第2ポンプ場	ポンプ井	SUS製	巾1.0m×長さ2.0m×有効水深2.5m	2池
		有効容量	10m <sup>3</sup>	
		満水位標高	HWL+114.0m	
		低水位標高	LWL+111.5m	
	ポンプ室	SUS製	巾4.0m×長さ5.0m	床面積 20.0m <sup>2</sup>
	送水ポンプ	立型ステンレス製多段ポンプ		
		φ40 0.15m <sup>3</sup> /分×75m×4.0kW	2台	
中山配水池	配水池	SUS製	巾2.5m×長さ6.0m×有効水深2.5m	2池
		有効容量	75m <sup>3</sup>	
		満水位標高	HWL+174.5m	
		低水位標高	LWL+172.5m	
	加圧ポンプ室	SUS製	巾6.0m×長さ2.0m	床面積 12.0m <sup>2</sup>
	加圧ポンプ	直結給水ブースターポンプ		
		φ32 0.04m <sup>3</sup> /分×50m×1.1kW	1組(2台)	
中山調圧槽	調圧槽	SUS製	巾2.0m×長さ1.5m×有効水深1.5m	2池
		有効容量	9.0m <sup>3</sup>	
		満水位標高	HWL+96.1m	
		低水位標高	LWL+94.6m	
	水位調整弁室	レジコン製榭		
河原谷ポンプ所	木造造り	4.3m <sup>2</sup>		
	ポンプ井	FRP製	0.5m <sup>3</sup>	
	送水ポンプ	受水槽付きポンプ	φ32 0.05m <sup>3</sup> /分×43m×2.2kW	1台
河原谷調整池	FRP製			
	有効容量	0.5m <sup>3</sup>		
	満水位標高	HWL+49.00m		

施 設	施 設 概 要
繁の谷ポンプ所	木造造り 4.3m <sup>2</sup> ポンプ井 F P R 製 容量 0.5m <sup>3</sup> 送水ポンプ 受水槽付きポンプ φ32 0.05m <sup>3</sup> /分×43m×2.2kW 1台
繁の谷調整池	F R P 製 有効容量 0.5m <sup>3</sup> 満水位標高 HWL +49.00m
樽戸谷ポンプ所	木造造り 4.3m <sup>2</sup> ポンプ井 F P R 製 容量 0.5m <sup>3</sup> 送水ポンプ 受水槽付きポンプ φ32 0.05m <sup>3</sup> /分×43m×2.2kW 1台
樽戸谷調整池	F R P 製 有効容量 0.5m <sup>3</sup> 満水位標高 HWL +51.00m
谷山ポンプ所	C B 造り 14.8m <sup>2</sup> ポンプ井 F R P 製 容量 1.2m <sup>3</sup> 送水ポンプ φ40 0.1m <sup>3</sup> /分×90m×4kW 2台
谷山調整池	F R P 製 有効容量 10m <sup>3</sup> 満水位標高 HWL +93.00m
阿式谷加圧ポンプ所	木造造り 3.9m <sup>2</sup> 加圧ポンプ 圧力タンク付きポンプ φ40 0.1m <sup>3</sup> /分×41m×2.2kW 1台
谷山加圧ポンプ所 (谷山調整池内に設置)	ポンプ井 谷山調整池 加圧ポンプ φ32 0.15m <sup>3</sup> /分×18.5m×0.75kW 1組(2台)

### 3. 管路の布設状況

平成29年（2017）3月31日現在

（1）管種別延長並びに耐震管延長及び耐震化率

（単位：m）

管種	導水管	送水管	配水管	合計
铸铁管	10,902.1	34,050.0	436,418.1	481,370.2
ビニール管	2,910.0	846.6	903,846.5	907,603.1
鋼管	226.1	828.2	9,132.2	10,186.5
ポリエチレン管	0.0	2,143.2	48,670.4	50,813.6
合計	14,038.2	37,868.0	1,398,067.2	1,449,973.4
耐震管延長	3,015.6	7,381.5	118,370.6	
耐震化率	21.5%	19.5%	8.5%	

（2）配水管延長

（単位：m）

年度 口径	平成24 (2012)	平成25 (2013)	平成26 (2014)	平成27 (2015)	平成28 (2016)
50 mm 以下	641,523.5	650,333.8	634,638.3	647,707.3	647,852.5
75 mm	232,350.6	232,594.5	236,941.7	235,387.5	235,092.7
100 mm	277,139.3	273,500.0	277,326.9	271,369.4	270,840.3
125 mm	131.5	131.5	131.5	131.5	131.5
150 mm	126,938.4	127,297.7	131,136.6	126,158.2	127,107.8
200 mm	57,273.1	52,496.1	55,191.0	56,110.4	56,114.7
250 mm	23,289.4	23,538.8	23,633.0	23,001.6	23,023.1
300 mm	9,478.8	11,007.8	11,410.8	11,671.1	11,671.1
350 mm	8,099.0	7,150.6	6,314.8	7,867.9	7,867.9
400 mm	5,600.9	5,600.9	5,654.7	5,753.6	5,753.6
450 mm	2,933.3	3,005.1	3,345.1	3,345.1	3,345.1
500 mm	1,673.7	1,674.0	2,212.0	2,232.9	2,232.9
600 mm	110.0	110.0	1,309.3	1,325.2	1,908.6
700 mm	4,767.2	4,767.2	4,971.0	5,125.4	5,125.4
合計	1,391,308.7	1,393,208.0	1,394,216.7	1,397,187.1	1,398,067.2

## (3) 導水管延長

(単位：m)

年度 口径	平成24 (2012)	平成25 (2013)	平成26 (2014)	平成27 (2015)	平成28 (2016)
300mm未満	2,209.0	2,504.9	3,356.0	4,019.3	4,018.8
300mm～500mm未満	5,029.0	5,029.5	2,808.2	2,326.2	2,310.5
500mm～1000mm未満	8,723.0	8,396.7	7,890.2	7,708.9	7,708.9
合計	15,961.0	15,931.1	14,054.4	14,054.4	14,038.2

## (4) 送水管延長

(単位：m)

年度 口径	平成24 (2012)	平成25 (2013)	平成26 (2014)	平成27 (2015)	平成28 (2016)
300mm未満	25,630.3	26,731.0	27,955.2	25,942.0	25,942.0
300mm～500mm未満	7,091.0	7,129.2	6,057.4	8,217.5	8,217.5
500mm～1000mm未満	4,007.8	4,007.8	3,855.4	3,708.5	3,708.5
合計	36,729.1	37,868.0	37,868.0	37,868.0	37,868.0

## 4. 消火栓設置数

(単位：基)

年度 口径	平成24 (2012)	平成25 (2013)	平成26 (2014)	平成27 (2015)	平成28 (2016)
地上式	10	10	10	10	10
地下式	1,476	1,476	1,476	1,476	1,475
合計	1,486	1,486	1,486	1,486	1,485

## 5. 簡易専用水道施設件数

年度 口径	平成24 (2012)	平成25 (2013)	平成26 (2014)	平成27 (2015)	平成28 (2016)
前年度末	195件	200件	200件	199件	196件
新設	6件	2件	3件	2件	4件
廃止	△1件	△2件	△4件	△5件	△1件
合計	200件	200件	199件	196件	199件

※簡易専用水道とは、受水槽の有効容量の合計が10<sup>m</sup>を超えるもの  
(簡易水道エリアを含む。平成23年度からは斐川地域を含む。)

## 6. 主要施設所在地

主 要 施 設 名	所 在 地
来 原 浄 水 場	大津町1496番地
上 津 浄 水 場	上島町2800番地
灘 分 浄 水 場	灘分町943番地1
金 山 浄 水 場	国富町1852番地1
上 島 水 源 地	上島町2764番地1
向 山 配 水 池	大津町3629番地3
新 向 山 配 水 池	大津町3636番地
七 面 山 配 水 池	大津町3661番地1
愛 宕 山 配 水 池	平田町6135番地1
浜 ポ ン プ 場	浜町567番地3
浜 山 配 水 池	浜町2040番地
西 園 ポ ン プ 場	西園町3936番地1
妙 見 山 配 水 池	西園町4027番地6
砂 子 ポ ン プ 場	湖陵町二部1205番地10
湖 陵 配 水 池	湖陵町大池2188番地
坂 本 ポ ン プ 場	西神西町103番地6
新 常 楽 寺 配 水 池	湖陵町常楽寺918番地5
金 山 配 水 池	国富町1856番地1
苧 藻 谷 配 水 池	多久町1411番地4
北 山 ポ ン プ 場	矢尾町920番地5
北 山 配 水 池	矢尾町805番地1
奥 井 谷 配 水 池	上島町1110番地7
宇 那 手 ポ ン プ 場	宇那手町362番地3
大 平 配 水 池	宇那手町106番地2
本 郷 配 水 池	園町692番地4
差 海 ポ ン プ 場	湖陵町差海56番地2
差 海 配 水 池	湖陵町差海581番地
朝 山 ポ ン プ 場	朝山町552番地4
朝 山 配 水 池	朝山町1675番地12
伊 野 配 水 池	野郷町3213番地2
岩 倉 ポ ン プ 場	稗原町4758番地13
岩 倉 配 水 池	稗原町4761番地27



### Ⅲ 業務の概要

カラカラで

蛇口に飛び込む

僕の口

平成二十七年 第五十七回水道週間スローガン

## 1. 薬品使用状況

(単位：kg)

年 度	苛 性 ソ ー ダ	ポ リ 塩 化 物 アル ミ ニ ウ ム	次 亜 塩 素 酸 ソ ー ダ
平成19(2007)	122,987.1	107,381.5	159,539.5
平成20(2008)	131,015.1	98,977.4	152,580.0
平成21(2009)	99,394.0	103,460.0	165,150.0
平成22(2010)	104,274.0	102,950.0	188,330.0
平成23(2011)	108,444.0	114,780.0	190,318.0
平成24(2012)	111,094.0	95,260.0	164,570.0
平成25(2013)	104,846.0	94,180.0	146,980.0
平成26(2014)	103,587.0	91,600.0	173,590.0
平成27(2015)	105,356.0	101,630.0	168,950.0
平成28(2016)	112,175.0	119,440.0	174,110.0

## 2. 主要施設電力使用状況

(単位：kwh)

年 度	来原浄水場	上島水源地 上津浄水場	西 ポ ン プ 園 場	灘分浄水場	金山浄水場	浜ポンプ場	平 第 3 水 源 地	田
平成19 (2007)	4,301,340	2,061,420	112,886	1,131,180	152,309	297,961	304,804	
平成20 (2008)	4,196,270	2,065,510	110,309	1,074,672	155,315	283,661	297,044	
平成21 (2009)	4,160,736	2,208,967	110,739	1,092,150	158,398	290,047	304,760	
平成22 (2010)	4,357,536	2,320,172	113,326	1,151,376	163,554	303,461	324,812	
平成23 (2011)	4,402,248	2,355,144	113,552	1,110,048	164,565	311,552	309,036	
平成24 (2012)	4,485,120	2,783,856	113,195	1,097,796	155,020	315,163	300,560	
平成25 (2013)	4,273,032	3,010,224	106,817	1,075,488	150,170	315,784	286,152	
平成26 (2014)	4,439,544	2,856,120	112,997	1,026,678	135,576	317,537	269,224	
平成27 (2015)	4,447,152	2,864,820	113,150	969,480	120,162	326,734	268,136	
平成28 (2016)	4,673,472	2,972,250	111,692	970,356	115,313	332,752	266,368	

### 3. 業務量の推移

年度		項目	説明	平成19 (2007)	平成20 (2008)	平成21 (2009)
行政区域内人口 (A)	人		年度末の行政区域内人口	148,168	147,276	147,384
計画給水人口 (B)	人		認可事業計画の給水人口	140,590	140,590	133,300
給水区域内人口 (C)	人		年度末の給水区域内人口	126,593	126,038	126,560
給水人口 (D)	人		(C) - (給水区域内の未給水人口)	123,797	123,332	123,933
給水区域内普及率	%		$\frac{(D)}{(C)}$	97.8	97.9	97.9
給水戸数	戸		年度末の給水中世帯数	42,028	42,022	42,737
年間配水量 (E)	千m <sup>3</sup>		配水池から送出した年間水量	16,119	15,666	15,428
1日平均配水量	m <sup>3</sup>		$\frac{(E)}{(\text{年間日数})}$	44,042	42,921	42,269
1日最大配水量 (F)	m <sup>3</sup>		1日配水量実績の最大値	52,109	50,391	47,704
1人1日平均配水量	ℓ		$\frac{(E) - (\text{年間分水量})}{(D) \times (\text{年間日数})}$	356	341	334
1人1日最大配水量	ℓ		$\frac{(F) - (\text{当日の分水量})}{(D)}$	411	410	377
年間有収水量 (G)	千m <sup>3</sup>		水道料金収入の対象となった年間水量	14,731	14,558	14,319
有収率	%		$\frac{(G)}{(E)}$	91.4	92.9	92.8
1日平均有収水量	m <sup>3</sup>		$\frac{(G)}{(\text{年間日数})}$	40,249	39,886	39,230
供給単価	円/m <sup>3</sup>		1 m <sup>3</sup> の水の料金収入額	145.60	146.34	145.94
給水原価	円/m <sup>3</sup>		1 m <sup>3</sup> の水を製造するために要する費用	142.92	142.92	150.85
職員数	人		上下水道局職員数 (管理者を除いた水道営業課及び水道施設課職員数)	39	38	38

平成22 (2010)	平成23 (2011)	平成24 (2012)	平成25 (2013)	平成26 (2014)	平成27 (2015)	平成28 (2016)
147,125	174,960	174,702	174,505	174,538	174,957	174,724
133,300	133,300	133,300	133,300	133,300	133,300	138,600
126,520	126,728	132,245	132,227	132,561	133,088	133,096
123,920	124,794	130,332	130,486	130,926	131,566	131,673
97.9	98.5	98.6	98.7	98.8	98.9	98.9
43,236	43,717	46,138	46,718	47,624	48,620	49,190
15,898	15,868	16,193	15,905	15,643	15,866	15,672
43,556	43,354	44,365	43,577	42,858	43,349	42,936
50,889	49,682	50,865	49,141	47,945	48,306	47,909
345	341	340	334	327	329	326
399	405	390	377	366	367	364
14,603	14,507	14,757	14,571	14,285	14,435	14,543
91.9	91.4	91.1	91.6	91.3	91.0	92.8
40,008	39,635	40,430	39,921	39,137	39,441	39,845
145.95	145.88	157.93	160.21	159.89	159.92	160.03
145.28	151.57	160.31	159.60	145.61	137.85	134.01
39	39	39	39	39	38	39

※給水原価は、会計制度の改正により平成26年度から次の計算式で算出しています。  
給水原価＝（給水費用－長期前受金戻入）／年間総有収水量





5. 水質試験結果

水質基準項目検査(浄水)

【平成28年(2016)8月実施】

分析項目	主な配水区域	出雲地域(上津・稗原・乙立地区を除く)、大社地域(杵築・荒木・遙基地区)、湖陵地域全域												
		採水場所	来原系											
			来原浄水場	向山配水系										
				七面山配水系	向山配水系									
基準値	出雲市上下水道局	崎屋ふれあい会館	妙見山配水系 リバーサイドタウン 集会所	北山配水系 鷲巣 コミュニティセンター	新宮配水系 上新宮ポンプ場	朝山配水系 畑加圧ポンプ場	浜山配水系		常楽寺配水系	湖陵配水系	差海配水系			
							石臼 総合センター	中山配水系 中山地内民家	畑村公民館	蛇池会館	川前地内民家			
一般細菌	100個/ml以下	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
大腸菌	検出されないこと	陰性	陰性	陰性	陰性	陰性	陰性	陰性	陰性	陰性	陰性	陰性	陰性	
カドミウム及びその化合物	0.01mg/l以下	0.0003 未満	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	
水銀及びその化合物	0.0005mg/l以下	0.00005 未満	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	
セレン及びその化合物	0.01mg/l以下	0.001 未満	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	
鉛及びその化合物	0.01mg/l以下	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	※	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	※	0.001 未満	0.001 未満	※	
ヒ素及びその化合物	0.01mg/l以下	0.001 未満	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	
六価クロム化合物	0.05mg/l以下	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	※	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	※	0.005 未満	0.005 未満	※	
亜硝酸態窒素	0.04mg/l以下	0.004 未満	0.004 未満	0.004 未満	0.004 未満	0.004 未満	0.004 未満	0.004 未満	0.004 未満	0.004 未満	0.004 未満	0.004 未満	0.004 未満	
シアン化物イオン及び塩化シアン	0.01mg/l以下	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	
硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素	10mg/l以下	0.33	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	
フッ素及びその化合物	0.8mg/l以下	0.08 未満	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	
ホウ素及びその化合物	1.0mg/l以下	0.10 未満	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	
四塩化炭素	0.002mg/l以下	0.0002 未満	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	
1,4-ジオキサン	0.05mg/l以下	0.005 未満	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	
シス-1,2-ジクロロエチレン及び トランス-1,2-ジクロロエチレン	0.04mg/l以下	0.004 未満	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	
ジクロロメタン	0.02mg/l以下	0.002 未満	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	
テトラクロロエチレン	0.01mg/l以下	0.001 未満	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	
トリクロロエチレン	0.03mg/l以下	0.001 未満	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	
ベンゼン	0.01mg/l以下	0.001 未満	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	
塩素酸	0.6mg/l以下	0.06 未満	0.07	0.08	0.07	0.08	0.08	0.12	0.07	0.17	0.1	0.08	0.07	
クロロ酢酸	0.02mg/l以下	0.002 未満	0.002 未満	0.002 未満	0.002 未満	0.002 未満	0.002 未満	0.002 未満	0.002 未満	0.002 未満	0.002 未満	0.002 未満	0.002 未満	
クロロホルム	0.06mg/l以下	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001	0.001	0.001	0.002	0.002	0.001	0.002	
ジクロロ酢酸	0.04mg/l以下	0.002 未満	0.002 未満	0.002 未満	0.002 未満	0.002 未満	0.002 未満	0.002 未満	0.002 未満	0.002 未満	0.002 未満	0.002 未満	0.002 未満	
ジブromクロロメタン	0.1mg/l以下	0.001 未満	0.002	0.002	0.002	0.003	0.003	0.004	0.003	0.005	0.003	0.004	0.005	
臭素酸	0.01mg/l以下	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	
総トリハロメタン	0.1mg/l以下	0.001 未満	0.003	0.004	0.004	0.006	0.008	0.01	0.008	0.013	0.009	0.009	0.012	
トリクロロ酢酸	0.2mg/l以下	0.002 未満	0.002 未満	0.002 未満	0.002 未満	0.002 未満	0.002 未満	0.002 未満	0.002 未満	0.002 未満	0.002 未満	0.002 未満	0.002 未満	
ブromジクロロメタン	0.03mg/l以下	0.001 未満	0.001	0.001	0.001	0.002	0.002	0.003	0.002	0.004	0.003	0.002	0.003	
ブromホルム	0.09mg/l以下	0.001 未満	0.001 未満	0.001	0.001	0.001	0.002	0.002	0.002	0.002	0.001	0.002	0.002	
ホルムアルデヒド	0.08mg/l以下	0.008 未満	0.008 未満	0.008 未満	0.008 未満	0.008 未満	0.008 未満	0.008 未満	0.008 未満	0.008 未満	0.008 未満	0.008 未満	0.008 未満	
亜鉛及びその化合物	1.0mg/l以下	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	※	0.009	0.005 未満	0.005 未満	※	0.005 未満	0.007	※	※	
アルミニウム及びその化合物	0.2mg/l以下	0.02 未満	0.02 未満	0.02 未満	※	0.02 未満	0.02 未満	0.02 未満	※	0.02 未満	0.02 未満	※	※	
鉄及びその化合物	0.3mg/l以下	0.03 未満	0.03 未満	0.03 未満	※	0.03 未満	0.03 未満	0.03 未満	※	0.03 未満	0.03 未満	※	※	
銅及びその化合物	1.0mg/l以下	0.01 未満	0.01 未満	0.01 未満	※	0.01	0.01 未満	0.01 未満	※	0.01 未満	0.01 未満	※	※	
ナトリウム及びその化合物	200mg/l以下	14.7	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	
マンガン及びその化合物	0.05mg/l以下	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	※	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	※	0.005 未満	0.005 未満	※	※	
塩化物イオン	200mg/l以下	12	12.9	12.9	13	12.8	12.4	12.9	12.6	13.4	13.1	13	12.9	
カルシウム、マグネシウム等(硬度)	300mg/l以下	26.4	26.1	26.2	※	27.6	28.4	29.2	※	26.5	27.9	※	※	
蒸発残留物	500mg/l以下	79	84	79	※	88	82	85	※	81	79	※	※	
陰イオン界面活性剤	0.2mg/l以下	0.02 未満	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	
ジオスミン	0.00001mg/l以下	0.000001未満	0.000001未満	0.000001未満	※	0.000001未満	0.000001未満	0.000001未満	※	0.000001未満	0.000001未満	※	※	
2-メチルイソボルネオール	0.00001mg/l以下	0.000001未満	0.000001未満	0.000001未満	※	0.000001未満	0.000001未満	0.000001未満	※	0.000001未満	0.000001未満	※	※	
非イオン界面活性剤	0.02mg/l以下	0.002 未満	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	
フェノール類	0.005mg/l以下	0.0005 未満	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	
有機物(全有機炭素(TOC)の量)	3mg/l以下	0.3 未満	0.3 未満	0.3 未満	0.3 未満	0.3 未満	0.3 未満	0.3 未満	0.3 未満	0.3 未満	0.3 未満	0.3 未満	0.3 未満	
pH値	5.8以上8.6以下	7.2	7.2	7.1	7.3	7.3	7.6	7.7	7.1	7.3	7.4	7.6	7.3	
味	異常でないこと	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	
臭気	異常でないこと	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	
色度	5度以下	0.5 未満	0.5 未満	0.5 未満	0.5 未満	0.5 未満	0.5 未満	0.5 未満	0.5 未満	0.5 未満	0.5 未満	0.5 未満	0.5 未満	
濁度	2度以下	0.1 未満	0.1 未満	0.1 未満	0.1 未満	0.1 未満	0.1 未満	0.1 未満	0.1 未満	0.1 未満	0.1 未満	0.1 未満	0.1 未満	

※送・配水施設において濃度が上昇しないことが確認されているため、浄水施設出口等でのみ検査します。

水質基準項目検査(浄水)

【平成28年(2016)8月実施】

分析項目	主な配水区域 採水場所 基準値	上津・稗原地区				灘分・平田・西代・東郷・東福・久多見・野石谷・岡田・上岡田・多久谷・多久・園・鹿園寺・小境地区など		国富・口宇賀・西郷 万田・本庄地区		美野・野郷・地合地区			
		上津系				灘分系		金山系		県受水系			
		上津浄水場	大平配水系		延畑配水系	灘分浄水場	小境第4区 集会所	金山浄水場	西谷生活 改善センター	本郷配水池 (受水地点)	伊野配水系		本郷配水系
			岩倉ポンプ場	岩倉配水系 仏谷加圧 ポンプ場	西谷ポンプ場						東第4分団 格納庫	地合配水系 西地合集会所	
一般細菌	100個/ml以下	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
大腸菌	検出されないこと	陰性	陰性	陰性	陰性	陰性	陰性	陰性	陰性	陰性	陰性	陰性	陰性
カドミウム及びその化合物	0.01mg/l以下	0.0003 未満	※	※	※	0.0003 未満	※	0.0003 未満	※	0.0003 未満	※	※	※
水銀及びその化合物	0.0005mg/l以下	0.00005 未満	※	※	※	0.00005 未満	※	0.00005 未満	※	0.00005 未満	※	※	※
セレン及びその化合物	0.01mg/l以下	0.001 未満	※	※	※	0.001 未満	※	0.001 未満	※	0.001 未満	※	※	※
鉛及びその化合物	0.01mg/l以下	0.001 未満	※	0.001 未満	※	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	※	0.001 未満	0.001 未満
ヒ素及びその化合物	0.01mg/l以下	0.001 未満	※	※	※	0.001 未満	※	0.001 未満	※	0.001 未満	※	※	※
六価クロム化合物	0.05mg/l以下	0.005 未満	※	0.005 未満	※	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	※	0.005 未満	0.005 未満
亜硝酸態窒素	0.04mg/l以下	0.004 未満	0.004 未満	0.004 未満	0.004 未満	0.004 未満	0.004 未満	0.004 未満	0.004 未満	0.004 未満	0.004 未満	0.004 未満	0.004 未満
シアン化物イオン及び塩化シアン	0.01mg/l以下	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満
硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素	10mg/l以下	1.24	※	※	※	0.17	※	0.02 未満	※	0.24	※	※	※
フッ素及びその化合物	0.8mg/l以下	0.08 未満	※	※	※	0.08 未満	※	0.15	※	0.08 未満	※	※	※
ホウ素及びその化合物	1.0mg/l以下	0.10 未満	※	※	※	0.10 未満	※	0.10 未満	※	0.10 未満	※	※	※
四塩化炭素	0.002mg/l以下	0.0002 未満	※	※	※	0.0002 未満	※	0.0002 未満	※	0.0002 未満	※	※	※
1,4-ジオキサン	0.05mg/l以下	0.005 未満	※	※	※	0.005 未満	※	0.005 未満	※	0.005 未満	※	※	※
シス-1,2-ジクロロエチレン及び トランス-1,2-ジクロロエチレン	0.04mg/l以下	0.004 未満	※	※	※	0.004 未満	※	0.004 未満	※	0.004 未満	※	※	※
ジクロロメタン	0.02mg/l以下	0.002 未満	※	※	※	0.002 未満	※	0.002 未満	※	0.002 未満	※	※	※
テトラクロロエチレン	0.01mg/l以下	0.001 未満	※	※	※	0.001 未満	※	0.001 未満	※	0.001 未満	※	※	※
トリクロロエチレン	0.03mg/l以下	0.001 未満	※	※	※	0.001 未満	※	0.001 未満	※	0.001 未満	※	※	※
ベンゼン	0.01mg/l以下	0.001 未満	※	※	※	0.001 未満	※	0.001 未満	※	0.001 未満	※	※	※
塩素酸	0.6mg/l以下	0.09	0.19	0.24	0.1	0.28	0.32	0.06 未満	0.10	0.06 未満	0.11	0.12	0.1
クロロ酢酸	0.02mg/l以下	0.002 未満	0.002 未満	0.002 未満	0.002 未満	0.002 未満	0.002 未満	0.003	0.002	0.002 未満	0.002	0.002 未満	0.002 未満
クロロホルム	0.06mg/l以下	0.001 未満	0.002	0.006	0.003	0.001	0.003	0.001 未満	0.001 未満	0.004	0.007	0.009	0.006
ジクロロ酢酸	0.04mg/l以下	0.002 未満	0.002 未満	0.003	0.002 未満	0.002 未満	0.002 未満	0.002 未満	0.002 未満	0.002 未満	0.002 未満	0.002 未満	0.002 未満
ジブromクロロメタン	0.1mg/l以下	0.001	0.004	0.005	0.004	0.005	0.007	0.001 未満	0.002	0.006	0.009	0.009	0.008
臭素酸	0.01mg/l以下	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満
総トリハロメタン	0.1mg/l以下	0.001	0.01	0.016	0.012	0.011	0.019	0.001 未満	0.006	0.018	0.026	0.029	0.023
トリクロロ酢酸	0.2mg/l以下	0.002 未満	0.002 未満	0.002 未満	0.002 未満	0.002 未満	0.002 未満	0.002 未満	0.002 未満	0.002 未満	0.002 未満	0.002 未満	0.002 未満
ブromジクロロメタン	0.03mg/l以下	0.001 未満	0.003	0.004	0.004	0.003	0.006	0.001 未満	0.002	0.007	0.008	0.009	0.007
ブromホルム	0.09mg/l以下	0.001 未満	0.001	0.001	0.001	0.002	0.003	0.001 未満	0.002	0.001	0.002	0.002	0.002
ホルムアルデヒド	0.08mg/l以下	0.008 未満	0.008 未満	0.008 未満	0.008 未満	0.008 未満	0.008 未満	0.008 未満	0.008 未満	0.008 未満	0.008 未満	0.008 未満	0.008 未満
亜鉛及びその化合物	1.0mg/l以下	0.005 未満	※	0.005 未満	※	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.007	0.005 未満	※	0.005 未満	0.011
アルミニウム及びその化合物	0.2mg/l以下	0.02 未満	※	0.02 未満	※	0.09	0.1	0.02 未満	0.02 未満	0.02 未満	※	0.02 未満	0.02 未満
鉄及びその化合物	0.3mg/l以下	0.03 未満	※	0.03 未満	※	0.03 未満	0.03 未満	0.03 未満	0.03 未満	0.03 未満	※	0.03 未満	0.03 未満
銅及びその化合物	1.0mg/l以下	0.01 未満	※	0.01 未満	※	0.01 未満	0.01 未満	0.01 未満	0.01 未満	0.01 未満	※	0.01 未満	0.01 未満
ナトリウム及びその化合物	200mg/l以下	10.4	※	※	※	13.9	※	21.5	※	9.0	※	※	※
マンガン及びその化合物	0.05mg/l以下	0.005 未満	※	0.005 未満	※	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	※	0.005 未満	0.005 未満
塩化物イオン	200mg/l以下	13.9	14.3	14.3	13.7	11.8	12.3	18.1	16.6	9.4	10.2	10.2	10.4
カルシウム、マグネシウム等(硬度)	300mg/l以下	31.3	※	33.8	※	22.9	23.9	80.2	67.2	26.2	※	25.3	25
蒸発残留物	500mg/l以下	89	※	84	※	69	68	177	150	74	※	65	61
陰イオン界面活性剤	0.2mg/l以下	0.02 未満	※	※	※	0.02 未満	※	0.02 未満	※	0.02 未満	※	—	—
ジオスミン	0.00001mg/l以下	0.000001未満	※	0.000001未満	※	0.000001未満	0.000001未満	0.000001未満	0.000001未満	0.000001未満	※	0.000001未満	0.000001未満
2-メチルイソボルネオール	0.00001mg/l以下	0.000001未満	※	0.000001未満	※	0.000001未満	0.000001未満	0.000001未満	0.000001未満	0.000001未満	※	0.000001未満	0.000001未満
非イオン界面活性剤	0.02mg/l以下	0.002 未満	※	※	※	0.002 未満	※	0.002 未満	※	0.002 未満	※	※	※
フェノール類	0.005mg/l以下	0.0005 未満	※	※	※	0.0005 未満	※	0.0005 未満	※	0.0005 未満	※	※	※
有機物(全有機炭素(TOC)の量)	3mg/l以下	0.5	0.5	0.5	0.5	0.4	0.4	0.3 未満	0.3 未満	0.5	0.5	0.5	0.5
pH値	5.8以上8.6以下	7.1	7.3	7.5	7.3	7.2	7	7.2	7.2	7.1	7.4	7.4	7.4
味	異常でないこと	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし
臭気	異常でないこと	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし
色度	5度以下	0.5 未満	0.5 未満	0.5 未満	0.5 未満	0.5 未満	0.5 未満	0.5 未満	0.5 未満	0.5 未満	0.5 未満	0.5 未満	0.5 未満
濁度	2度以下	0.1 未満	0.1 未満	0.1 未満	0.1 未満	0.1 未満	0.1 未満	0.1 未満	0.1 未満	0.1 未満	0.1 未満	0.1 未満	0.1 未満

※送・配水施設において濃度が上昇しないことが確認されているため、浄水施設出口等でのみ検査します。

## 6. 検針・収納状況

### (1) メーター設置数

(単位：台)

口径 年度	13mm	20mm	25mm	30mm	40mm	50mm	75mm	100mm	150mm	200mm	300mm	合計
平成14 (2002)	22,493	8,044	962	—	323	63	25	3	3	2	1	31,919
平成15 (2003)	22,432	8,285	968	—	331	65	25	3	3	2	1	32,115
平成16 (2004)	31,673	9,543	1,164	46	400	125	33	3	2	2	0	42,991
平成17 (2005)	33,613	10,018	1,192	46	427	133	33	4	2	2	0	45,470
平成18 (2006)	33,870	10,052	1,191	43	436	131	32	4	2	2	0	45,763
平成19 (2007)	34,739	10,377	1,191	52	446	135	34	4	2	2	0	46,982
平成20 (2008)	34,846	10,614	1,176	52	445	136	35	4	2	2	0	47,312
平成21 (2009)	35,093	10,878	1,192	57	452	133	35	4	2	2	0	47,848
平成22 (2010)	35,262	11,163	1,193	59	456	131	33	4	2	2	0	48,305
平成23 (2011)	35,705	11,440	1,197	57	461	129	33	4	2	2	0	49,030
平成24 (2012)	37,337	12,403	1,213	60	481	134	34	4	2	2	0	51,670
平成25 (2013)	37,657	12,832	1,231	65	484	133	34	4	2	2	0	52,444
平成26 (2014)	37,994	13,173	1,236	70	484	133	33	4	2	2	0	53,131
平成27 (2015)	38,269	13,507	1,227	78	493	136	33	4	2	2	0	53,751
平成28 (2016)	38,548	13,816	1,230	84	492	134	33	4	2	2	0	54,345

※平成15年度（2003）までは、旧出雲市の数値

## (2) 口径別検針件数(上水)

## 【出雲地域】

(単位：件)

口径	13mm	20mm	25mm	30mm	40mm	50mm	75mm	100mm	150mm	200mm	合計
出雲	155,405	79,101	5,953	150	2,058	347	114	18	6	12	243,164

## 【平田地域】

(単位：件)

口径	13mm	20mm	25mm	30mm	40mm	50mm	75mm	100mm	合計
平田	39,619	6,428	995	181	385	167	56	6	47,837

## 【大社地域】

(単位：件)

口径	13mm	20mm	25mm	30mm	40mm	50mm	合計
大社	22,873	3,537	290	116	173	122	27,111

## 【湖陵地域】

(単位：件)

口径	13mm	20mm	25mm	30mm	40mm	50mm	75mm	合計
湖陵	7,592	4,551	131	7	73	42	6	12,402

## (3) 収納形態別件数

年度	調定件数	口座振替(件)	利用率(%)	自主納付他(件)	利用率(%)
平成19 (2007)	291,053	237,913	81.7	53,140	18.3
平成20 (2008)	290,414	236,907	81.6	53,507	18.4
平成21 (2009)	291,058	239,985	82.5	51,073	17.5
平成22 (2010)	293,827	241,979	82.4	51,848	17.6
平成23 (2011)	297,051	245,710	82.7	51,341	17.3
平成24 (2012)	312,373	259,632	83.1	52,741	16.9
平成25 (2013)	316,241	263,138	83.2	53,103	16.8
平成26 (2014)	320,386	265,928	83.0	54,458	17.0
平成27 (2015)	325,425	268,557	82.5	56,868	17.5
平成28 (2016)	330,514	270,225	81.8	60,289	18.2

## 7. 料金の変遷

【出雲地域】

区分		S33. 4～S37. 11			S37. 12～S43. 3		
		用途別	算定基準	料金	用途別	算定基準	料金
上計	専量用	家事用	8 m <sup>3</sup> まで 超過1 m <sup>3</sup> につき	115 円 17	家事用	8 m <sup>3</sup> まで 超過1 m <sup>3</sup> につき	150 円 22
		営業用	10 m <sup>3</sup> まで 超過1 m <sup>3</sup> につき	185 20	営業用	10 m <sup>3</sup> まで 超過1 m <sup>3</sup> につき	240 26
		工業用	200 m <sup>3</sup> まで 超過1 m <sup>3</sup> につき	3,500 20	200 m <sup>3</sup> まで 200 m <sup>3</sup> をこえ	4,550 25	
					1,000 m <sup>3</sup> まで (1 m <sup>3</sup> につき) 1,000 m <sup>3</sup> をこえ 3,000 m <sup>3</sup> まで 3,000 m <sup>3</sup> 以上	23 21	
		湯屋用	100 m <sup>3</sup> まで 超過1 m <sup>3</sup> につき	1,150 15	湯屋用	100 m <sup>3</sup> まで 超過1 m <sup>3</sup> につき	1,150 20
		官公署・学校・ 病院・会社・団体用	20 m <sup>3</sup> まで 超過1 m <sup>3</sup> につき	325 18	官公署・学校・ 病院・会社・団体用	20 m <sup>3</sup> まで 超過1 m <sup>3</sup> につき	425 24
		娯楽用	20 m <sup>3</sup> まで 超過1 m <sup>3</sup> につき	850 100			
		臨時用	20 m <sup>3</sup> まで 超過1 m <sup>3</sup> につき	500 40	臨時用	20 m <sup>3</sup> まで 超過1 m <sup>3</sup> につき	650 50
		公衆用	8 m <sup>3</sup> まで 超過1 m <sup>3</sup> につき	100 10	公衆用	8 m <sup>3</sup> まで 超過1 m <sup>3</sup> につき	130 30
		水道	共用栓	公設共用	5 m <sup>3</sup> まで(1戸当り) 超過1 m <sup>3</sup> につき	65 15	公設共用
私設共用	5 m <sup>3</sup> まで 超過1 m <sup>3</sup> につき			65 15			
定額給水	専用栓	家事用	家族数5人まで 家族数1人増すごとに	250 50	家事用	家族数5人まで 家族数1人増すごとに	300 60
		営業用		500			
簡易水道	計量給水	家事用	8 m <sup>3</sup> まで 超過1 m <sup>3</sup> につき	200 10	分水	S42. 9～ 1 m <sup>3</sup> 当り	27. 24
		営業用	10 m <sup>3</sup> まで 超過1 m <sup>3</sup> につき	300 20			
		工業用	50 m <sup>3</sup> まで 超過1 m <sup>3</sup> につき	800 20			
		官公署・学校・ 会社用	20 m <sup>3</sup> まで 超過1 m <sup>3</sup> につき	300 15			
		臨時用	20 m <sup>3</sup> まで 超過1 m <sup>3</sup> につき	500 20			

区分	S43.4～S47.3			S47.4～S50.6		
	用途別	算定基準	料金	用途別	算定基準	料金
上水道	家事用	8 m <sup>3</sup> まで 超過1 m <sup>3</sup> につき	200円 25	家事用	8 m <sup>3</sup> まで 超過1 m <sup>3</sup> につき	250円 32
	営業用	10 m <sup>3</sup> まで 超過1 m <sup>3</sup> につき	300 30	営業用	10 m <sup>3</sup> まで 超過1 m <sup>3</sup> につき	390 39
	工業用	200 m <sup>3</sup> まで 超過1 m <sup>3</sup> につき	5,200 26	工業用	1000 m <sup>3</sup> まで 超過1 m <sup>3</sup> につき	35,000 35
	湯屋用	100 m <sup>3</sup> まで 超過1 m <sup>3</sup> につき	2,000 20	湯屋用	100 m <sup>3</sup> まで 超過1 m <sup>3</sup> につき	2,000 20
	官公署・学校・ 病院・会社・団体用	20 m <sup>3</sup> まで 超過1 m <sup>3</sup> につき	540 27	官公署・学校・ 病院・会社・団体用	10 m <sup>3</sup> まで 超過1 m <sup>3</sup> につき	360 36
	臨時用	20 m <sup>3</sup> まで 超過1 m <sup>3</sup> につき	1,000 50			
	公衆用	10 m <sup>3</sup> まで 超過1 m <sup>3</sup> につき	180 18	公衆用	8 m <sup>3</sup> まで 超過1 m <sup>3</sup> につき	250 25
	公設共用	5 m <sup>3</sup> まで(1戸当り) 超過1 m <sup>3</sup> につき	110 22			
簡易水道	分水	1 m <sup>3</sup> 当り	27.24	分水	S47.9まで 1 m <sup>3</sup> 当り	27.24
				分水	S47.10～ 1 m <sup>3</sup> 当り	35.07

区分	S 50. 7～S 56. 3			S 56. 4～S 59. 5		
	用途別	算定基準	料金	用途別	算定基準	料金
上 水	家事用	8 m <sup>3</sup> まで	340 円 (1 m <sup>3</sup> につき)	家事用	8 m <sup>3</sup> まで	460 円 (1 m <sup>3</sup> につき)
		8 m <sup>3</sup> をこえ16 m <sup>3</sup> まで	45		8 m <sup>3</sup> をこえ16 m <sup>3</sup> まで	61
		16 m <sup>3</sup> をこえるもの	48		16 m <sup>3</sup> をこえ25 m <sup>3</sup> まで	67
	営業用	10 m <sup>3</sup> まで	550 (1 m <sup>3</sup> につき)	営業用	10 m <sup>3</sup> まで	790 (1 m <sup>3</sup> につき)
		10 m <sup>3</sup> をこえ20 m <sup>3</sup> まで	58		10 m <sup>3</sup> をこえ20 m <sup>3</sup> まで	83
20 m <sup>3</sup> をこえ50 m <sup>3</sup> まで		61	20 m <sup>3</sup> をこえ50 m <sup>3</sup> まで		89	
50 m <sup>3</sup> をこえるもの		64	50 m <sup>3</sup> をこえ100 m <sup>3</sup> まで		95	
団 体 用	10 m <sup>3</sup> まで	500 (1 m <sup>3</sup> につき)	団 体 用	10 m <sup>3</sup> まで	710 (1 m <sup>3</sup> につき)	
	10 m <sup>3</sup> をこえ20 m <sup>3</sup> まで	53		10 m <sup>3</sup> をこえ20 m <sup>3</sup> まで	75	
	20 m <sup>3</sup> をこえ50 m <sup>3</sup> まで	56		20 m <sup>3</sup> をこえ50 m <sup>3</sup> まで	81	
	50 m <sup>3</sup> をこえるもの	59		50 m <sup>3</sup> をこえ100 m <sup>3</sup> まで	87	
湯 屋 用	1 m <sup>3</sup> につき	30	湯 屋 用	1 m <sup>3</sup> につき	39	
道 分 水	S 50. 7～ 1 m <sup>3</sup> 当り S 50. 10～  契約水量を超過した場合、違約金として、超過水量に対し52.44円×1/2を加算徴収  S 52. 4～ 同上1/2を1/4に変更	52.44	道 分 水	S 56. 4～ 1 m <sup>3</sup> 当り	84.91	

区分	S59.6～H4.5			H4.6～H12.3		
	用途別	算定基準	料金 (消費税抜き)	用途別	算定基準	料金 (消費税抜き)
上	家事用	8㎡まで	570円 (1㎡につき)	家事用	8㎡まで	700円 (1㎡につき)
		8㎡をこえ16㎡まで 16㎡をこえ25㎡まで 25㎡をこえるもの	77 84 92		8㎡をこえ16㎡まで 16㎡をこえ25㎡まで 25㎡をこえるもの	92 101 111
上	事業用	10㎡まで	950 (1㎡につき)	事業用	10㎡まで	1,150 (1㎡につき)
		10㎡をこえ20㎡まで 20㎡をこえ50㎡まで 50㎡をこえ100㎡まで 100㎡をこえるもの	101 109 117 124		10㎡をこえ20㎡まで 20㎡をこえ50㎡まで 50㎡をこえ100㎡まで 100㎡をこえるもの	119 129 140 151
水	(この行は斜線で消されています)					
	湯屋用	1㎡につき	45	湯屋用	1㎡につき	50
道	分水	S59.6～ 1㎡当り	98.31	分水	H4.6～ 1㎡当り	117
		備考 H元.4から消費税3%を加算			備考 H9.4から消費税及び地方消費税5%を加算	

【平田地域】

区分	H12. 4～H19. 5			種別	S59. 7～H19. 5		
	用途別	算定基準	料金 (消費税抜き)		用途別	算定基準	料金 (消費税抜き)
上水道	家事用	8 m <sup>3</sup> まで	805 円	専用給水装置	一般用	基本料金 7 m <sup>3</sup> まで (基本水量)	800 円
		8 m <sup>3</sup> をこえ16 m <sup>3</sup> まで	106			超過料金 (1 m <sup>3</sup> につき) 7 m <sup>3</sup> をこえ30 m <sup>3</sup> まで 30 m <sup>3</sup> をこえ100 m <sup>3</sup> まで 100 m <sup>3</sup> をこえるもの	135
		16 m <sup>3</sup> をこえ25 m <sup>3</sup> まで	116		140		
		25 m <sup>3</sup> をこえるもの	128		145		
	事業用	10 m <sup>3</sup> まで	1,320		特殊用 (船舶、 プール及 びその他 臨時用)	1 m <sup>3</sup> につき	205
	10 m <sup>3</sup> をこえ20 m <sup>3</sup> まで 20 m <sup>3</sup> をこえ50 m <sup>3</sup> まで 50 m <sup>3</sup> をこえ100 m <sup>3</sup> まで 100 m <sup>3</sup> をこえるもの	(1 m <sup>3</sup> につき) 137 148 161 174					
	湯屋用	1 m <sup>3</sup> につき	58				
	分水	1 m <sup>3</sup> 当り	134.55	共用給水装置	一般用	基本料金 7 m <sup>3</sup> まで (基本水量)	800
	備考	H12.6検針分から適用				超過料金 (1 m <sup>3</sup> につき) 7 m <sup>3</sup> をこえ30 m <sup>3</sup> まで 30 m <sup>3</sup> をこえ100 m <sup>3</sup> まで 100 m <sup>3</sup> をこえるもの	135 140 145
	備考			備考		H元.4から消費税3%を加算 H9.4から消費税及び地方消費税5%を加算	

## 【大社地域】

種別	H12.12～H19.5		
	用途別	算定基準	料金 (消費税抜き)
専用水装置	家事 一般用	8 m <sup>3</sup> まで	1,610 円 (1 m <sup>3</sup> につき)
		8 m <sup>3</sup> をこえ16 m <sup>3</sup> まで 16 m <sup>3</sup> をこえるもの	190 200
	営業用	15 m <sup>3</sup> まで	3,200 (1 m <sup>3</sup> につき)
		15 m <sup>3</sup> をこえ50 m <sup>3</sup> まで 50 m <sup>3</sup> をこえるもの	220 230
	官公署・ 学校用	10 m <sup>3</sup> まで	2,250 (1 m <sup>3</sup> につき)
		10 m <sup>3</sup> をこえ30 m <sup>3</sup> まで 30 m <sup>3</sup> をこえるもの	220 230
	事業所・ 工事用	10 m <sup>3</sup> まで	2,250 (1 m <sup>3</sup> につき)
		10 m <sup>3</sup> をこえ30 m <sup>3</sup> まで 30 m <sup>3</sup> をこえるもの	220 230
	工場用	20 m <sup>3</sup> まで	4,500 (1 m <sup>3</sup> につき)
		20 m <sup>3</sup> をこえ50 m <sup>3</sup> まで 50 m <sup>3</sup> をこえるもの	220 230
船舶用	100 m <sup>3</sup> まで	21,600 (1 m <sup>3</sup> につき)	
	100をこえ200 m <sup>3</sup> まで 200 m <sup>3</sup> をこえるもの	220 230	
船舶用	1 m <sup>3</sup> につき	290	
工事 その他 臨時用	1 m <sup>3</sup> につき	290	
その他	1 m <sup>3</sup> につき	290	
共用給水装置	共用栓	1世帯につき8 m <sup>3</sup> まで	1,610 (1 m <sup>3</sup> につき)
		8 m <sup>3</sup> をこえ16 m <sup>3</sup> まで 16 m <sup>3</sup> をこえるもの	190 200
備考	消費税及び地方消費税5%を加算		

## 【湖陵地域】

区分	H12.10～H19.5			
	用途別	算定基準	料金 (消費税抜き)	
簡易水道	家事用	1 m <sup>3</sup> まで 1 m <sup>3</sup> をこえ8 m <sup>3</sup> まで	600 円 1,020  (1 m <sup>3</sup> につき)	
		8 m <sup>3</sup> をこえ20 m <sup>3</sup> まで 20 m <sup>3</sup> をこえ30 m <sup>3</sup> まで 30 m <sup>3</sup> をこえるもの	130 155 210	
	官公署用 (前年度中の 月間最大 給水量が30 m <sup>3</sup> 以下の場 合)	1 m <sup>3</sup> まで 1 m <sup>3</sup> をこえ10 m <sup>3</sup> まで	770 1,540  (1 m <sup>3</sup> につき)	
		10 m <sup>3</sup> をこえ30 m <sup>3</sup> まで 30 m <sup>3</sup> をこえ50 m <sup>3</sup> まで 50 m <sup>3</sup> をこえるもの	165 175 185	
	官公署用 (前年度中の 月間最大 給水量が30 m <sup>3</sup> を超える 場合)	1 m <sup>3</sup> まで 1 m <sup>3</sup> をこえ50 m <sup>3</sup> まで	4,950 7,700  (1 m <sup>3</sup> につき)	
		50 m <sup>3</sup> をこえ500 m <sup>3</sup> まで 500 m <sup>3</sup> をこえ2,000 m <sup>3</sup> まで 2,000 m <sup>3</sup> をこえるもの	180 185 190	
	事業用	1 m <sup>3</sup> まで 1 m <sup>3</sup> をこえ20 m <sup>3</sup> まで	2,200 3,300  (1 m <sup>3</sup> につき)	
		20 m <sup>3</sup> をこえ50 m <sup>3</sup> まで 50 m <sup>3</sup> をこえ100 m <sup>3</sup> まで 100 m <sup>3</sup> をこえ300 m <sup>3</sup> まで 300 m <sup>3</sup> をこえ800 m <sup>3</sup> まで 800 m <sup>3</sup> をこえ1,500 m <sup>3</sup> まで 1,500 m <sup>3</sup> をこえるもの	185 200 215 225 240 250	
	備考	消費税及び地方消費税5%を加算		

【合併後統一】

【現 在】

区分	H19. 6～H24. 5			区分	H24. 6～					
	口径別	算定基準	料金 (消費税抜き)		口径別	算定基準	料金 (消費税抜き)			
上水道・簡易水道	13mm	8 m <sup>3</sup> まで	930 円  (1 m <sup>3</sup> につき)	13mm	8 m <sup>3</sup> まで	1,050 円  (1 m <sup>3</sup> につき)				
		8 m <sup>3</sup> をこえ16m <sup>3</sup> まで			117		8 m <sup>3</sup> をこえ16m <sup>3</sup> まで	132		
	20mm	16m <sup>3</sup> をこえ25m <sup>3</sup> まで	128	20mm	16m <sup>3</sup> をこえ25m <sup>3</sup> まで	144				
		25m <sup>3</sup> をこえ50m <sup>3</sup> まで	141		25m <sup>3</sup> をこえ50m <sup>3</sup> まで	159				
	25mm	50m <sup>3</sup> をこえ100m <sup>3</sup> まで	184	25mm	50m <sup>3</sup> をこえ100m <sup>3</sup> まで	192				
		100m <sup>3</sup> をこえるもの	190		100m <sup>3</sup> をこえるもの	198				
	30mm	8 m <sup>3</sup> まで	1,580	30mm	8 m <sup>3</sup> まで	1,650				
	40mm	8 m <sup>3</sup> まで	1,650	40mm	8 m <sup>3</sup> まで	1,720				
	50mm	8 m <sup>3</sup> まで	2,180	50mm	8 m <sup>3</sup> まで	2,270				
	75mm	8 m <sup>3</sup> まで	2,580	75mm	8 m <sup>3</sup> まで	2,690				
100mm	8 m <sup>3</sup> まで	2,990	100mm	8 m <sup>3</sup> まで	3,120					
150mm	8 m <sup>3</sup> まで	8,240	150mm	8 m <sup>3</sup> まで	8,590					
200mm	8 m <sup>3</sup> まで	17,050	200mm	8 m <sup>3</sup> まで	17,770					
分水	1 m <sup>3</sup> 当り	148.71	30mm 40mm 50mm 75mm 100mm 150mm 200mm	(1 m <sup>3</sup> につき)	8 m <sup>3</sup> をこえ16m <sup>3</sup> まで	159	30mm 40mm 50mm 75mm 100mm 150mm 200mm	(1 m <sup>3</sup> につき)	8 m <sup>3</sup> をこえ16m <sup>3</sup> まで	166
					16m <sup>3</sup> をこえ25m <sup>3</sup> まで	166			16m <sup>3</sup> をこえ25m <sup>3</sup> まで	173
					25m <sup>3</sup> をこえ50m <sup>3</sup> まで	172			25m <sup>3</sup> をこえ50m <sup>3</sup> まで	179
					50m <sup>3</sup> をこえ100m <sup>3</sup> まで	184			50m <sup>3</sup> をこえ100m <sup>3</sup> まで	192
					100m <sup>3</sup> をこえるもの	190			100m <sup>3</sup> をこえるもの	198
備考	H19. 6検針分から適用 地域ごとに異なっていた水道料金を統一 「用途別料金体系」を「口径別料金体系」に変更 消費税及び地方消費税5%を加算			備考	H24. 6検針分から適用 湖陵・差海簡易水道を上水道へ統合したことに伴い、分 水は廃止 料金は消費税抜き H26. 4から消費税及び地方消費税8%を加算					

## 8. 加入金の変遷

### 【出雲地域】

(単位：円、消費税抜き)

口 径	S 50. 7 ～52. 3	S 52. 4 ～56. 3	S 56. 4 ～59. 5	S 59. 6 ～H19. 3
13mm	18,000	18,000	36,000	47,000
20mm	38,000	38,000	76,000	99,000
25mm	80,000	80,000	160,000	210,000
30mm	—	—	—	—
40mm	250,000	250,000	500,000	650,000
50mm	430,000	430,000	860,000	1,120,000
75mm	1,300,000	1,300,000	2,600,000	3,300,000
100mm	2,500,000	2,500,000	5,000,000	6,500,000
150mm	6,000,000	6,000,000	管理者が 別に定める	管理者が 別に定める
200mm	—	13,000,000	〃	〃
250mm	—	23,000,000	〃	〃

### 【平田地域】

### 【大社地域】

### 【湖陵地域】

口 径	S 52. 11 ～H19. 3	S 56. 4 ～H19. 3	S 57. 11 ～H19. 3
13mm	50,000	50,000	60,000
20mm	130,000	90,000	130,000
25mm	230,000	160,000	250,000
30mm	330,000	270,000	—
40mm	710,000	460,000	700,000
50mm	1,230,000	800,000	1,000,000
75mm	3,340,000	1,500,000	市長(町長)が別に定める
100mm	6,820,000	—	〃
150mm	管理者が別に定める	—	〃
200mm	〃	—	〃
250mm	〃	—	〃

### 【現在】

口 径	H19. 4～
13mm	50,000
20mm	110,000
25mm	220,000
30mm	310,000
40mm	680,000
50mm	1,170,000
75mm	3,300,000
100mm	6,500,000
150mm以上	管理者(市長)が別に定める額
備 考	地域ごとに異っていた加入金を統一

## 9. 口径別有収水量と給水収益

(金額は消費税抜)

### 【出雲地域】

口径	13mm	20mm	25mm	30mm	40mm
調定件数(件)	155,405	79,101	5,953	150	2,058
水量(m <sup>3</sup> )	4,375,782	3,323,388	639,443	35,796	965,566
料金(円)	669,402,027	485,977,710	105,540,117	6,826,763	178,579,746
供給単価(円)	152.98	146.23	165.05	190.71	184.95

	50mm	75mm	100mm	150mm	200mm
	347	114	18	6	12
	497,207	384,387	160,266	18,091	278,370
	98,183,458	76,099,171	31,747,216	3,651,018	55,475,580
	197.47	197.98	198.09	201.81	199.29

出雲地域合計
243,164
10,678,296
1,711,482,806
160.28

### 【平田地域】

口径	13mm	20mm	25mm	30mm	40mm
調定件数(件)	39,619	6,428	995	181	385
水量(m <sup>3</sup> )	1,480,436	289,104	84,019	42,454	130,089
料金(円)	221,118,717	42,830,460	14,376,084	8,230,230	25,293,151
供給単価(円)	149.36	148.15	171.11	193.86	194.43

	50mm	75mm	100mm
	167	56	6
	113,355	46,842	23,452
	22,356,946	9,291,359	4,646,856
	197.23	198.36	198.14

平田地域合計
47,837
2,209,751
348,143,803
157.55

### 【大社地域】

口径	13mm	20mm	25mm	30mm	40mm
調定件数(件)	22,873	3,537	290	116	173
水量(m <sup>3</sup> )	669,307	151,447	39,648	49,321	121,571
料金(円)	102,411,486	22,290,423	6,949,419	9,590,582	23,234,071
供給単価(円)	153.01	147.18	175.28	194.45	191.12

50mm
122
106,456
20,987,713
197.15

大社地域合計
27,111
1,137,750
185,463,694
163.01

### 【湖陵地域】

口径	13mm	20mm	25mm	30mm	40mm
調定件数(件)	7,592	4,551	131	7	73
水量(m <sup>3</sup> )	245,601	164,364	22,653	542	47,017
料金(円)	36,989,538	24,537,762	4,042,704	97,798	9,187,313
供給単価(円)	150.61	149.29	178.46	180.44	195.40

50mm	75mm
42	6
34,655	2,763
6,867,333	545,274
198.16	197.35

湖陵地域合計
12,402
517,595
82,267,722
158.94

### 【合計】

口径	13mm	20mm	25mm	30mm	40mm
調定件数(件)	225,489	93,617	7,369	454	2,689
水量(m <sup>3</sup> )	6,771,126	3,928,303	785,763	128,113	1,264,243
料金(円)	1,029,921,768	575,636,355	130,908,324	24,745,373	236,294,281
供給単価(円)	152.10	146.54	166.60	193.15	186.91

	50mm	75mm	100mm	150mm	200mm
	678	176	24	6	12
	751,673	433,992	183,718	18,091	278,370
	148,395,450	85,935,804	36,394,072	3,651,018	55,475,580
	197.42	198.01	198.10	201.81	199.29

合計
330,514
14,543,392
2,327,358,025
160.03

## 10. 給水装置工事申請件数

種別 \ 年度	平成24 (2012)	平成25 (2013)	平成26 (2014)	平成27 (2015)	平成28 (2016)
1. 新 設	280件	275件	197件	210件	231件
2. 改 造	759件	891件	757件	776件	686件
3. 修 繕	108件	85件	78件	48件	72件
4. 撤 去	0件	0件	0件	0件	0件
5. 工事中止	2件	4件	6件	0件	2件
合 計	1,149件	1,255件	1,038件	1,034件	991件

## 11. 水道施設修繕工事件数

種別 \ 年度	平成24 (2012)	平成25 (2013)	平成26 (2014)	平成27 (2015)	平成28 (2016)
1. 配水管	337件	239件	207件	185件	174件
2. 給水管	680件	625件	558件	503件	495件
3. その他施設	74件	72件	77件	144件	86件
合 計	1,091件	936件	842件	832件	755件

## 12. 指定給水装置工事事業者数(平成29年(2017)3月31日現在)

地域別	出雲 地域	平田 地域	佐田 地域	多伎 地域	湖陵 地域	大社 地域	斐川 地域	市外	合計
指定業者	77社	20社	6社	3社	2社	13社	9社	55社	185社

## IV 財務の状況

おいしいな だいじなお水 ごくごくり

平成二十六年 度 第五十六回 水道週間スローガン

## 1. 平成28年度(2016)出雲市水道事業会計 決算書

### (1)収益的收入及び支出

(単位：円、消費税及び地方消費税込)

区 分	予 算 額	決 算 額	(うち消費税及び地方消費税)	繰 越 額
営 業 収 益	2,570,179,000	2,591,833,288	(189,071,947)	
営 業 外 収 益	433,118,000	456,384,323	(6,852,354)	
特 別 利 益	200,000	27,662,446	(1,194)	
収 入 合 計	3,003,497,000	3,075,880,057	(195,925,495)	
営 業 費 用	2,427,838,000	2,194,095,276	(57,369,974)	27,715,000
営 業 外 費 用	244,112,000	212,151,634		
特 別 損 失	1,445,263	1,679,837	(122,549)	
予 備 費	9,954,737	0		
支 出 合 計	2,683,350,000	2,407,926,747	(57,492,523)	27,715,000

### (2)資本的收入及び支出

区 分	予 算 額	決 算 額	(うち消費税及び地方消費税)	繰 越 額
企 業 債	300,000,000	300,000,000		
工 事 負 担 金	174,484,000	116,150,074		
他 会 計 負 担 金	5,508,000	4,929,435		
他 会 計 繰 入 金	24,877,000	24,622,272		
収 入 合 計	504,869,000	445,701,781		
建 設 改 良 費	2,020,117,600	1,395,360,086	(97,423,625)	409,755,200
企 業 債 償 還 金	379,152,000	379,151,990		
予 備 費	1,080,000	0		
支 出 合 計	2,400,349,600	1,774,512,076	(97,423,625)	409,755,200

2. 出雲市水道事業会計 損益計算書 (平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(単位：円、消費税及び地方消費税抜 %)

借 方			貸 方		
科 目	金 額	構成比	科 目	金 額	構成比
<b>営 業 費 用</b>	<b>2,136,725,302</b>	<b>74.2</b>	<b>営 業 収 益</b>	<b>2,402,761,341</b>	<b>83.4</b>
原水及び浄水費	388,381,195	13.5	給水収益	2,327,358,025	80.8
配水及び給水費	332,968,603	11.6	受託工事収益	7,344,000	0.2
受託工事費	13,081,841	0.4	その他営業収益	68,059,316	2.4
業務費	106,854,626	3.7			
総係費	140,237,956	4.9	<b>営 業 外 収 益</b>	<b>449,532,225</b>	<b>15.6</b>
減価償却費	1,140,423,388	39.6	加 入 金	79,960,000	2.8
資産減耗費	14,777,693	0.5	受取利息及び 配当金	5,718,916	0.2
			他会計繰入金	12,789,981	0.4
<b>営 業 外 費 用</b>	<b>161,666,476</b>	<b>5.6</b>	施設分担金	6,028,920	0.2
支払利息及び 企業債取扱諸費	149,566,324	5.2	長期前受金戻入	336,410,061	11.7
雑支出	12,100,152	0.4	雑 収 益	8,624,347	0.3
<b>特 別 損 失</b>	<b>1,557,288</b>	<b>0.1</b>	<b>特 別 利 益</b>	<b>27,661,252</b>	<b>1.0</b>
過年度損益修正損	1,557,288	0.1	過年度損益修正益	16,287	0.0
			引当金戻入益	27,644,965	1.0
当年度純利益	580,005,752	20.1			
<b>合 計</b>	<b>2,879,954,818</b>	<b>100.0</b>	<b>合 計</b>	<b>2,879,954,818</b>	<b>100.0</b>

### 3. 出雲市水道事業会計 貸借対照表 (平成29年3月31日)

(単位：円、消費税及び地方消費税抜 %)

借 方			貸 方		
科 目	金 額	構成比	科 目	金 額	構成比
<b>固 定 資 産</b>	<b>28,585,151,308</b>	<b>89.5</b>	<b>固 定 負 債</b>	<b>8,117,124,203</b>	<b>25.4</b>
有 形 固 定 資 産	28,583,079,883	89.5	企 業 債	8,117,124,203	25.4
土 地	1,760,679,771	5.5			
建 物	1,110,383,305	3.5	<b>流 動 負 債</b>	<b>1,643,039,097</b>	<b>5.1</b>
建 物 附 属 設 備	311,207,340	1.0	企 業 債	398,586,000	1.2
構 築 物	20,570,621,237	64.4	未 払 金	873,060,807	2.7
機 械 及 び 装 置	3,364,821,406	10.5	未 払 費 用	1,925,517	0.0
車 両 運 搬 具	6,955,822	0.0	引 当 金	31,292,849	0.1
工 具 器 具 及 び 備 品	60,562,299	0.2	そ の 他 流 動 負 債	122,135,782	0.4
建 設 仮 勘 定	1,397,848,703	4.4	仮 受 金	216,038,142	0.7
無 形 固 定 資 産	671,425	0.0	<b>繰 延 収 益</b>	<b>7,871,573,636</b>	<b>24.6</b>
借 地 権	671,425	0.0	( 負 債 合 計 )	17,631,736,936	55.1
投 資 そ の 他 の 資 産	1,400,000	0.0	<b>資 本 金</b>	<b>11,812,866,709</b>	<b>37.0</b>
出 資 金	1,400,000	0.0	<b>剰 余 金</b>	<b>2,508,970,010</b>	<b>7.9</b>
			資 本 剰 余 金	350,917,373	1.1
<b>流 動 資 産</b>	<b>3,368,422,347</b>	<b>10.5</b>	工 事 負 担 金	50,617,002	0.2
現 金 預 金	3,026,510,652	9.4	国 庫 補 助 金	103,814,583	0.3
未 収 金	277,708,139	0.9	受 贈 財 産 評 価 額	11,314,447	0.0
貯 蔵 品	17,387,986	0.1	他 会 計 負 担 金	39,470,717	0.1
前 払 費 用	1,045,520	0.0	他 会 計 補 助 金 等	2,339,385	0.0
前 払 金	45,120,050	0.1	加 入 金	143,361,239	0.5
そ の 他 流 動 資 産	650,000	0.0	利 益 剰 余 金	2,158,052,637	6.8
			減 債 積 立 金	363,614	0.0
			建 設 改 良 積 立 金	1,097,683,271	3.5
			当 年 度 未 処 分 金	1,060,005,752	3.3
			利 益 剰 余 金		
			( 資 本 合 計 )	14,321,836,719	44.9
<b>資 産 合 計</b>	<b>31,953,573,655</b>	<b>100.0</b>	<b>負 債 資 本 合 計</b>	<b>31,953,573,655</b>	<b>100.0</b>

#### 4. 財務比率・経営比率

	区 分	算 式	平成28年度 (2016)	
1	自 己 資 本 率 構 成 比 率	$\frac{\text{資本金} + \text{剰余金} + \text{評価差額等} + \text{繰延収益}}{\text{負債資本合計}} \times 100$	$\frac{22,193,411\text{千円}}{31,953,574\text{千円}} \times 100$	69.46 %
2	固定資産構成比率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{固定資産} + \text{流動資産} + \text{繰延資産}} \times 100$	$\frac{28,585,151\text{千円}}{31,953,574\text{千円}} \times 100$	89.46 %
3	固定負債構成比率	$\frac{\text{固定負債}}{\text{負債資本合計}} \times 100$	$\frac{8,117,124\text{千円}}{31,953,574\text{千円}} \times 100$	25.40 %
4	固定資産対長期資本比率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{固定負債} + \text{資本金} + \text{剰余金} + \text{評価差額等} + \text{繰延収益}} \times 100$	$\frac{28,585,151\text{千円}}{30,310,535\text{千円}} \times 100$	94.31 %
5	固定比率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{資本金} + \text{剰余金} + \text{評価差額等} + \text{繰延収益}} \times 100$	$\frac{28,585,151\text{千円}}{22,193,411\text{千円}} \times 100$	128.80 %
6	流動比率	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}} \times 100$	$\frac{3,368,423\text{千円}}{1,643,039\text{千円}} \times 100$	205.01 %
7	当座比率	$\frac{\text{現金及び預金} + \text{(未収金} - \text{貸倒引当金)}}{\text{流動負債}} \times 100$	$\frac{3,336,862\text{千円}}{1,643,039\text{千円}} \times 100$	203.09 %
8	未収金回転率	$\frac{\text{営業収益} - \text{受託工事収益}}{\frac{\text{期首未収金} + \text{期末未収金}}{2}}$	$\frac{2,395,417\text{千円}}{283,614\text{千円}}$	8.446 回
9	総資本回転率	$\frac{\text{営業収益} - \text{受託工事収益}}{\frac{\text{期首負債資本合計} + \text{期末負債資本合計}}{2}}$	$\frac{2,395,417\text{千円}}{31,559,547\text{千円}}$	0.076 回
10	固定資産回転率	$\frac{\text{営業収益} - \text{受託工事収益}}{\frac{\text{期首固定資産} + \text{期末固定資産}}{2}}$	$\frac{2,395,417\text{千円}}{28,512,141\text{千円}}$	0.084 回
11	総資本利益率	$\frac{\text{経常利益} - \text{経常損失}}{\frac{\text{期首負債資本合計} + \text{期末負債資本合計}}{2}} \times 100$	$\frac{553,902\text{千円}}{31,559,547\text{千円}} \times 100$	1.76 %
12	総収支比率	$\frac{\text{総収益}}{\text{総費用}} \times 100$	$\frac{2,879,955\text{千円}}{2,299,949\text{千円}} \times 100$	125.22 %

平成27年度 (2015)		備考
出雲市	規模別全国平均	
69.96 %	71.97 %	総資本（負債、資本）に占める自己資本（自己資本金、剰余金）の割合 自己資本は、負債と異なり原則として返済する必要のない資本であり、この数値が高いほど財政状態が良いといえる。
91.25 %	89.11 %	総資産（固定資産、流動資産、繰延勘定）に占める固定資産の割合 一般にこの数値が低いほうが柔軟な経営が可能になるが、水道事業は施設型の企業であり、数値が高くならざるを得ない。
26.46 %	24.69 %	総資本に占める固定負債の割合 資本のうち固定負債、借入資本金への依存度を示す指標であり、自己資本構成比率とは逆の傾向を示す。
94.64 %	92.19 %	固定資産がどの程度長期の資本で調達されているかを示す比率 この数値は100%以下で低いことが望ましい。100%を上回ることは、不良債務発生を意味し警戒しなければならない。
130.43 %	123.81 %	自己資本がどの程度固定資産に投下されているかを示す比率 この数値は100%以下であることが望ましいが、水道事業では建設改良の財源を企業債に依存する度合いが高いので、必然的にこの数値が高くなる。
244.23 %	325.82 %	短期債務に対する支払能力を示す比率 一般にこの数値が200%以上ならば安全といわれており、100%を下回れば不良債務が発生していることになる。
239.42 %	318.10 %	短期債務に対する直接的な支払能力を示す比率 この数値は100%以上で高いほうが良い。支払手段として現金預金のほかに未収金も含むために未収金回転率と併せて分析する必要がある。
7.231 回	7.921 回 [その他未収金を含む]	平均営業未収金は、期首と期末の営業未収金の平均により算出した。 この数値は営業未収金の回収速度を示し、高いほうが良い。
0.077 回	0.085 回	平均総資本は、期首と期末の総資本額の平均により算出した。 総資本に対する営業収益の割合であり、この数値が高いほど投下資本に比して営業活動が活発であることを意味する。
0.084 回	0.096 回	平均有形固定資産は、期首と期末の有形固定資産の平均により算出した。 固定資産がどの程度営業活動に利用されているかを示す指標。この数値が高いほど施設が有効に稼働しているといえる。
1.61 %	1.48 % [経常収支赤字団体含まず]	総資本の収益性、効率性を示す比率 投下した総資本に対する利益率であり、この数値が高いほど事業の収益性が良いといえる。
121.29 %	116.81 % [経常収支赤字団体含まず]	企業の収益性を示す比率 この比率は、損益計算上総収益で総費用をまかなえるかを示し、数値が100%以上で高いほうが利益率が良い。

	区 分	算 式	平成28年度 (2016)	
13	経 常 収 支 比 率	$\frac{\text{営業収益} + \text{営業外収益}}{\text{営業費用} + \text{営業外費用}} \times 100$	$\frac{2,852,294\text{千円}}{2,298,392\text{千円}} \times 100$	124.10 %
14	営 業 収 支 比 率	$\frac{\text{営業収益} - \text{受託工事収益}}{\text{営業費用} - \text{受託工事費用}} \times 100$	$\frac{2,395,417\text{千円}}{2,123,644\text{千円}} \times 100$	112.80 %
15	利 子 負 担 率	$\frac{\text{支 払 利 息}}{\text{建設改良費等、その他の企業債・長期借入金} + \text{再建債} + \text{リース債務} + \text{一時借入金}} \times 100$	$\frac{149,566\text{千円}}{8,515,710\text{千円}} \times 100$	1.76 %
16	企 業 債 償 還 元 金 対 減 価 償 却 費 比 率	$\frac{\text{建設改良のための企業債償還元金}}{\text{当年度減価償却費} - \text{長期前受金戻入}} \times 100$	$\frac{379,152\text{千円}}{804,013\text{千円}} \times 100$	47.16 %
17	企 業 債 償 還 元 金 対 給 水 収 益 比 率	$\frac{\text{建設改良のための企業債償還元金}}{\text{給 水 収 益}} \times 100$	$\frac{379,152\text{千円}}{2,327,358\text{千円}} \times 100$	16.29 %
18	企 業 債 利 息 対 給 水 収 益 比 率	$\frac{\text{企 業 債 利 息}}{\text{給 水 収 益}} \times 100$	$\frac{149,566\text{千円}}{2,327,358\text{千円}} \times 100$	6.43 %
19	減 価 償 却 費 対 給 水 収 益 比 率	$\frac{\text{減 価 償 却 費}}{\text{給 水 収 益}} \times 100$	$\frac{1,140,423\text{千円}}{2,327,358\text{千円}} \times 100$	49.00 %
20	職 員 給 与 費 対 給 水 収 益 比 率	$\frac{\text{職 員 給 与 費}}{\text{給 水 収 益}} \times 100$	$\frac{220,700\text{千円}}{2,327,358\text{千円}} \times 100$	9.48 %
21	有 形 固 定 資 産 対 減 価 償 却 率	$\frac{\text{有形固定資産減価償却累計額}}{\text{有形固定資産のうち償却対象資産の帳簿原価}} \times 100$	$\frac{20,281,062\text{千円}}{45,705,613\text{千円}} \times 100$	44.37 %
22	資 本 費	$\frac{\text{企業債利息} + \text{減価償却費} + \text{受水費}}{\text{中資本費} - \text{長期前受金戻入}} \div \frac{\text{年間総有収水量}}{\text{年間総有収水量}}$	$\frac{992,964\text{千円}}{14,543\text{千m}^3}$	68.28 円
23	負 荷 率	$\frac{\text{一日平均配水量}}{\text{一日最大配水量}} \times 100$	$\frac{42,936\text{m}^3}{47,909\text{m}^3} \times 100$	89.62 %
24	最 大 稼 働 率	$\frac{\text{一日最大配水量}}{\text{配水能力}} \times 100$	$\frac{47,909\text{m}^3}{69,859\text{m}^3} \times 100$	68.58 %
25	施 設 利 用 率	$\frac{\text{一日平均配水量}}{\text{配水能力}} \times 100$	$\frac{42,936\text{m}^3}{69,859\text{m}^3} \times 100$	61.46 %

平成27年度 (2015)		備考
出雲市	規模別全国平均	
121.39 %	117.40 % [経常収支赤字団体含まず]	企業の経常的な活動における収益性を示す比率 この数値が100%以上で高いほうが利益率が良い。
110.25 %	108.82 % [経常収支赤字団体含まず]	企業の主たる営業活動における収益性を示す比率 この数値が100%以上で高いほうが利益率が良い、健全経営といえる。
1.82 %	2.29 %	利子負担の程度を示す指標。平均有利子負債（企業債、他会計借入金、一時借入金）は、期首と期末の平均で算出した。この数値が低いほうが、低利の借入金を利用しているといえる。
51.96 %	63.90 %	減価償却費に対する企業債償還金の割合 内部留保資金である減価償却費で、企業債償還元金をまかなえるかを示す。 また、投下資本の回収と再投資のバランスを見ることもできる。
17.72 %	20.28 %	水道料金収入に対する企業債償還金の割合 企業債償還元金がどの程度経営の圧迫要因になっているかを示し、 この数値が低いほうが良い。
6.79 %	6.98 %	水道料金収入に対する企業債利息の割合 企業債の支払利息がどの程度経営の圧迫要因になっているかを示し、 この数値が低いほうが良い。
48.89 %	41.95 %	水道料金収入に対する減価償却費の割合
9.57 %	10.04 %	水道料金収入に対する職員給与費の割合 職員給与費は、受託工事費勘定、資本勘定職員分を除く。
42.38 %	44.50 %	有形固定資産の減価償却の割合 この比率により減価償却の進み具合や、資産の老朽化の度を計ることができる。 数値が高いほど資産取得後の年数が経過しているといえる。
68.05 円	67.30 円	有収水量1 m <sup>3</sup> 当たりの企業債利息及び減価償却費の額
89.74 %	85.92 %	施設の効率性を分析する比率 この数値が高いほど効率的である。季節的な需要変動が大きいと施設効率は悪くなり、 負荷率が小となる。
69.15 %	74.24 %	計画に対する施設効率を分析する比率 平成28年度の一最大配水量は47,909m <sup>3</sup> であった。
62.05 %	63.79 %	水道施設の経済性を総括的に分析する比率 この数値が高いほど効率的で経済的である。 なお、負荷率、最大稼働率と併せて適切な施設規模を考察する。

	区 分	算 式	平成28年度 (2016)	
26	配水管使用効率	$\frac{\text{年間総配水量}}{\text{導水管} + \text{送水管} + \text{配水管延長}}$	$\frac{15,672\text{千m}^3}{1,450\text{千m}}$	$\text{m}^3/\text{m}$ 10.81
27	固定資産使用効率	$\frac{\text{年間総配水量}}{\text{有形固定資産}}$	$\frac{15,672\text{千m}^3}{28,583,080\text{千円}}$	$\text{m}^3/\text{万円}$ 5.48
28	職員1人当たり 給水人口	$\frac{\text{現在給水人口}}{\text{損益勘定職員数}}$	$\frac{131,673\text{人}}{29\text{人}}$	人 4,540
29	職員1人当たり 有収水量	$\frac{\text{年間総有収水量}}{\text{損益勘定職員数}}$	$\frac{14,543,392\text{m}^3}{29\text{人}}$	$\text{m}^3$ 501,496
30	職員1人当たり 営業業収益	$\frac{\text{営業収益} - \text{受託工事収益}}{\text{損益勘定職員数}}$	$\frac{2,395,417\text{千円}}{29\text{人}}$	千円 82,601

平成27年度 (2015)		備考
出雲市	規模別全国平均	
m <sup>3</sup> /m 10.95	m <sup>3</sup> /m 19.40	導水管、送水管、配水管の効率性を分析する指標 水道管の布設延長に対する配水量の割合であり、この数値が高いほど良い。 給水区域の人口密度によって影響を受ける。
m <sup>3</sup> /万円 5.58	m <sup>3</sup> /万円 7.32	水道施設の効率性を分析する指標 有形固定資産に対する配水量の割合であり、この数値が高いほど効率的であるといえる。
人 4,386	人 4,613	労働生産性を分析する指標 職員数と業務量について給水人口で比較する。 職員数は損益勘定職員で、平成28年度は29人である。
m <sup>3</sup> 481,181	m <sup>3</sup> 526,412	労働生産性を分析する指標 職員数と業務量について有収水量で比較する。
千円 79,915	千円 79,531	労働生産性を分析する指標 職員数と業務量について営業収益で比較する。

\* 地方公営企業会計基準の見直しにより、新たな会計基準を適用して数値を算出している。

\* 規模別全国平均は給水人口10万人以上15万人未満で地下水、伏流水を主な水源とする事業体の平均

5. 給水原価及び供給単価算出図(平成28年度決算)

(単位:円、消費税及び地方消費税抜)

・総配水量 15,671,746<sup>m</sup>3    ・有収水量 14,543,392<sup>m</sup>3    ・有収率 92.80%

給水収益  2,327,358,025	2,285,309,937		長期前受金戻入	
	給水費用	業務費	106,854,626	336,410,061
		総係費	140,237,956	長期前受金戻入を除く給水費用  1,948,899,876
		減価償却費	1,140,423,388	
		資産減耗費	14,777,693	
		営業外費用	161,666,476	
		721,349,798		
直接給水費用	原水及び浄水費	388,381,195		
	配水及び給水費	332,968,603		

供給単価(販売価格)	販売原価	給水原価
$\frac{\text{給水収益}}{\text{有収水量}} = \frac{2,327,358,025}{14,543,392}$ $= 160.03 \text{ 円}/\text{m}^3$	$\frac{\text{給水費用}}{\text{有収水量}} = \frac{2,285,309,937}{14,543,392}$ $= 157.14 \text{ 円}/\text{m}^3$	$\frac{\text{給水費用} - \text{長期前受金戻入}}{\text{有収水量}} = \frac{1,948,899,876}{14,543,392}$ $= 134.01 \text{ 円}/\text{m}^3$
	総原価	
	$\frac{\text{給水費用}}{\text{総配水量}} = \frac{2,285,309,937}{15,671,746}$ $= 145.82 \text{ 円}/\text{m}^3$	
	直接給水原価	
	$\frac{\text{直接給水費用}}{\text{総配水量}} = \frac{721,349,798}{15,671,746}$ $= 46.03 \text{ 円}/\text{m}^3$	

## V 簡易水道事業

復興の 未来と生命（いのち） 照らす水

平成二十五年度 第五十五回水道週間スローガン

平成28年度(2016)簡易水道事業 業務量

地域		項目	説明	乙立	河下広域	塩津	美保	島村	東部統合	須佐	窪田	多伎	日御碕	鷺浦猪目	阿宮	簡水計	多久谷畑 (飲供)
項目																	
行政区域内人口(A)		人	年度末の行政 区域人口	617	2,124	147	91	345	1,492	1,756	1,723	3,608	584	288	472	13,247	20
計画給水人口(B)		人	認可事業計画 の給水人口	900	3,550	300	177	406	1,870	2,050	2,400	4,460	840	297	474	17,724	26
給水区域内人口(C)		人	年度末の給水 区域内人口	617	2,124	147	91	345	1,492	1,702	1,709	3,589	584	288	472	13,160	20
給水人口(D)		人	(C) - (給水区域内 の未給水人口)	602	2,116	147	91	345	1,480	1,672	1,696	3,589	583	288	472	13,081	20
普及 率	行政区域内普及率	%	$\frac{(D)}{(A)}$	97.6	99.6	100.0	100.0	100.0	99.2	95.2	98.4	99.5	99.8	100.0	100.0	98.7	100.0
	給水区域内普及率	%	$\frac{(D)}{(C)}$	97.6	99.6	100.0	100.0	100.0	99.2	98.2	99.2	100.0	99.8	100.0	100.0	99.4	100.0
給水戸数		戸	年度末の給水 中世帯数	201	696	64	30	100	544	536	604	1,326	212	149	145	4,607	5
年間配水量(E)		m <sup>3</sup>	配水池から送出 した年間水量	59,163	223,262	11,215	7,644	32,618	158,742	214,130	198,550	※532,249	70,059	31,438	49,156	1,588,226	1,356
1日平均配水量(365日)		m <sup>3</sup>	$\frac{(E)}{(年間日数)}$	162	612	31	21	89	435	587	544	1,458	192	86	135	4,351	4
1日最大配水量(F)		m <sup>3</sup>	1日配水量 実績の最大値	233	850	44	64	142	578	763	670	1,847	315	168	187	5,861	7
1人1日平均配水量 (366日)		ℓ	$\frac{(E)-(年間分水量)}{(D) \times (年間日数)}$	269	288	208	230	258	293	350	320	405	328	298	285	332	185
1人1日最大配水量		ℓ	$\frac{(F)-(当日の分水量)}{(D)}$	387	402	299	703	412	391	456	395	504	540	583	396	448	350
年間有収水量(G)		m <sup>3</sup>	水道料金収入の対象 となった年間水量	54,467	185,927	11,168	7,541	30,886	121,010	167,020	144,469	434,052	68,703	23,658	35,333	1,284,234	1,295
有収率		%	$\frac{(G)}{(E)}$	92.1	83.3	99.6	98.7	94.7	76.2	78.0	72.8	81.6	98.1	75.3	71.9	80.9	95.5
1日平均有収水量 (365日)		m <sup>3</sup>	$\frac{(G)}{(年間日数)}$	149	509	31	21	85	332	458	396	1,189	188	65	97	3,518	4
1人1日平均使用水量 (365日)		ℓ	$\frac{(家事用有収水量)}{(D) \times (年間日数)}$	214	222	197	222	243	207	210	194	227	192	213	204	214	177

※多伎簡易水道のうち大田市への配水分11,724m<sup>3</sup>は含まない。

## VI 組織

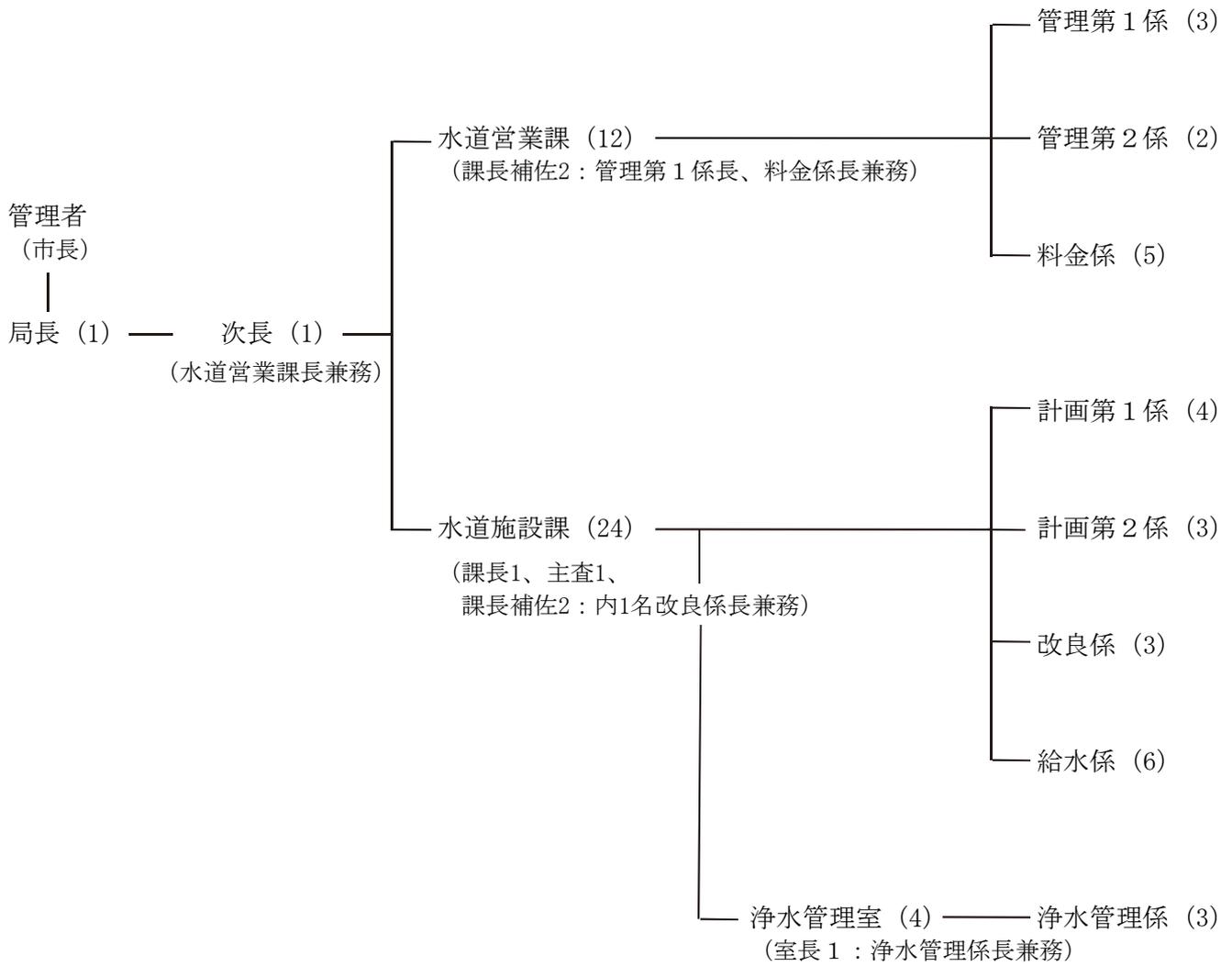
さあ今日も 水と元気が 蛇口から

平成二十四年度 第五十四回水道週間スローガン

# 1. 機構図

平成29年（2017）3月31日現在

上下水道局（38）



## 2. 事務分掌

### <水道営業課>

#### 管理第1係

- (1) 上水道事業の総合計画及び事業計画に関すること。
- (2) 市議会提出議案に関すること。
- (3) 上水道事業の条例、規程その他法令に関すること。
- (4) 公印の管守に関すること。
- (5) 上水道事業の文書の収受に関すること。
- (6) 人事、給与及び労務に関すること。
- (7) 職員の研修及び教養に関すること。
- (8) 職員の福利厚生に関すること。
- (9) 上水道事業の予算及び決算に関すること。
- (10) 上水道事業の資金計画に関すること。
- (11) 上水道事業の国庫支出金、企業債及び一時借入金に関すること。
- (12) 上水道事業の資産の取得及び処分に関すること。
- (13) 上水道事業の現金及び有価証券の出納保管に関すること。
- (14) 工事の入札及び契約に関すること。
- (15) 指名願い及び指定給水装置工事業者に関すること。
- (16) 入札参加資格審査に関すること。
- (17) 諸資材、物品等の購入契約に関すること。
- (18) 上水道事業の貯蔵品の出納保管に関すること。
- (19) 上水道事業の会計経理に関すること。
- (20) 各種統計調査に関すること。
- (21) 庁舎の管理、庁中の取締及び当直に関すること。
- (22) 市町村職員共済組合に関すること。
- (23) 個人情報の管理に関すること。
- (24) 水道料金等審議会に関すること。
- (25) 局内（水道事業に限る。）の庶務に関すること。
- (26) 課内の庶務に関すること。
- (27) 災害対策に関すること。
- (28) 分水及び受水に関すること。
- (29) 車両の管理に関すること。

#### 管理第2係

- (1) 簡易水道（飲料水供給事業を含む。以下同じ。）の総合計画及び事業計画に関すること。
- (2) 簡易水道の条例、規則その他法令に関すること。
- (3) 簡易水道に関する文書の収受に関すること。
- (4) 簡易水道の予算及び決算に関すること。

- (5) 簡易水道の国庫支出金、起債及び一時借入金に関する事。
- (6) 簡易水道の資産の取得及び処分に関する事。
- (7) 簡易水道の会計経理に関する事。
- (8) 簡易水道の調定に関する事。
- (9) 簡易水道に関する各種届出等に関する事。

#### 料 金 係

- (1) 水道料金（全ての水道事業の料金をいう。ただし、斐川地域を除く。以下同じ。）の調定に関する事。
- (2) 水道料金の納入通知書の作成及び発送に関する事。
- (3) 水道料金の徴収又は督促に関する事。
- (4) 水道料金の収納に関する事。
- (5) 水道料金の軽減又は免除に関する事。
- (6) 検針データの処理に関する事。
- (7) 料金システムの管理運用に関する事。
- (8) 使用水量の認定に関する事。
- (9) 給水の開始及び中止の受付に関する事。
- (10) 公共下水道使用料、農業集落排水施設使用料、漁業集落排水施設使用料、小規模集合排水施設使用料及び浄化槽施設使用料（以下「下水道使用料等」という。）の徴収等に関する事。（ただし、斐川地域を除く。）
- (11) 広報及びホームページに関する事。

#### <水道施設課>

##### 計画第1係

- (1) 上水道事業の基本計画及び事業認可に関する事。
- (2) 上水道施設の拡張及び改良工事に関する事。
- (3) 上水道の水道施設台帳整備に関する事。

##### 計画第2係

- (1) 簡易水道事業の基本計画及び事業認可に関する事。
- (2) 簡易水道施設の拡張及び改良工事に関する事。
- (3) 簡易水道の水道施設台帳整備に関する事。

##### 改良係

- (1) 上水道施設の支障移転等に関する事。
- (2) 簡易水道施設の支障移転等に関する事。

##### 給水係

- (1) 配水施設及び給水施設の維持管理に関する事。
- (2) 有収率に関する事。
- (3) 水質等苦情処理に関する事。
- (4) 給水に関する諸届の受付処理に関する事。

- (5) 給水施設台帳の整備に関する事。
- (6) 給水装置工事に関する事。
- (7) 水道メーターの管理及び取替修理に関する事。
- (8) 専用水道、簡易専用水道及び小規模貯水水道に関する事。
- (9) 管路図面の整備に関する事。

#### <浄水管理室>

##### 浄水管理係

- (1) 水質の保全及び水質検査に関する事。
- (2) 水道施設（配水施設を除く。）の運転と維持管理に関する事。
- (3) 電気及び計装設備に関する事。

#### <平田営業所>

- (1) 水道料金、下水道使用料等の徴収及び督促に関する事。
- (2) 水道料金、下水道使用料等の軽減又は免除に関する事。
- (3) 検針データの処理に関する事。
- (4) 使用水量の認定に関する事。
- (5) 給水の開始、中止の受付、水道メーターの管理及び取替等に関する事。
- (6) 水道施設の拡張及び改良工事に関する事。
- (7) 水道施設の支障移転等に関する事。
- (8) 水道施設台帳の整備に関する事。
- (9) 給水施設台帳の整備に関する事。
- (10) 給水装置の維持管理に関する事。
- (11) 給水に関する諸届の受付に関する事。
- (12) 水道施設の運転と維持管理に関する事。
- (13) 有収率に関する事。
- (14) 水質の保全及び水質検査に関する事。
- (15) 災害対策に関する事。
- (16) 営業所の所管に係る用地の買収、借入れ及び補償に関する事。
- (17) 水道事業に係る局との連絡及び地元調整に関する事。
- (18) 管路図面の整備に関する事。

#### <河南営業所>

- (1) 水道料金、下水道使用料等の徴収及び督促に関する事。
- (2) 水道料金、下水道使用料等の軽減又は免除に関する事。
- (3) 検針データの処理に関する事。
- (4) 使用水量の認定に関する事。
- (5) 給水の開始、中止の受付、水道メーターの管理及び取替等に関する事。

- (6) 水道施設の拡張及び改良工事に関する事。
- (7) 水道施設の支障移転等に関する事。
- (8) 水道施設台帳の整備に関する事。
- (9) 給水施設台帳の整備に関する事。
- (10) 給水装置の維持管理に関する事。
- (11) 給水に関する諸届の受付に関する事。
- (12) 水道施設の運転と維持管理に関する事。
- (13) 有収率に関する事。
- (14) 水質の保全及び水質検査に関する事。
- (15) 災害対策に関する事。
- (16) 営業所の所管に係る用地の買収、借入れ及び補償に関する事。
- (17) 水道事業に係る局との連絡及び地元調整に関する事。
- (18) 施設分担金の賦課及び徴収に関する事。
- (19) 管路図面の整備に関する事。

<斐川営業所>

- (1) 簡易水道料金の賦課、徴収、減免等に関する事。
- (2) 簡易水道の給水に関する諸届に関する事。
- (3) 簡易水道施設の維持管理に関する事。
- (4) 簡易水道施設の台帳整理に関する事。
- (5) 簡易水道組合に関する事。
- (6) 簡易水道事業の計画・設計・積算・施工管理に関する事。

### 3. 職員配置表（平成29年3月31日現在）

（単位：人）

所属別	職員数			職名										
	合計	事務職	技術職	局長	次長	課長	主査	課長補佐	室長	係長	主任	主任技師	主事	技師
総数	38	20	18	1	1	1	1	4	1	4	13	9	1	2
局長	1	1		1										
次長	1	1			1									
水道営業課	12	12						2		1	8		1	
管理第1係	3	3									3			
管理第2係	2	2								1	1			
料金係	5	5									4		1	
水道施設課	24	6	18			1	1	2	1	3	5	9		2
計画第1係	4	1	3							1	1	2		
計画第2係	3		3							1		2		
改良係	3		3									3		
給水係	6	3	3							1	3	1		1
浄水管理室	4	1	3						1		1	1		1
浄水管理係	3	1	2								1	1		1

\*水道営業課：課長は次長兼務。管理第1係長、料金係長は課長補佐兼務

\*水道施設課：改良係長は課長補佐兼務

\*浄水管理室：浄水管理係長は室長兼務

### 4. 年齢別職員構成（平成29年3月31日現在）

年齢別	区分	事務	技術	合計	構成比
20才未満		0人	0人	0人	0.0%
20才以上～25才未満		0	0	0	0.0
25才～30才		0	1	1	2.6
30才～35才		0	1	1	2.6
35才～40才		3	0	3	7.8
40才～45才		8	4	12	31.5
45才～50才		2	5	7	18.5
50才～55才		3	4	7	18.5
55才以上		4	3	7	18.5
合計		20	18	38	100.0
平均年齢		46歳11月	47歳2月	47歳0月	

### 5. 勤続年数別職員構成（平成29年3月31日現在）

年数別	区分	事務	技術	合計	構成比
1年未満		0人	1人	1人	2.6%
1年以上～3年未満		0	1	1	2.6
3年～5年		0	0	0	0.0
5年～10年		0	0	0	0.0
10年～15年		1	1	2	5.3
15年～20年		6	4	10	26.3
20年～25年		5	3	8	21.1
25年～30年		2	4	6	15.8
30年～35年		5	2	7	18.5
35年以上		1	2	3	7.8
合計		20	18	38	100.0
平均勤続年数		25年0月	23年2月	24年1月	

\*市職員としての通算勤続年数

水道事業年報（平成 29 年版）

編集 出雲市上下水道局  
出雲市姫原 2 丁目 9 番地 1  
電話 (0853) 21-3511 (代)

平成 30 年 (2018) 3 月発行

